

# 竣工図記入例集

(令和4年4月1日施行)

長岡市水道局工務課

## 目次

記入例 1	給水装置工事 承認願・竣工届（専用給水装置 単用） .....	1
記入例 2	給水装置工事 承認願・竣工届（専用給水装置 複用） .....	9
記入例 3	給水本管工事 承認願・竣工届 .....	19
記入例 4 - 1	水道局発注の工事に伴う配水管工事（修繕工事以外） .....	25
記入例 4 - 2	水道局発注の工事に伴う配水管工事・工事日報（引込管）（修繕工事以外） .....	35
記入例 4 - 3	水路横断部を含む配水管工事 .....	57
記入例 5 - 1	水路横断部の竣工図（水管橋） .....	67
記入例 5 - 2	水路横断部の竣工図（下越し） .....	71
記入例 6	管路付属設備工事 .....	75
記入例 7	開発工事に伴う配水管工事・工事日報（引込管）・新規引込管竣工図 .....	81
記入例 8	本管の修繕工事（竣工届） .....	101
記入例 9	本管の修繕工事（工事日報・引込日報） .....	107
記入例 10	給水管布設替工事 .....	111
記入例 11	水管橋・河川占用等調書 .....	121
記入例 12	弁栓類整備調書 .....	125
記入例 13	推進管・河川軌道下占用等調書 .....	129
様式 5	注意要点 .....	133

記入例 1 給水装置工事 承認願・竣工届（専用給水装置 単用）



記入例1 給水装置工事 承認願・竣工届(専用給水装置 単用)  
 <専用給水装置 単用(承認願)>

業務課	課長	課長補佐	係長	係	工務課	課長	課長補佐	係長	係	受付日	令和 年 月 日
										受付番号	
給水装置工事 <b>承認願</b> 長岡市水道局長 様					住居表示地区にあつては、住居表示を記入 また、区画整理や開発の場合、造成地の区画番号ではなく、従前の地番を記入						
引込番号 32112668 施設番号 32112668 施設名称 水道 町 2 丁目 7 番 22 号 竣工検査年月日 令和 〇〇 年 〇 月 〇 日					水道町2丁目7番22号 上水工業株式会社 印 主任技術者 氏名 上水 道子 自主検査日 令和 年 月 日 住所 水道 町 2 丁目 7 番 22 号 分岐承諾者 事前に了解を得て該当する場合に記入する。押印が必要						
分水栓情報 撤去( ) 不要( )					申請者撤去の場合引込番号を記入 局撤去の場合引込番号を記入						
直結給水状況 1F・2F・T1・T2・3F・空地					農家組合の加入金口径 20 mm 1 個						
本管口径 100 mm 材質 DIP 引込管口径 20 mm 材質 PP					引込管の材質は、管材名称の略称名称を記入						
メーター口径 20 mm 個 mm止 個					相殺口径 mm 個						
受水槽容量 m <sup>3</sup>					加入金金額 〇〇〇, 〇〇〇円 給水装置工事申請手数料 〇, 〇〇〇円						
使用用途 一般住宅					備考						
案内図											
<p>方位を記入する。</p> <p>案内図、様式2の平面図、様式3の図面は全て方位をあわせること</p> <p>該当家屋を太線で囲み、斜線で強調し、引込方向も記入して、○で囲む。</p>											

1/500 平面図

方位を記入する。

図面番号 511-〇-〇〇-〇  
引込番号 32112668

鑑に記載した、引込番号を記載してください。

平面図が、構造物の大きさにより1/500で収まらない場合は、1/500の倍数の1/1000、1/1500等の倍率で図面を作成してください。その場合、縮尺表記を合わせてください。

マッピングの図面番号を記載してください。

32112668-P20  
水道 太郎  
7-22

オフセット図

横断面図

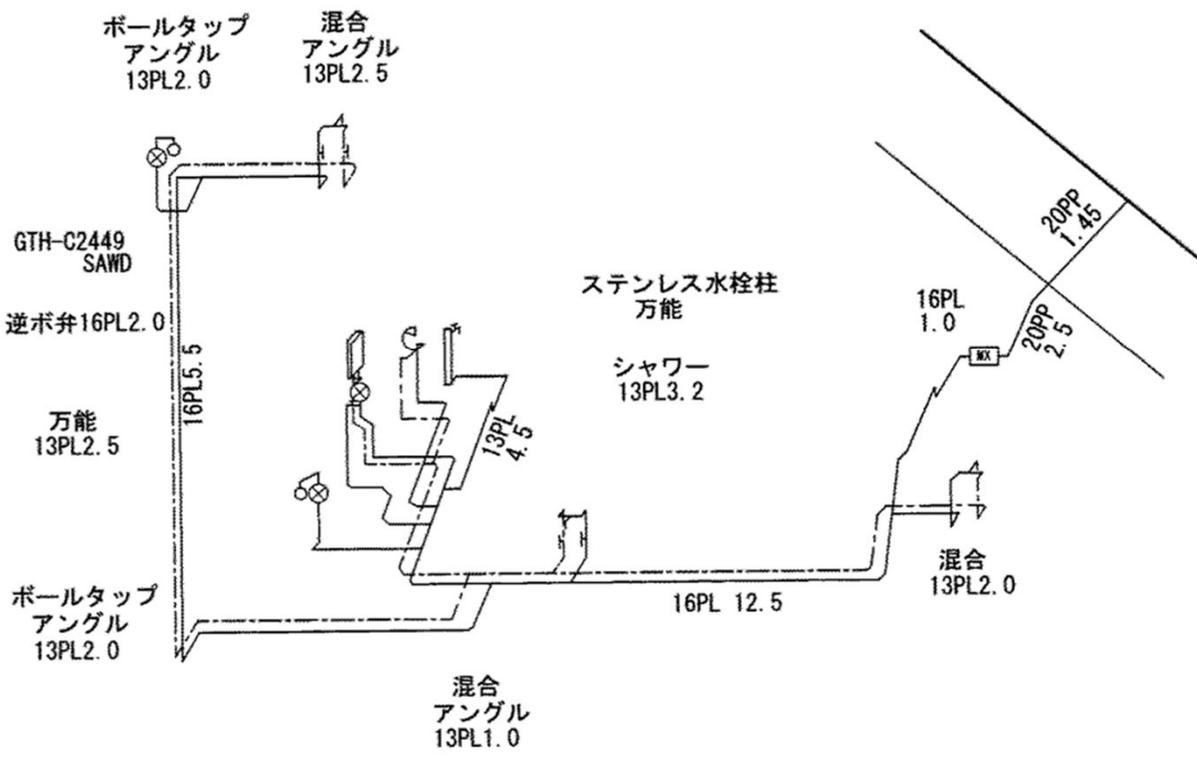
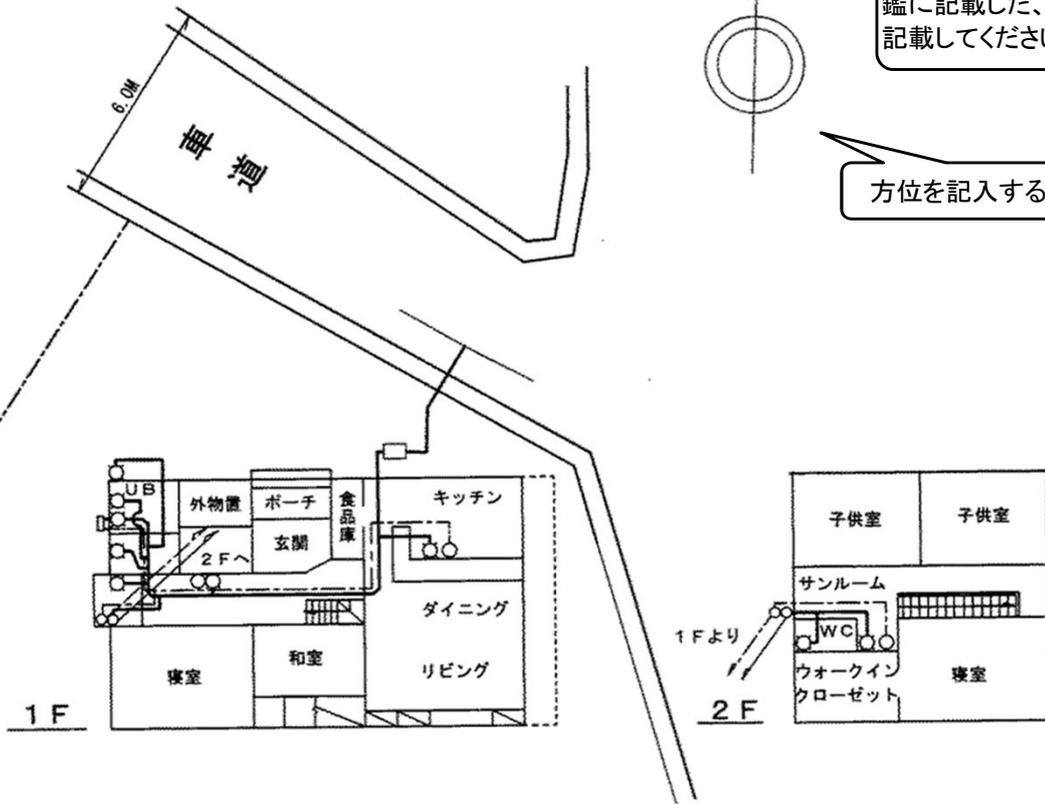
承認願には、記載不要です。

引込番号 32112668

平面図・立面図

鑑に記載した、引込番号を記載してください。

方位を記入する。



様式3

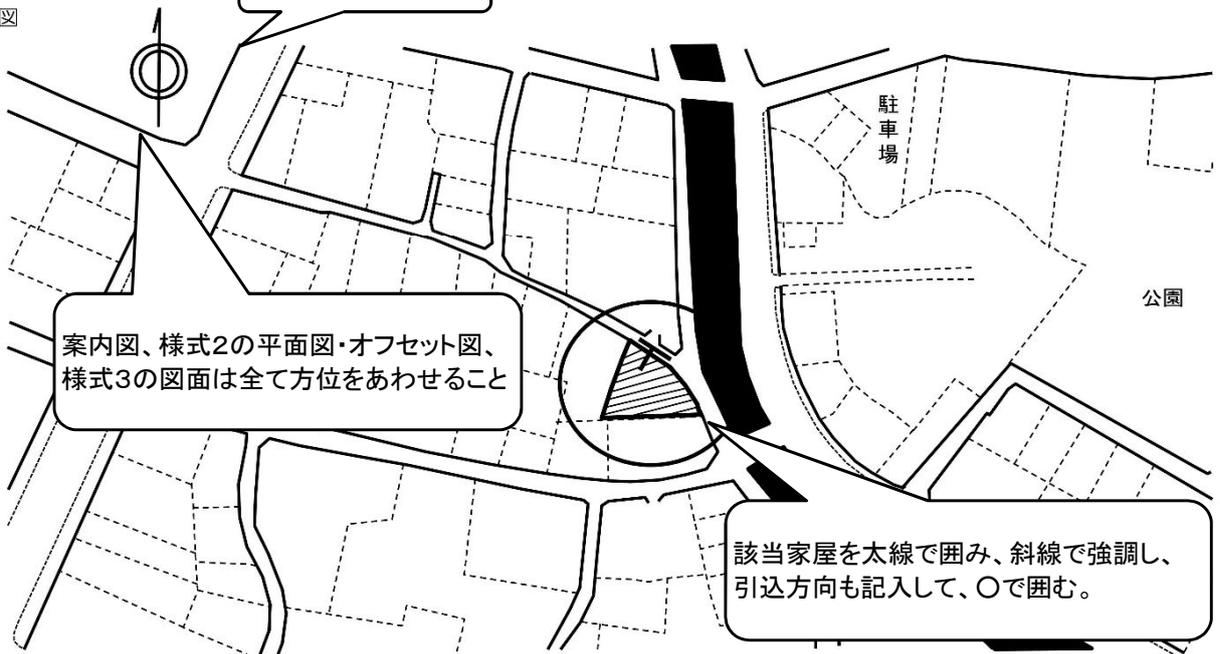
記入例1 給水装置工事 承認願・竣工届(専用給水装置 単用)  
 <専用給水装置 単用(竣工届)>

業務課	課長	課長補佐	係長	係	工務課	課長	課長補佐	係長	係	受付日	令和〇〇年 〇月 〇〇日
承認願の「受付日」「受付番号」を記載する。										受付番号	〇〇〇
業務課の欄に斜線を入れる。											
臨時										工種 (新設・増設・改造・撤去)	

給水装置工事 承認願・**竣工届**  
 長岡市水道局長 様  
 住所 長岡市水道町2丁目7番22号  
 氏名 水道 太郎 **水道** 印

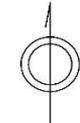
引込番号	32112668			施工業者	上水工業株式会社	<b>上水工業</b> 印
施設番号	32112668			主任技術者	氏名 上水 道子	
施設場所	水道 町 2 丁目 7 番 22 号 番地			自主検査日	令和 〇〇年 〇 月 〇〇日	自主検査を実際に行った日を記入する。
竣工検査年月日	令和 年 月 日			分岐承諾書	住所	該当する場合、記入、押印が必要
分水栓情報	撤去 ( ) 不要 ( )			土地家屋の所有者承諾	氏名	申請者撤去の場合引込番号を記入
直結給水状況	1F・ <b>2F</b> ・T1・T2・3F・空地			農家の承諾		局撤去の場合引込番号を記入
本管口径	100	mm	材質	DIP	相殺	引込管の材質は、管材名称の略称名称を記入 (一層ポリエチレン管なら"PP-1"と記入してください。)
引込管口径	20	mm	個	材質	PP	
メーター口径	20	mm	個	( ) mm止	加入金金額	〇〇〇, 〇〇〇円
受水槽容量				給水装置工事申請手数料		〇, 〇〇〇円
使用用途	一般住宅			備考	方位を記入する。	

案内図



1/500 平面図

図面番号 511-〇-〇〇-〇  
引込番号 32112668



方位を記入する。

マッピングの図面番号を記載してください。

鑑に記載した、引込番号を記載してください。

平面図が、構造物の大きさにより1/500で収まらない場合は、1/500の倍数の1/1000、1/1500等の倍率で図面を作成してください。その場合、縮尺表記を合わせてください。

メーター位置にメーターシンボルを記入する。

32112668-P20  
水道 太郎  
7-22

家屋の形状、大きさ、敷地内における位置を現状に合わせて記載してください。

取出し工事を行った場合、必ず横断面図を記載してください。道路占用工事完了届に添付する横断面図と同一のものとなります。

オフセット図

横断面図 S=1:100

縮尺は、1/100とする。

引込管の施工がない場合でも既設の第1バルブのオフセットを記入する。

オフセットは、0.1m単位で記入する。

寸法は、0.1mとする。  
(小数点以下第2位四捨五入)

深さは、0.01m単位で記入する。

配水管取出部から、新設の場合は第1バルブまたはメーターまでとし、改造等で取出部を変更し既設管に接続した場合は接続箇所までとする。

他埋設物で確認できたものは記入する。

様式2

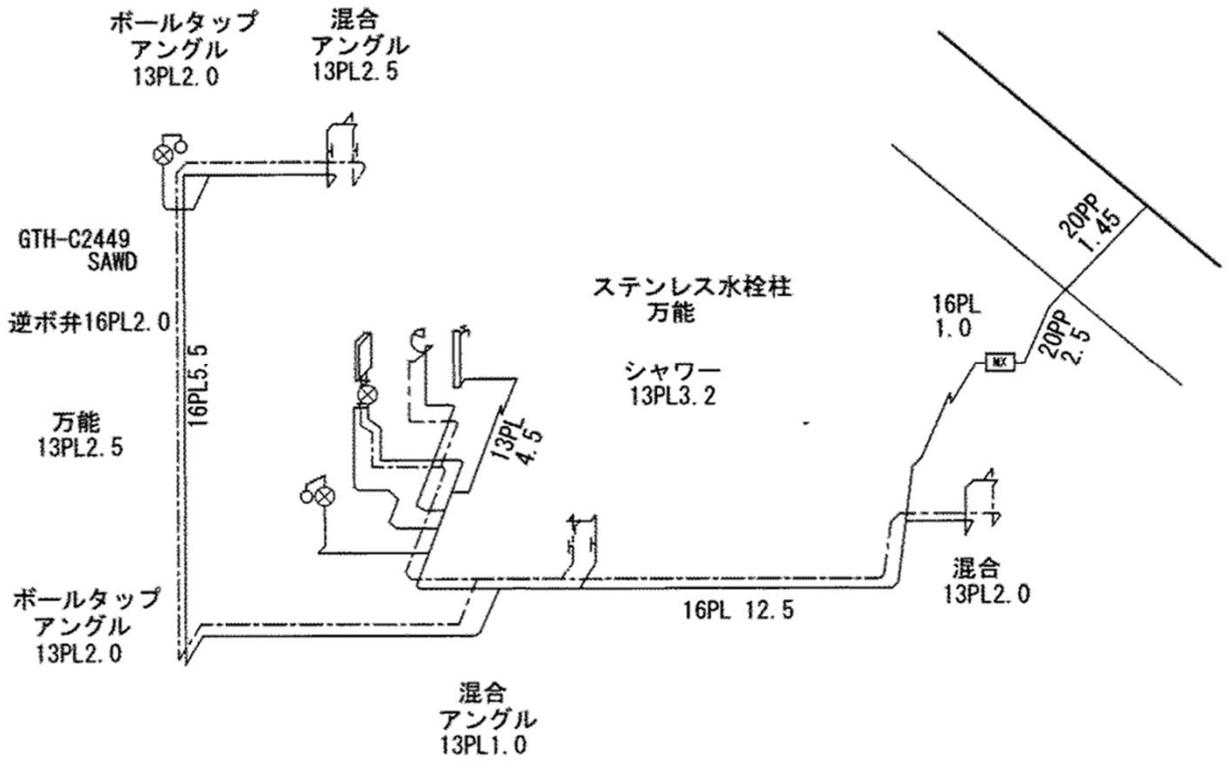
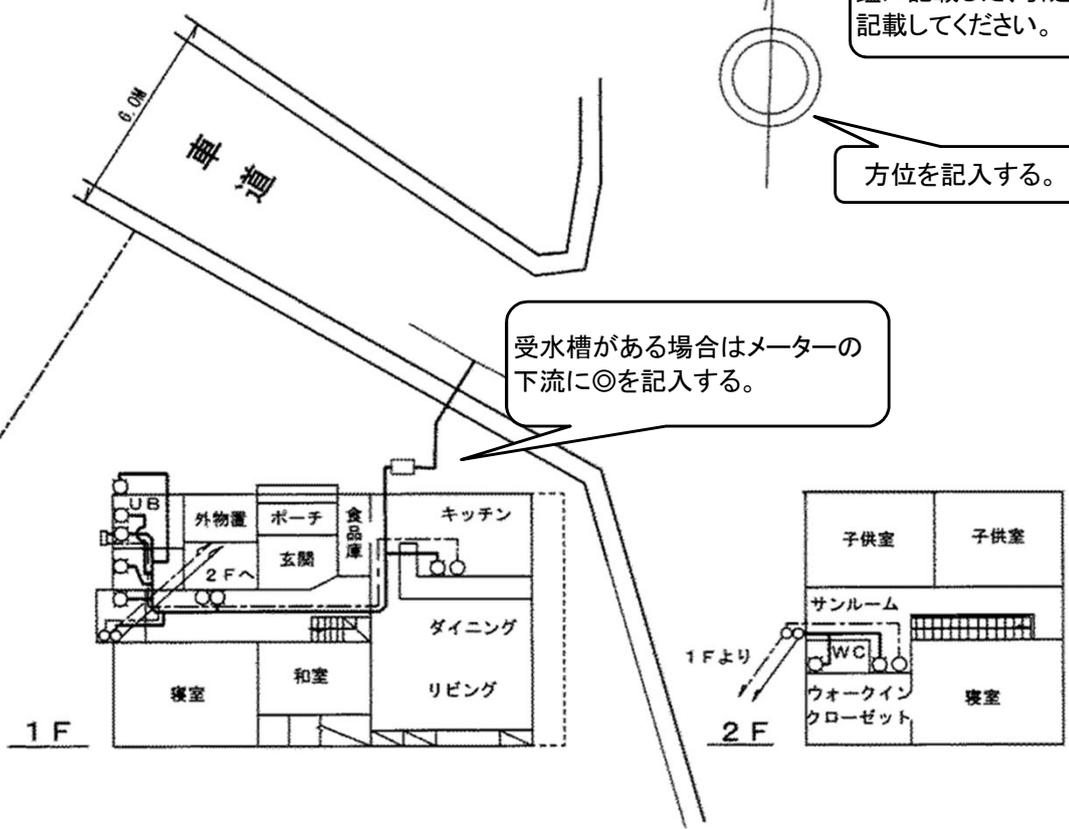
引込番号 32112668

平面図・立面図

鑑に記載した、引込番号を記載してください。

方位を記入する。

受水槽がある場合はメーターの下流に◎を記入する。



様式3

記入例2 給水装置工事 承認願・竣工届（専用給水装置 複用）



記入例2 給水装置工事 承認願・竣工届(専用給水装置 複用)  
 <専用給水装置 複用 全体図(承認願)>

課長 課長補佐 係長 係	課長 課長補佐 係長 係	受付日
年月日	令和 年 月 日	受付番号
個人印(姓・名・全・職)	個人印	道町2丁目7番22号

居住表示地区にあっては、  
 居住表示を記入  
 また、区画整理や開発の場合、  
 造成地の区画番号ではなく、  
 従前の地番を記入

承認願

給水装置工事  
 長岡市水道局長 様

氏名 水道次印  
 押印すること

引込番号 8815420  
 8815420  
 7112633

検査年月日の  
 予定日を記入

水道 22号  
 水道 2丁目  
 22号  
 22号  
 22号

施工業者 上水工業株式会社  
 主任技術者 氏名 上水 道子  
 自主検査日 令和 年 月 日  
 事前了解を得て該当  
 する場合に記入する。  
 押印が必要  
 記入しない。

住所  
 申請者撤去の場合引込番号を記入  
 局撤去の場合引込番号を記入

農業者  
 引込管の材質は、管材名称の  
 略称名称を記入

1F・2F・T1・T2・3F・空地  
 VP  
 PP  
 13 mm 2個 (13 mm止 1個)  
 2 個

受水槽容量  
 13 mm 1 個

使用用途  
 000,000円  
 0,000円

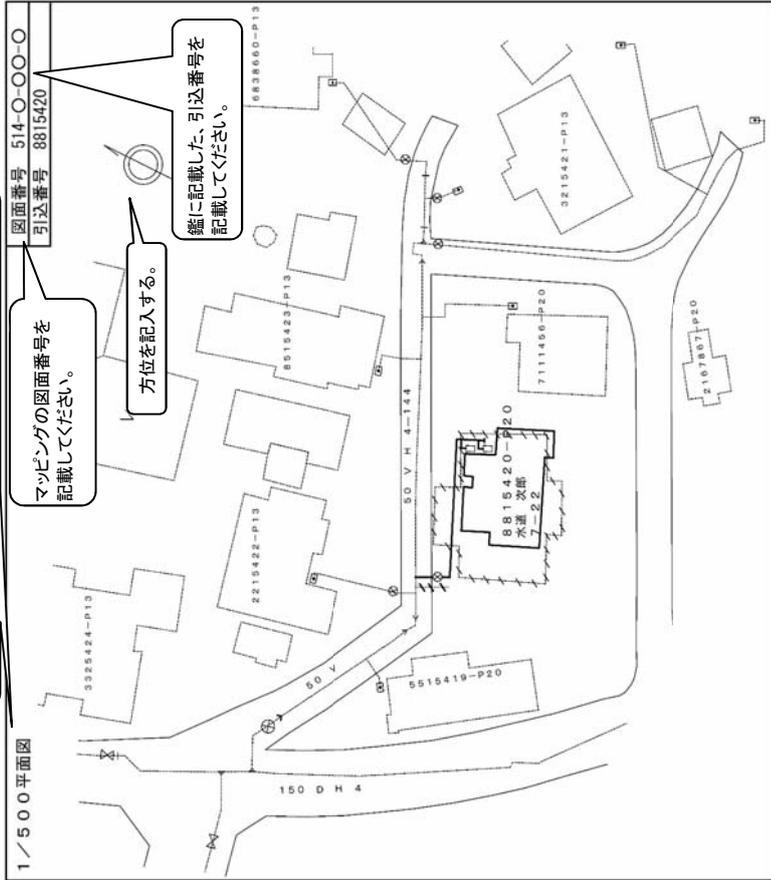
備考  
 既設引込管がある場合は、  
 引込確認日及び確認者を記入

案内図  
 該当家屋を太線で囲み、斜線で強調し、  
 引込方向も記入して、○で囲む。

案内図、様式2の平面図、様式3の  
 図面は全て方位をあわせること

方位を記入する。

様式1



オフセット図

横断面図

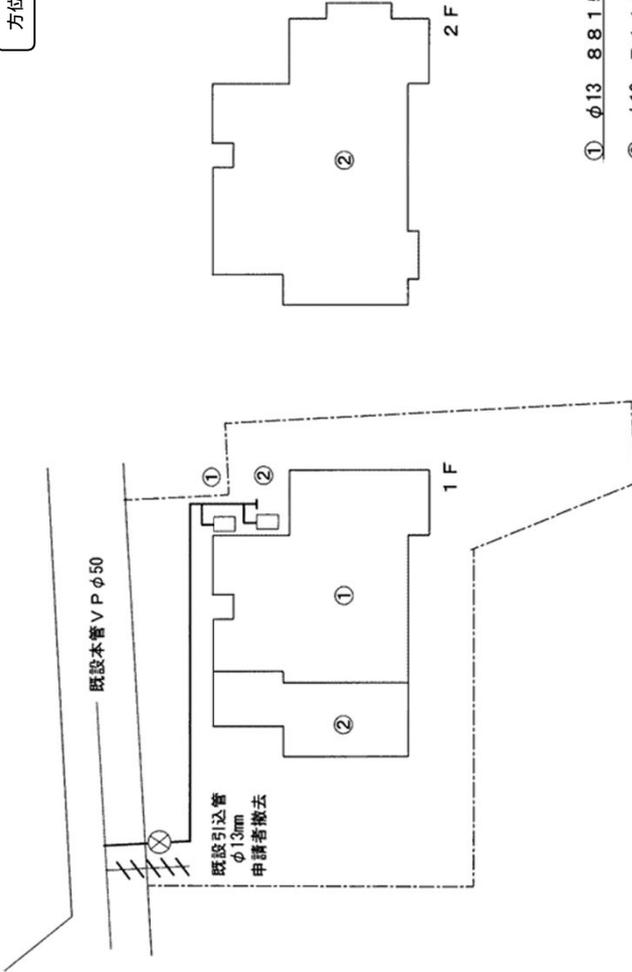
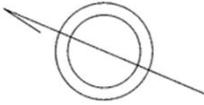
承認願には、記載不要です。

様式2

引込番号 8815420

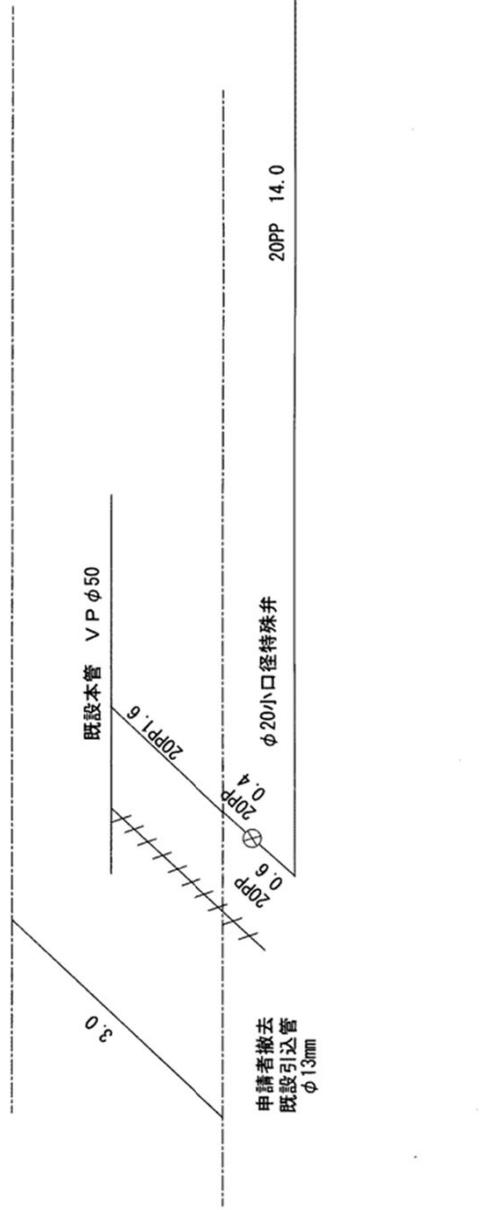
鑑に記載した、引込番号を  
記載してください。

方位を記入する。



- ① φ13 8815420
- ② φ13 7112633

A4サイズで収まらない場合は、  
様式3-1を使用する。



様式3-1

課長 長 課長補佐 係長 課長 課長補佐 係長 課長 課長補佐 係長	工務課	新設・増設・改造	水道	受付日 令和 年 月 日
専 単 係	全 係	種 別	工 種	受付番号
給水装置工事		承認願・竣工届		水道町2丁目7番22号
長岡市水道局長 様		氏名 水道 次郎		水道
引込番号	8815420	施工業者	上水工業株式会社	上水 工業
個別の検査年月日予定日の記入はしない。	8815420	主任技術者	氏名 上水 道子	上水 工業
水道町2丁目	7番22号	自主検査日	令和 年 月 日	記入しない。
水道町2丁目	7番22号	分岐承諾者	氏名	住所
令和 年 月 日		土地客屋の所有者承諾	氏名	住所
分水性情報	不要	農家の承諾	氏名	住所
図給水状況	(1F・2F・T1・T2・3F・空地)	引込管口径	20 mm	管材
本管口径	20 mm	管材	PP	
引込管口径	13 mm	1個	13 mm	止1個
メーター口径	13 mm	1個		
受水槽容量		相殺口径	13 mm	
使用用途	一般住宅	加入金額	000,000円	
備 考		給水装置工事 申請手数料	0,000円	

斜線を引く。

斜線を引く。

斜線を引く。

斜線を引く。

斜線を引く。

斜線を引く。

個別の検査年月日予定日の記入はしない。

記入しない。

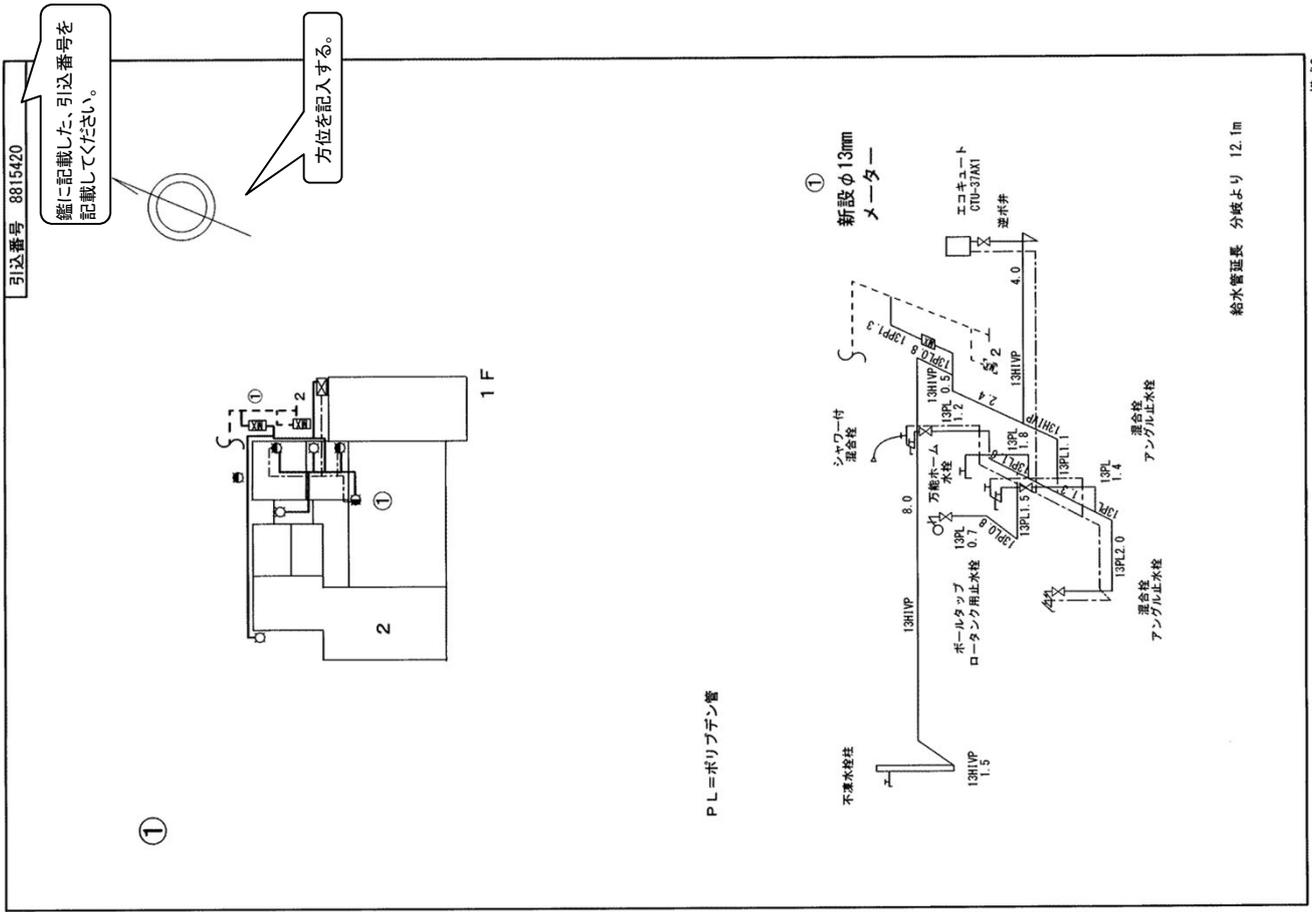
引込管の材質は、管材名称の略称名称を記入

方向を記入する。

案内図と様式3の図面は全て方向をあわせること

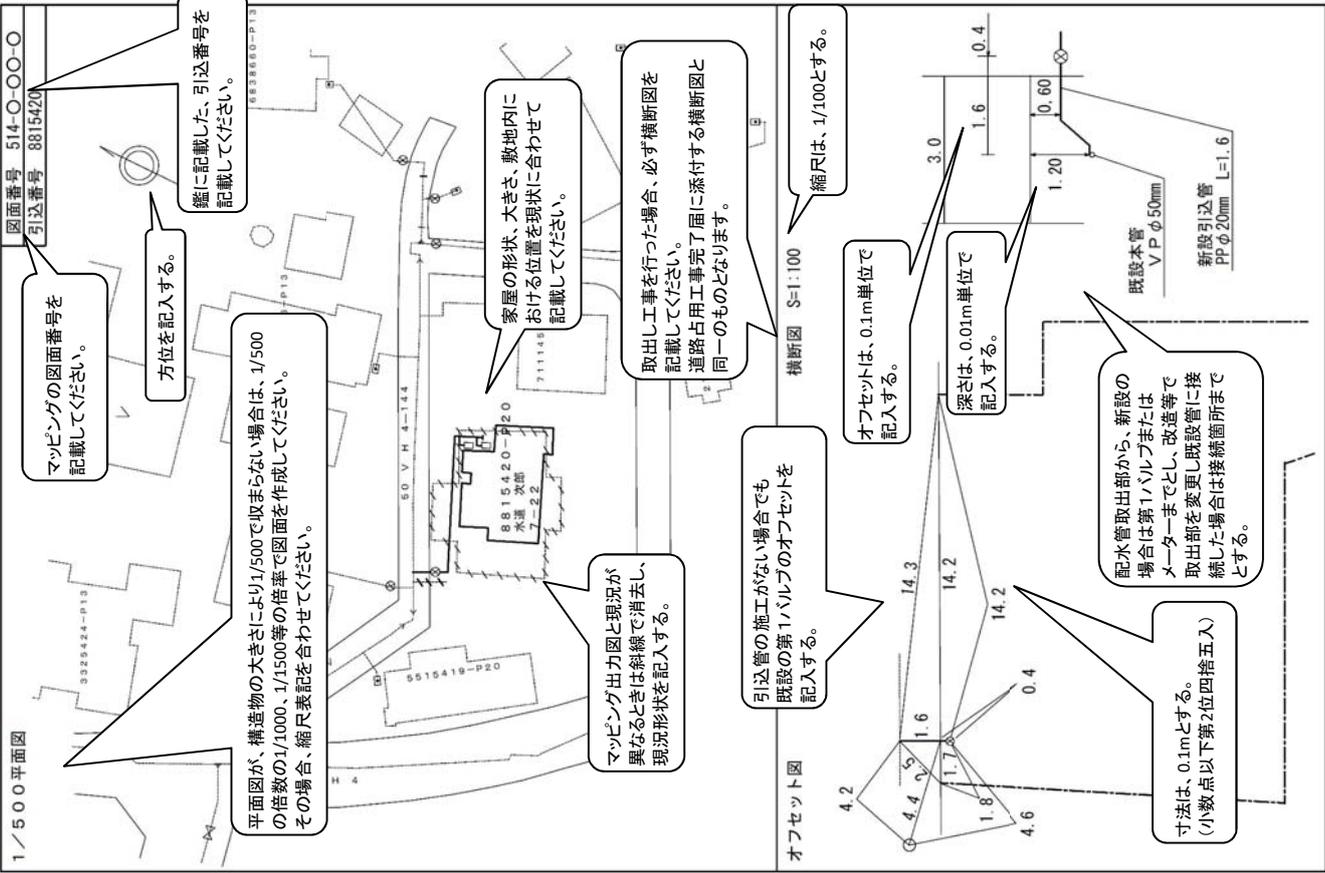
該当家を太線で囲み、斜線で強調し、引込方向も記入して、○で囲む。

様式1





課長 課長補佐 係長 係長補佐 係長 係長補佐	承認願の「受付日」「受付番号」を記載する。	受付日 令和〇〇年〇〇月〇〇日
工務課	承認願の欄に斜線を記入する。	受付番号 〇〇
新設・増設・改造	業務課の欄に斜線を記入する。	住所 長岡市水道町2丁目7番22号
新設・増設・改造	承認願・竣工	氏名 水道 次郎
引込番号 8815420	施業者 上水工業株式会社	印 上水工業
施設番号 7112633	主任技術者氏名 上水 道子	印
施設場所 水道 町 2 丁目 7番 22号	自主検査日 令和 〇〇年 〇月 〇〇日	印
竣工棟数年月日 令和 〇〇年 〇月 〇日	分岐承認者 水道 次郎	印
分水栓情報 撤去( ) 8815420 不要( )	土地家屋の 取得年	印
最終給水状況 1F・2F・T1・T2・3F・空地	農家 の 承認	印
本管口径 50 mm 材質 VP	申請者撤去の場合 引込番号を記入	印
引込管口径 20 mm 材質 PP	局撤去の場合 引込番号を記入	印
メーター口径 13 mm 2個 (13 mm止 1個)	引込管の材質は、 管材名称の略称 名 称を記入 (一層ポリエチレン管なら「PP-1」と 記入してください。)	印
受水槽容量 m <sup>3</sup>	相 口	印
使用用途	加入金 給水装置工事 申請手数料 0,000円	印
備 考	新設内図	印



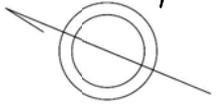
様式2

様式1

既設管の処理方法を記入してください。撤去の場合、撤去延長を記入。  
 ・既設管の残置 … 「モルタル注入」

先に記載した、引込番号を記載してください。

方位を記入する。



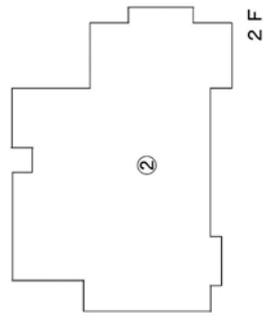
既設本管 VP φ50

撤去

既設引込管 PP-1 φ13mm L=1.9m  
 申請者撤去 RO年〇月〇〇日

既設管を「撤去した場合のみ、既設管の材質、口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

申請者撤去の既設引込管を撤去した年月日を記入する。



- ① φ13 8815420
- ② φ13 7112633

申請者撤去の既設引込管を撤去した年月日を記入する。

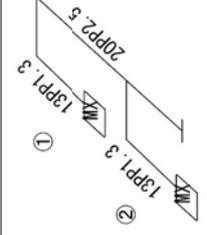
既設本管 VP φ50

RO年〇月〇〇日  
 申請者撤去  
 既設引込管  
 φ13mm

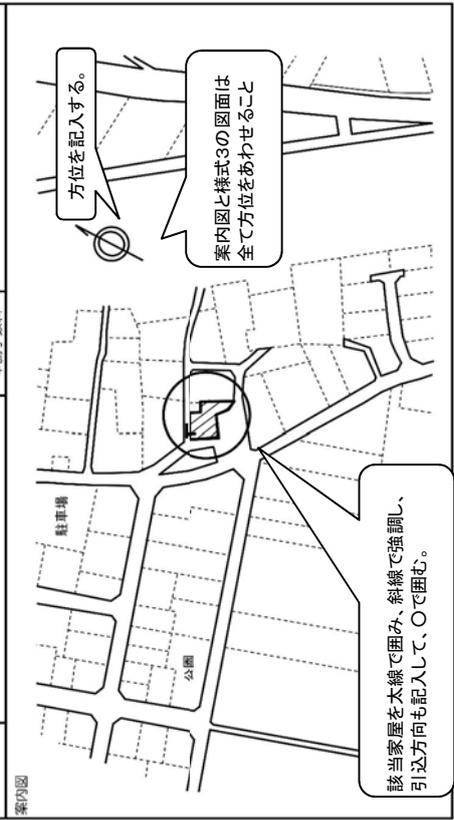
φ20小口径特殊弁

20PP 14.0

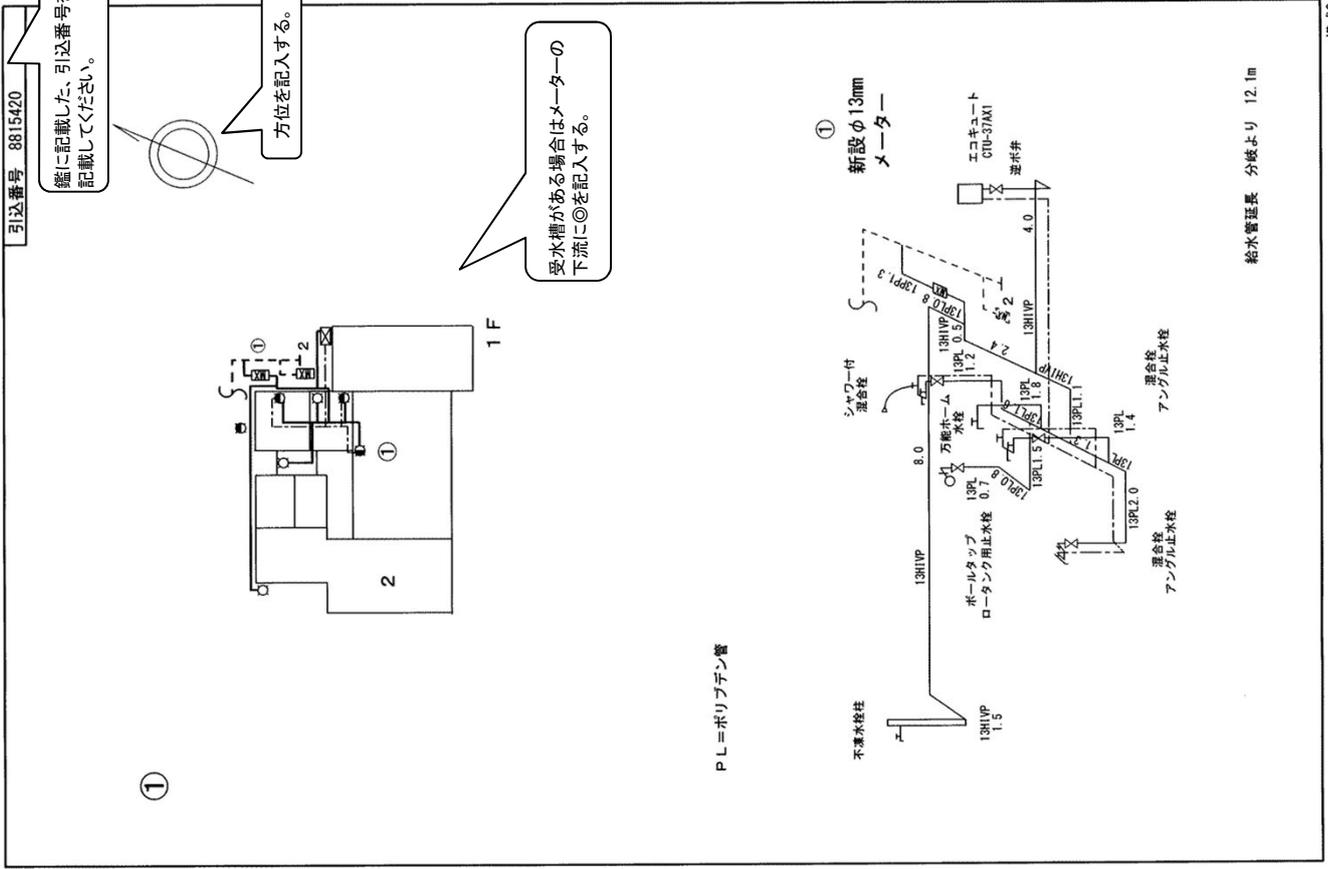
A4サイズで収まらない場合は、様式3-1を使用する。



課長	課長補佐	係長	係	課	承認願の「受付日」「受付番号」を記載する。	受付日 令和〇〇年〇〇月〇〇日	受付番号 〇〇
承認願(全) 1) 新設				工務課	新設・改修(複用)		
業務課の欄に斜線を入れる。				住所 長岡市水道町2丁目7番22号			
承認願 承認願・竣工届				氏名 水道 次郎			
引込番号	8815420	施工業者	上水工業株式会社	印	上水工業		
施設番号	8815420	主任技術者	氏名 上水 道子	印	水道		
施設番号	7番22号	自主検査日	令和〇〇年〇月〇〇日	印	自主検査を實際に行なった日を記入する。		
施設番号	水道町2丁目	分岐承認者	氏名	印			
竣工検査年月日	令和 年 月 日	土地客屋の所有者承認	住所 氏名	印			
分水栓情報	撤去( ) 不要( )	顧客承認	住所 氏名	印			
連絡給水状況	(1F・2F・T1・T2・3F・空地)	組合承認	住所 氏名	印			
本管口径	mm 材質						
引込管口径	20 mm 材質 PP						
メーター口径	13 mm 1個 (13 mm以下)	加入金	金額	1.3	1		
受水槽容量	m	相殺口					
使用用途	一般住宅	加入金	金額	〇.〇〇円			
備考		給水装置工事申請手数料	金額	〇.〇〇円			



様式1



様式3



**記入例3 給水本管工事 承認願・竣工届**



工務課	課長補佐	係長	係
受付日	令和 年 月 日	受付番号	

## 本管工事 承認願・竣工届 (その )

受付年度を記入  
 市水道局長 様  
 工事種別 (その1)  
 工事番号 00 第 2 号  
 工事名 配水管布設工事  
 工事場 長岡市 市内  
 住所 長岡市〇〇町9999番地  
 氏名 上除 花子  
 竣工予定日 令和〇〇年〇月〇日  
 押印必要

2 工事属性 (その2)	工事種別 (その1)	工事場	市内
水道・消防 (需要者・補償工事)	配水管布設工事	長岡市	市内

3 新設管路情報	管種別	管径	長さ	材料	圧力	特記事項
1 支	導水管	50	8.6	D120x10mm鋼管	1.0MPa	弁1 小口径特殊弁(13~25mm)
2 排	送水管	50	6.4	D120x10mm鋼管	1.0MPa	弁2 特殊製特殊弁(30~50mm)
3 給	配水管			D120x10mm鋼管	0.75MPa	弁3 ソフトシール弁(75mm~)
4 支	配水管			D120x10mm鋼管	0.75MPa	弁4 ハタフライ弁(200mm~)
5 給	配水管			配水用ポリエチレン管	0.75MPa	弁5 不漏水/バルブ
6 支	配水管			配水用ポリエチレン管	MPa	弁6 不漏水/バルブ
7 給	配水管			配水用ポリエチレン管	MPa	弁7
8 支	配水管			配水用ポリエチレン管	MPa	弁8
計			15.0			

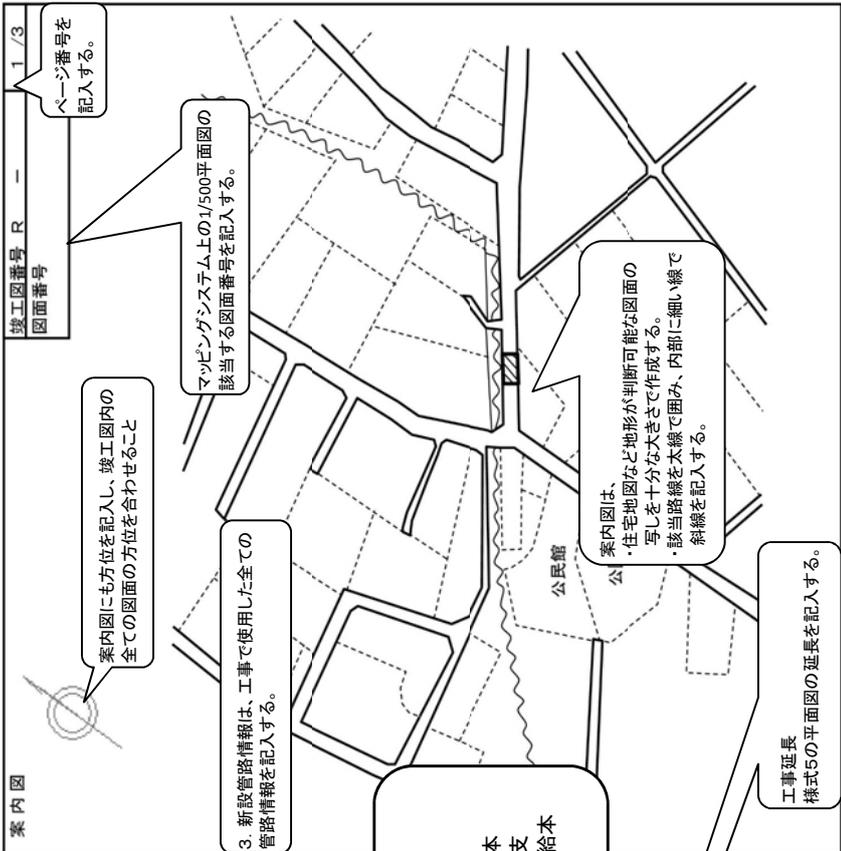
導、送、本、排、支、給、本、排を記入する。  
 工事延長を O. Om 単位で記入する。  
 合計延長を 記入する。



案内図は、住宅地図など地形が判断可能な図面を写しを十分な大ききで作成する。  
 該当路線を太線で囲み、内部に細い線で斜線を記入する。  
 案内図は、住宅地図など地形が判断可能な図面を写しを十分な大ききで作成する。  
 該当路線を太線で囲み、内部に細い線で斜線を記入する。  
 案内図は、住宅地図など地形が判断可能な図面を写しを十分な大ききで作成する。  
 該当路線を太線で囲み、内部に細い線で斜線を記入する。

材料、内面仕様、外面仕様、接合法で該当しないものがあつた場合は、空白部に記入し、その記号(他工)等を記入する。

右の該当する記号を記入する。  
 右の該当する記号を記入する。



給水管増設工事委託に同意し、当該水道管の所有権は水道局に譲渡します。  
 令和〇〇年 〇月 〇日 | 住所 長岡市〇〇町9999番地  
 氏名 上除 花子  
 押印必要

水道施設所有権移転  
 土地所有承諾  
 分岐承諾  
 無 有 無 有 無 有

業者名  
 主任技術者名  
 業名  
 会社

給水装置工事主任技術者名を記入する。  
 株式会社

工務課	課長 櫻井 係長 係	承認の「受付日」 「受付番号」を記載する。	竣工予定日 令和 年 月 日	竣工日 令和 年 月 日	竣工図番号 R 1 / 3
<b>承認願・竣工願 (その1)</b>					
住所 氏名			記入不要		
3. 新設管路情報は、工事で使用した全ての管路情報を記入する。					
1. 工事属性 (その1)					
工事年度	工事名	工事場所	竣工検査年月日を 必ず記入する。		
ROO 00 第	φ50 道路網管破裂	内			
2. 工事属性 (その2)					
工事種別	工事種別	竣工後の所有者	竣工検査年	竣工検査月	竣工検査日
水道・消防・需要者・	水道	水道	令和	00	00

3. 新設管路情報					
管種別	管径	管種	管長	管圧	管種
1 支	50	ダクタイル鉄管	1	1.0MPa	導水管 ⇒ 導水管 ⇒ 送水管 ⇒ 配水管 ⇒ 給水管 ⇒ 排水管 ⇒ 排水管 ⇒ 排水管 ⇒ 排水管
2 支	50	DN 25	0.5	1.0MPa	
3 支	25	ダクタイル鉄管	0.5	0.75MPa	
4 支	25	ダクタイル鉄管	0.5	0.75MPa	
工事延長を O. Om単位 で記入する。					
右の該当する 記号を記入する。					
合計延長を 記入する。					
10	計		4.0		

4. 管路付属設備情報					
種別	特記仕様	数量	管径	管種	管圧
1 制・排・不	弁2	1	50	小口径特殊弁(13~25mm)	1.0MPa
2 制・排・不	弁1			絶金製特殊弁(30~50mm)	1.0MPa
3 制・排・不	弁3			ソフトソール弁(75mm~)	0.75MPa
4 制・排・不	弁4			ハタフライ弁(200mm~)	0.75MPa
	弁5			不漏水/VILP(200mm~)	MPa
	弁6			不漏水/VILP(75mm~)	MPa
	弁7				MPa
	弁8				MPa

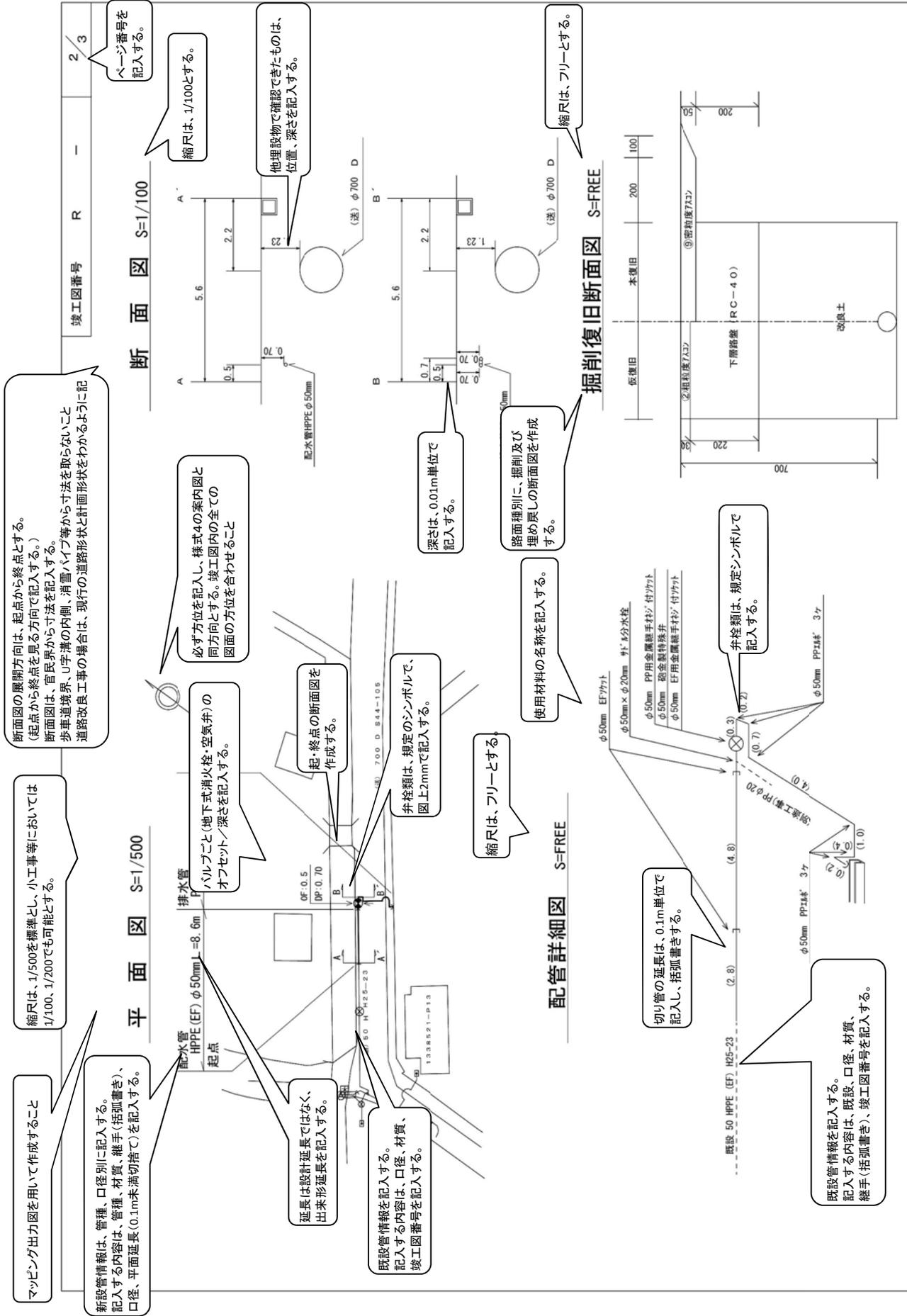
5. 付属設備					
特記仕様	管径	管種	管圧	管種	管圧
1 空1	50	単口	0.75MPa	有	有
2 空2	50	急速	0.75MPa		
3 空3	50	不凍急速	0.75MPa		
4 空4	50	MPa			
5 空5	50	MPa			
6 消1	50	地下式単口			
7 消2	50	地上式単口(打倒式)			
8 消3	50				

水道施設所有権移転		有	無
土地使用承諾		有	無
分岐承諾		有	無
水質検査結果			
検査日時	00年 Δ月 00日 00時 00分		
検査結果	色: 00 濁り: 00 味: 00		
	臭い: 00 残留: 00以上		
業者名	会社	押印必要	
主任技術者名		押印必要	

令和 年 月 日 住所 氏名

給水管工事の場合は給水装置工事主任技術者名を記入する。

押印必要



マッピング出力図を用いて作成すること

縮尺は、1/500を標準とし、小工事等においては1/100、1/200でも可能とする。

新設管情報は、管種、口径別に記入する。記入する内容は、管種、材質、継手(括弧書き)、口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

排水管  
HPPE (EF) φ50mm L=8.6m  
起点

排水管  
PP φ20

延長は設計延長ではなく、出来形延長を記入する。

既設管情報を記入する。記入する内容は、口径、材質、竣工図番号を記入する。

排水管  
バルブごと(地下式消火栓・空気弁)のオフセット/深さを記入する。

起・終点の断面図を作成する。

井径類は、規定のシンボルで、図上2mmで記入する。

縮尺は、フリーとする

配管詳細図 S=FREE

切り管の延長は、0.1m単位で記入し、括弧書きする。

井径類は、規定シンボルで記入する。

既設管情報を記入する。記入する内容は、既設、口径、材質、継手(括弧書き)、竣工図番号を記入する。

断面図の展開方向は、起点から終点とする。(起点から終点を真る方向で記入する。)  
断面図は、官民界から寸法を記入する。  
歩車道境界、U字溝の内側、消雪ハイブ等から寸法を取らないこと  
道路改良工事の場合は、現行の道路形状と計画形状をわかるように記

必ず方位を記入し、様式4の案内図と同方向とする。竣工図内の全ての図面の方位を合わせること

深さは、0.01m単位で記入する。

路面種別に、掘削及び埋め戻しの断面図を作成する。

掘削復旧断面図 S=FREE

縮尺は、フリーとする。

竣工図番号 R - - 2 3

断面図 S=1/100

縮尺は、1/100とする。

他埋設物で確認できたものは、位置、深さを記入する。

異形管や接続点を地形図の永久構造物から3点以上を測定する。異形管の測定位置は、分岐点や曲管の中心をとる。地物の優先順位

- 1 永久地物かつマッピング出力にも存在しているもの
- 2 公道上にあるマンホールや電柱、水道局の管理する弁栓の蓋(対象工事で設置したものを除く)
- 3 集水樹など

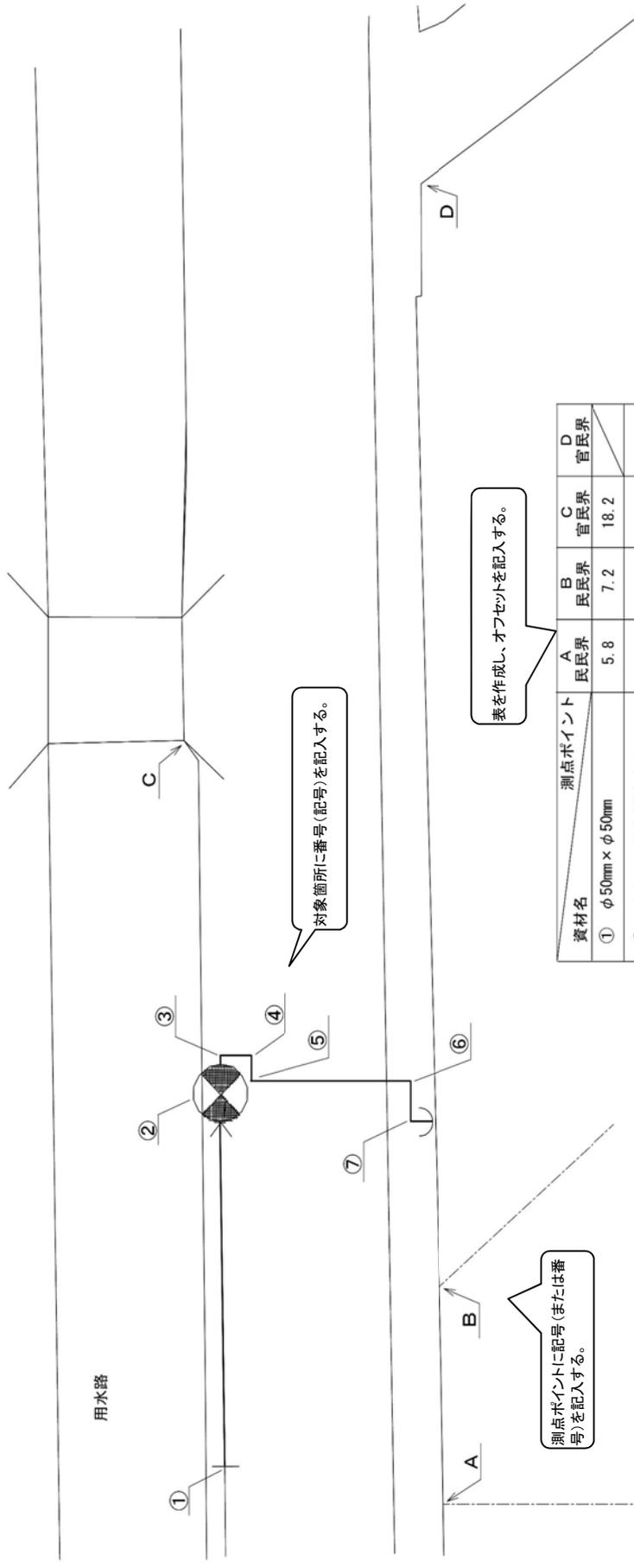
縮尺は、フリーとする。

### オフセット図 S=free

竣工図内の全ての図面の方位を合わせることに注意。

ページ番号を記入する。

竣工図番号 R - 3/3



対象箇所へ番号(記号)を記入する。

表を作成し、オフセットを記入する。

測点ポイントに記号(または番号)を記入する。

資材名	測点ポイント			
	A 民界	B 民界	C 官民界	D 官民界
① φ50mm × φ50mm	5.8	7.2	18.2	
② φ50mm 砲金製特殊弁	11.8	7.5	9.0	23.4
③ φ50mm PP工材*	12.7	8.2	8.0	
④ φ50mm PP工材*	12.3	7.6	8.1	
⑤ φ50mm PP工材*	11.7	7.1	8.7	
⑥ φ50mm PP工材*	10.6	5.2	10.4	
⑦ φ50mm PP工材* × 2	9.6	4.2	11.2	

**記入例 4－1 水道局発注の工事に伴う配水管工事（修繕工事以外）**



記入例4-1-1 水道局発注の工事に伴う配水管工事(修繕工事以外)  
 <本管工事 竣工>

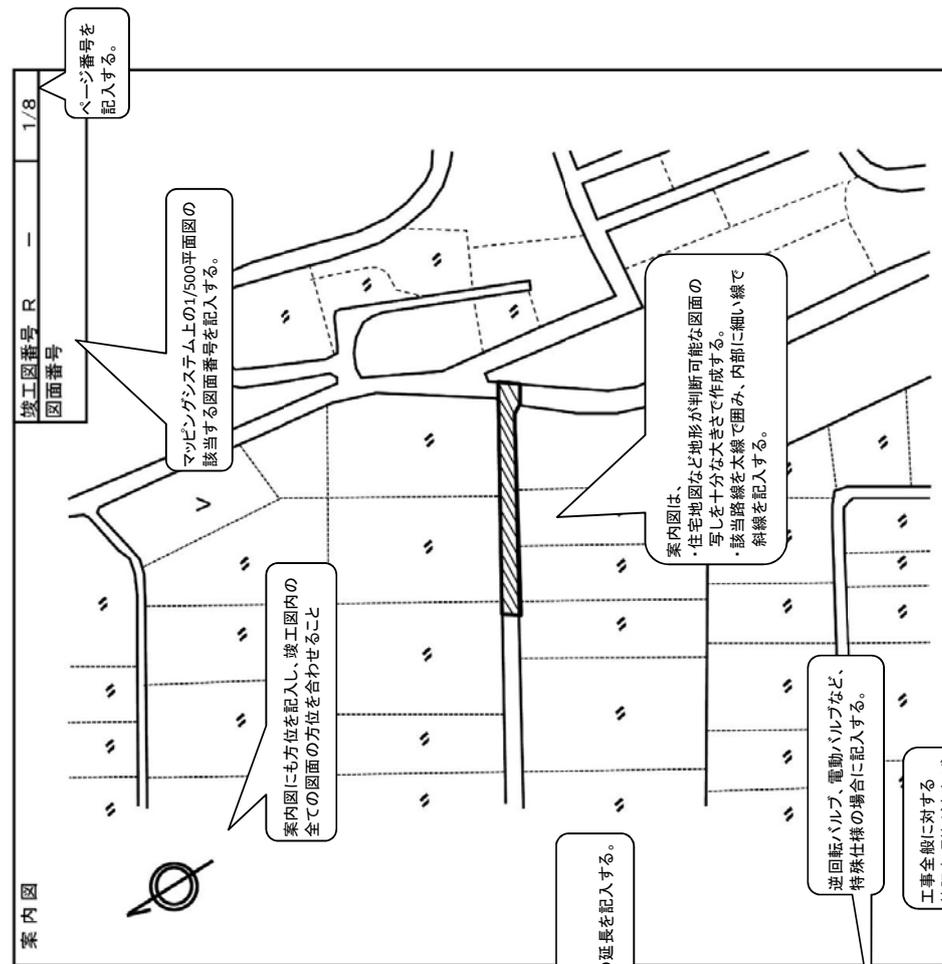
課長 櫻井 係長 係	竣工予定日 令和 年 月 日
受付日 令和 年 月 日	竣工予定日 令和 年 月 日
<b>本管工事 (その)</b>	
住所	
3. 新設管路情報は、工事で使用した全ての 管路情報を記入する。	

工事番号	工事種別	工事場所
00000000	新設	〇〇〇 地内
属性(その2)	担当者	竣工後の所
水道・消防・需要	補償工事(〇〇〇)・その他( )	必要者 令和 〇〇年 〇月 〇〇日

管種	管径	管長	材質	仕様	接続	合 法
1	支 50	HP	ダクタイル鉄管	一次防錆	K形	
2	支 30	P	ダクタイル鉄管	工ホキシ	NS形	
3	支 30	P	リエンジニアレン管	工ホキシ	EF形	
4	支 30	P	ステンレス管	無		
計		56.1				

弁種別	特記仕様	口径	数量	種 類	圧 力	特 記 事 項
1	制・排・不	弁2	50	小口径特殊弁(13~25mm)	1.0MPa	
2	制・排・不	弁2		極金製特殊弁(30~50mm)	1.0MPa	
3	制・排・不	弁3		ソフトシール弁(75mm~)	0.75MPa	
4	制・排・不	弁4		ハタフライ弁(200mm~)	0.75MPa	
5	排・不	弁5		不排水バルブ	MPa	
6	排・不	弁6		不排水バルブ	MPa	
7	排・不	弁7			MPa	
8	排・不	弁8			MPa	

付風設備	本管口径	呼び口径	数量	記号	特 記 類 種	圧 力	弁 種 (地)
1				空1	単口	0.75MPa	有
2				空2	急速	0.75MPa	有
3				空3	不凍急速	0.75MPa	無
4				空4		MPa	
5				空5		MPa	
6				消1	地下式単口		
7				消2	地上式単口(打倒式)		
8				消3			



備考欄	水道施設所有権移転	有	無
	土地使用承諾	有	無
	分岐承諾	有	無
水質検査結果			
検査日時	令和 年 月 日 時 分	業者名	主任技術者名
検査結果	色: 濁り: 味:		
	臭い: 残濁:		

局発注工事の場合は給水装置工事主任技術者ではなく、その工事における建設業法上の主任技術者を記入する。  
 (修繕工事等で主任技術者がいない場合は、その工事の責任者の氏名を記入する。) 押印不要

様式4

マッピング出力図を用いて作成すること

# 平面図 S=1/500

## (新管)

(新管)と(旧管)の平面図を分けて作成すること

必ず方位を記入し、様式4の案内図と同方向とする。竣工図内の全ての図面の方位を合わせることを

縮尺は、1/500を標準とし、小工事等においては1/100、1/200でも可能とする。

新設管情報は、管種、口径別に記入する。記入する内容は、管種、材質、継手(括弧書き)、口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

延長は設計延長ではなく、出来形延長を記入する。

配水管 PP (PP) φ 30mm L = 0.3m  
配水管 HPPE (EF) φ 50mm L = 55.8m

既設管情報を記入する。記入する内容は、口径、材質、竣工図番号を記入する。

弁柱類は、規定のシンボルで、図上2mmで記入する。

雨水管、側溝等の支障物を横断するために深度が変化する場合は、上越しは(上)、下越しは(下)と記入する。

起点・終点及び、道路中心線に対し20m毎に測点を設ける。

サヤ管(ケース管)や防護コンクリートを施工した場合は、その形状を平面図に記入すること  
サヤ管の情報は、材質、口径、延長を記入する。

バルブごと(地下式消火栓・空気弁)のオフセット/深さを記入する。

竣工図番号

R

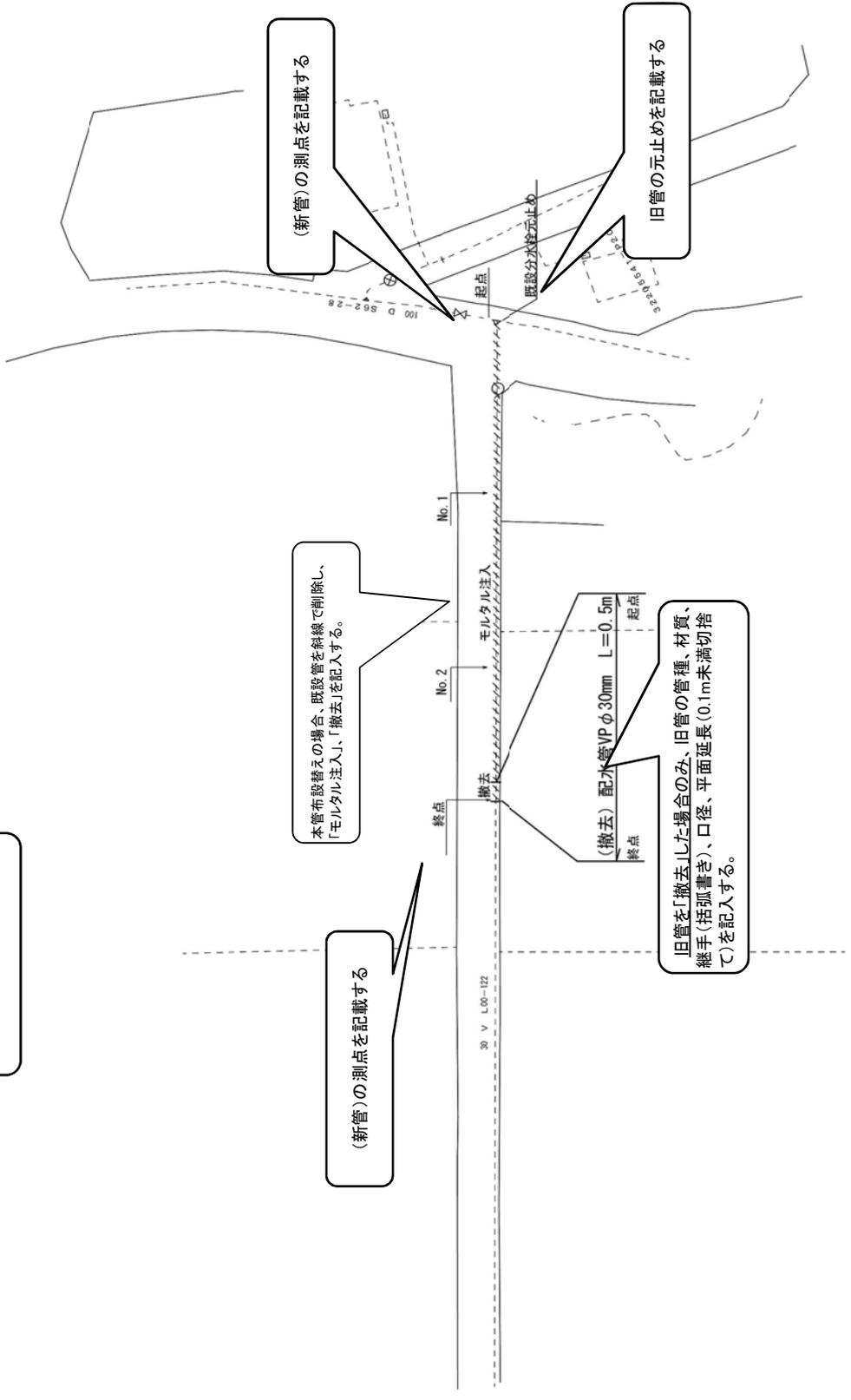
-

2/8

# 平面図 S=1/500 (旧管)

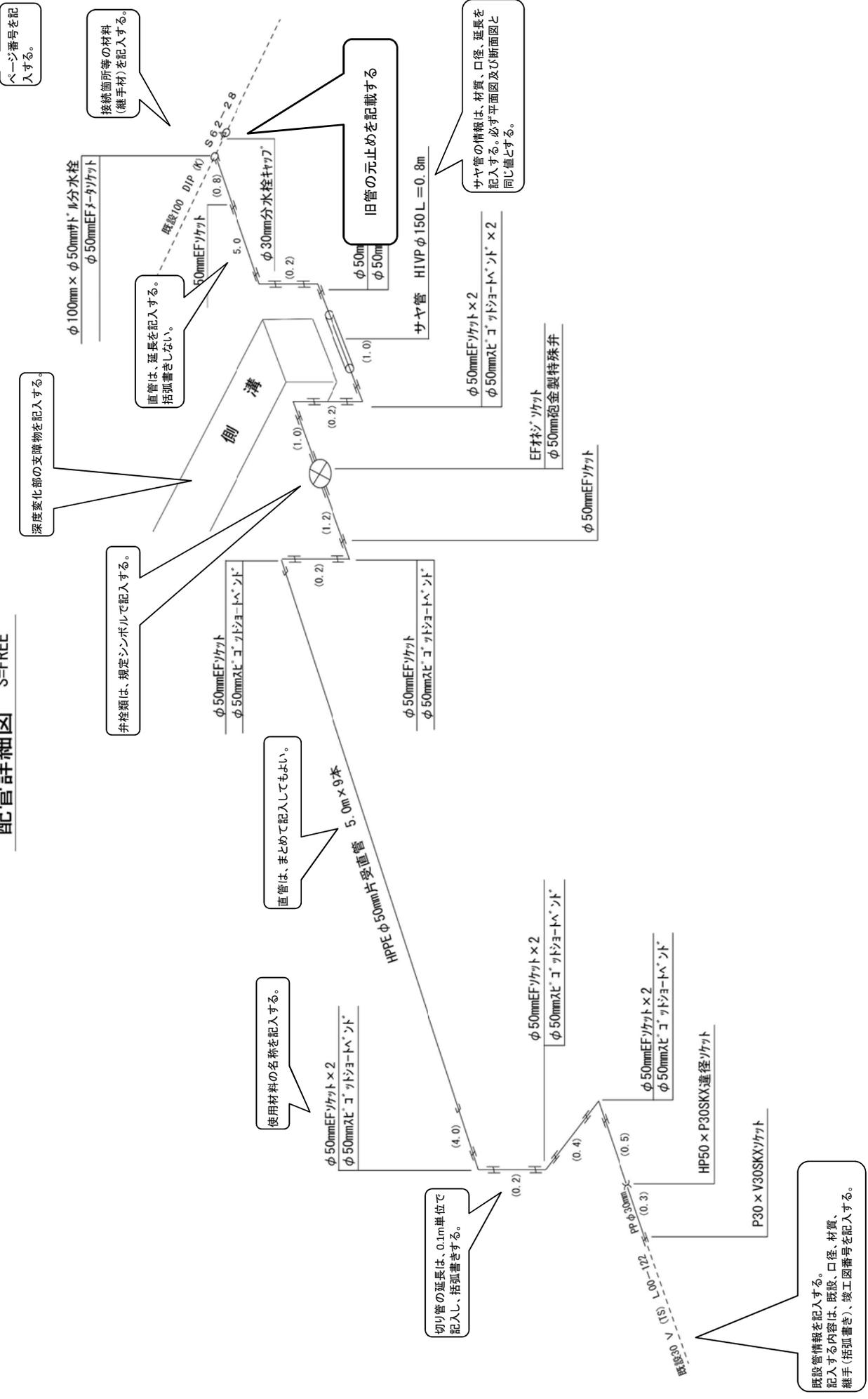
ページ番号を  
記入する。

(新管)と(旧管)の平面図を分  
けて作成すること



配管詳細図 S=FREE

縮尺は、フリーとする。



ページ番号を記入する。

深度変化部の支障物を記入する。

φ100mm × φ50mmサドル分水栓  
φ50mmEFソケット

直管は、延長を記入する。  
括弧書きしない。

弁種類は、規定シンボルで記入する。

直管は、まとめて記入してもよい。

使用材料の名称を記入する。

切り管の延長は、0.1m単位で記入し、括弧書きする。

旧管の元止めを記載する

サヤ管の情報は、材質、口径、延長を記入する。必ず平面図及び断面図と同じ値とする。

既設管情報を記入する。  
記入する内容は、既設、口径、材質、継手（括弧書き）、竣工図番号を記入する。

# 断面図 S=1/100

縮尺は、1/100とする。

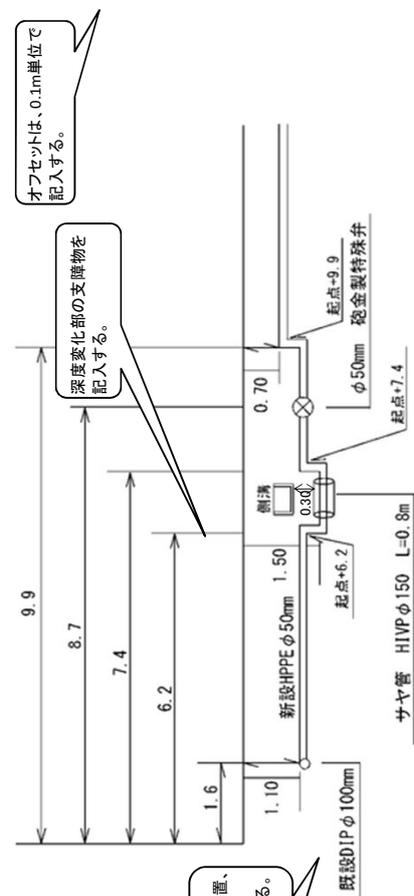
断面図の展開方向は、起点から終点とする。  
(起点から終点を見る方向で記入する。)  
断面図は、官民界、消雪パイプ等から寸法を取らないこと  
歩車道境界、U字溝の内側、消雪パイプ等から寸法を取らないこと  
道路改良工事の場合は、現行の道路形状と計画形状をわかるように

深度変化部については、  
その状況がわかる図を作成する。

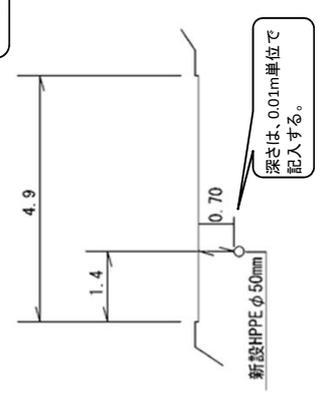
平面図の測点ごとに断面図  
を作成する。

道路形状や管の位置が変わらない場合は、  
複数の断面図をまとめて作成する。

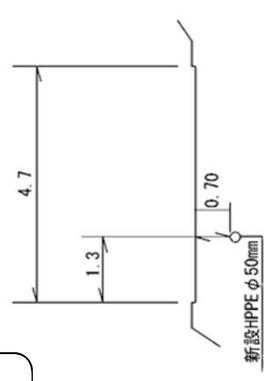
## 起点



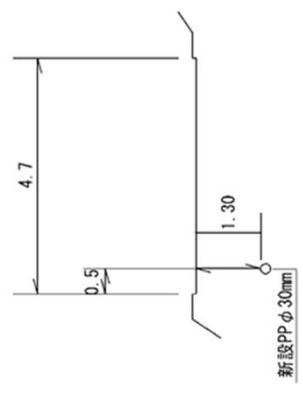
## No. 1



## No. 2



## 終点



ページ番号を記入する。

# オフセット図 S=free

縮尺は、フリーとする。

竣工図内の全ての図面の方位を合わせること

測点ポイントに記号(または番号)を記入する。

旧管の元止めを記載する

表を作成し、オフセットを記入する。

異形管や接続点を地形図の永久構造物から3点以上を測定する。異形管の測定位置は、分岐点や曲管の中心をとる。  
 地物の優先順位  
 1 永久地物かつマッピング出力にも存在しているもの  
 2 公道にあるマンホールや電柱、水道局の管理する井枠の蓋(対象工事で設置したものを除く)  
 3 集水樹など

分岐ヶ所、深径変化部などオフセット測点箇所が多く発生する場合

対象箇所に番号(記号)を記入する。



A

B

C

資材名	測点ポイント	A 官民界	B 官民界	C 民民界
50-① φ30mm 分水栓キップ		9.6	7.1	8.2
50-② φ100mm×φ50mm 斜井分水栓		8.5	6.8	8.6
50-③ φ50mm スビコジョイント		12.2	4.2	2.7
50-④ φ50mm スビコジョイント		12.9	4.5	2.0
50-⑤ φ50mm 砲金製特殊弁		14.4	5.3	1.4
50-⑥ φ50mm スビコジョイント		15.2	6.2	2.0

# オフセット図

S=free

7/8

竣工図番号

R

-

異形管や接続点を地形図の永久構造物から3点以上を測定する。異形管の測定位置は、分岐点や曲管の中心をとる。地物の優先順位  
 1 永久地物かつマッピング出力にも存在しているもの  
 2 公道にあるマンホールや電柱、水道局の管理する井柱の置(対象工事で設置したものを除く)  
 3 集水樹など

縮尺は、フリーとする。

竣工図内の全ての図面の方位を合わせること

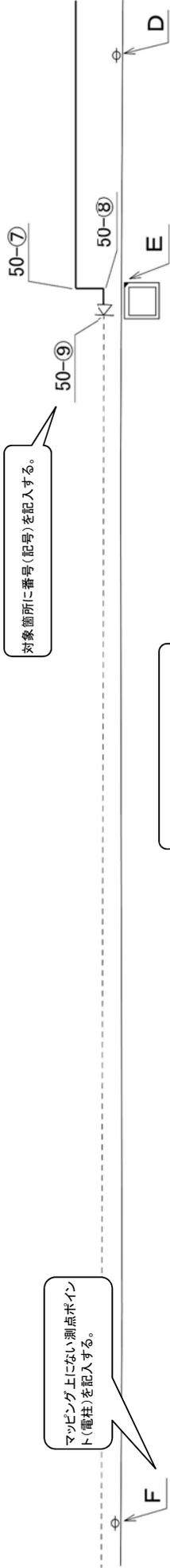
測点ポイントに記号(または番号)を記入する。

対象箇所に番号(記号)を記入する。

表を作成し、オフセットを記入する。

マッピング上にない測点ポイント(集水樹)を記入する。

マッピング上にない測点ポイント(電柱)を記入する。



資材名	D 電力柱 ○○○線○○	E 集水樹	F 電力柱 ○○○線○○	G 官民界
50-⑦ φ50mm スレコットジョイント*	5.9	1.3	30.7	3.4
50-⑧ φ50mm スレコットジョイント*	5.7	0.5	30.7	4.2
50-⑨ P30×V30SKXリフト	6.5	0.9	30.1	4.2

# 掘削復旧断面図 S=FREE

竣工図番号

R

-

8 / 8

断面種別に、掘削及び埋め戻しの断面図を作成する。

縮尺は、フリーとする。

ページ番号を  
記入する。

## 計画道路（盛土部）

## 県道（既設道路部）

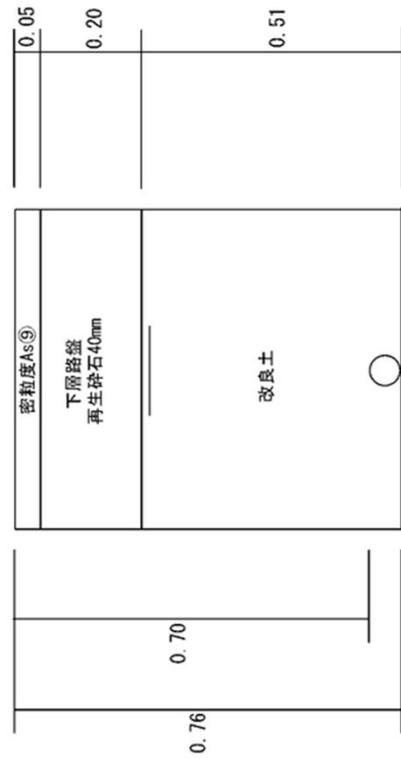
（路盤・本復旧は道路改良工事で施工）

（本復旧は道路改良工事で施工）



## 市道（既設道路部）

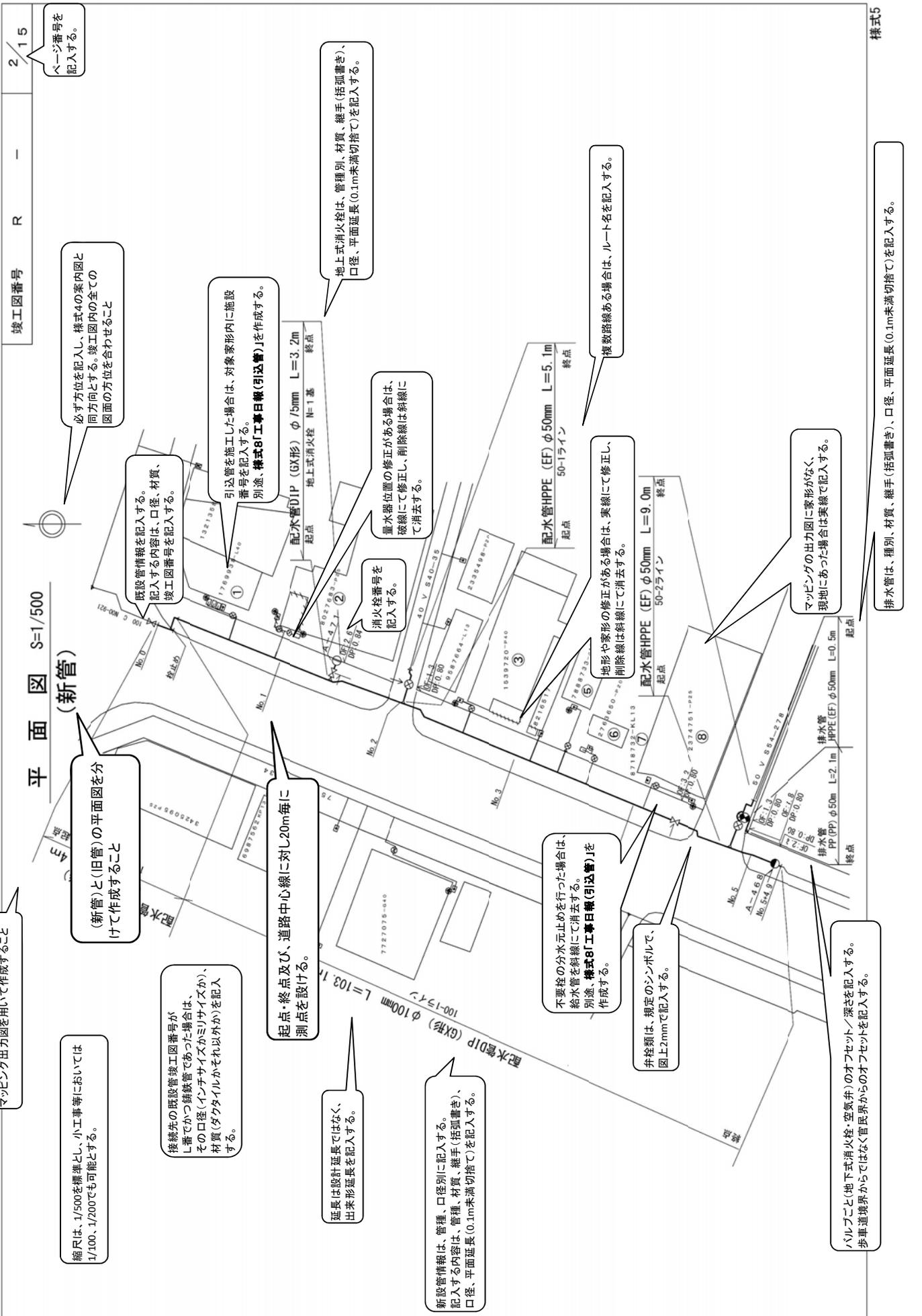
既設路盤高まで復旧  
（盛土・本復旧は道路改良工事で施工）



記入例 4－2 水道局発注の工事に伴う配水管工事・工事日報（引込管）  
（修繕工事以外）







平面図 S=1/500 (新管)

竣工図番号 R - 2 / 15

ページ番号を記入する。

必ず方位を記入し、様式4の案内図と同方向とする。竣工図内の全ての図面の方位を合わせる。

(新管)と(旧管)の平面図を分けて作成すること

縮尺は、1/500を標準とし、小工事等においては1/100、1/200でも可能とする。

接続先の既設管竣工図番号がL番でかつ鑄鉄管であった場合は、その口径(インチサイズかミリサイズか)、材質(ダクタイルかそれ以外か)を記入する。

起点・終点及び、道路中心線に対し20m毎に測点を設ける。

延長は設計延長ではなく、出来形延長を記入する。

新設管情報は、管種、口径別に記入する。記入する内容は、管種、材質、継手(括弧書き)、口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

既設管情報を記入する。記入する内容は、口径、材質、竣工図番号を記入する。

引込管を施工した場合は、対象家形内に施設番号を記入する。別途、様式8「工事日報(引込管)」を作成する。

消火栓番号を記入する。

量水器位置の修正がある場合は、破線にて修正し、削除線は斜線にて消去する。

地上式消火栓は、管種別、材質、継手(括弧書き)、口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

不要栓の分水止めを行った場合は、給水管を斜線にて消去する。別途、様式8「工事日報(引込管)」を作成する。

弁栓類は、規定のシンボルで、図上2mmで記入する。

地形や家形の修正がある場合は、実線にて修正し、削除線は斜線にて消去する。

ハルブごと(地下式消火栓、空気弁)のオフセット/深さを記入する。歩車道境界からではなく官民界からのオフセットを記入する。

マッピングの出力図に家形がなく、現地にあった場合は実線で記入する。

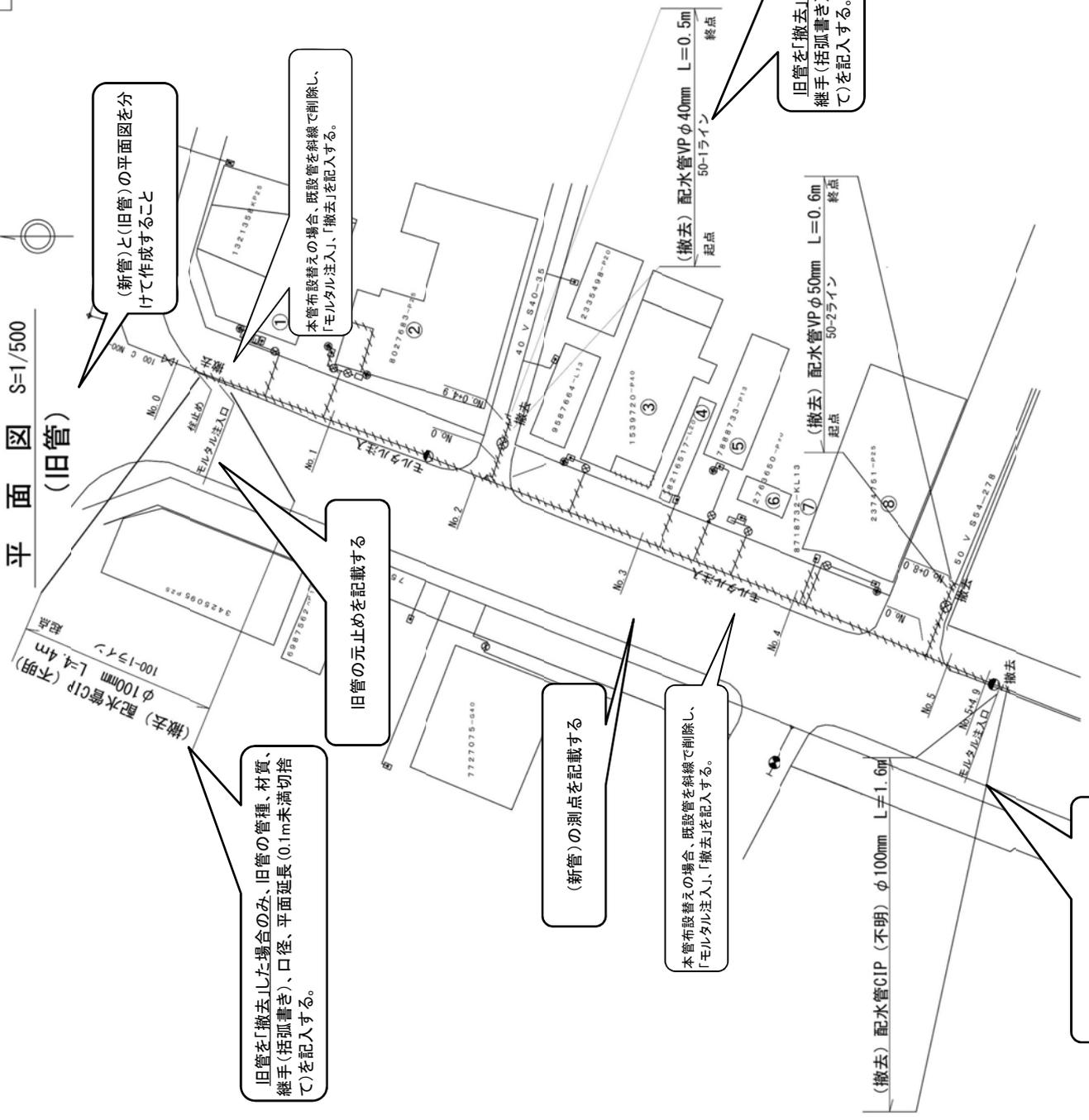
複数路線ある場合は、ルート名を記入する。

排水管は、種別、材質、継手(括弧書き)、口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

様式5

ページ番号を記入する。

# 平面図 S=1/500 (旧管)



本管布設替えの場合、既設管を斜線で削除し、「モルタル注入」を記入する。

旧管の元止めを記載する

(新管)の測点を記載する

本管布設替えの場合、既設管を斜線で削除し、「モルタル注入」を記入する。

旧管を「撤去」した場合のみ、旧管の管種、材質、継手(括弧書き)、口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

旧管の元止めを記載する



配管詳細図 S=FREE

竣工図番号 R - 5/15

ページ番号を記入する。

縮尺は、フリーとする。

平面図上のルート名を記入する。

50-1ライン

接続箇所等の材料  
(継手材)を記入する。

φ 100mm × φ 50mm<sup>1/2</sup> -ル式外<sup>1/2</sup>ル分水栓  
φ 50mm 分水栓/ソケット

φ 50mm 砲金製特殊弁  
φ 50m HP材<sup>1/2</sup>ソケット × 2ヶ

φ 50mm EFソケット

φ 50mm EFソケット

φ 50mm EFソケット

φ 50mm EFソケット

弁栓類は、規定シンボルで記入する。

φ 50mm スベ<sup>1/2</sup>ソケット45° へ<sup>1/2</sup>ソ

φ 50mm スベ<sup>1/2</sup>ソケット45° へ<sup>1/2</sup>ソ

φ 50mm × φ 40mm SKXソケット

切り管の延長は、0.1m単位で  
記入し、括弧書きする。

100-1ライン  
DIP φ 100mm

φ 100mm × φ 50mm<sup>1/2</sup> -ル式外<sup>1/2</sup>ル分水栓  
φ 50mm 分水栓/ソケット

直管は、延長を記入する。  
括弧書きしない。

50-2ライン

平面図上のルート名を記入する。

φ 50mm 砲金製特殊弁

φ 50m HP材<sup>1/2</sup>ソケット × 2ヶ

φ 50mm EFソケット

φ 50mm スベ<sup>1/2</sup>ソケット

φ 50mm EFソケット

φ 50mm EFソケット

φ 50mm EFソケット

φ 50mm スベ<sup>1/2</sup>ソケット90° へ<sup>1/2</sup>ソ

φ 50mm EFソケット

φ 50mm SKXソケット

既設管情報を記入する。  
記入する内容は、既設、口径、材質、  
継手(括弧書き)、竣工図番号を記入する。

既設40 VP (RR)  
S40-35

既設50 VP (RR)  
SS4-278

ページ番号を記入する。

縮尺は、1/100とする。

# 断面図 S=1/100

断面図の展開方向は、起点から終点とする。  
 (起点から終点を昇る方向で記入する。)  
 断面図は、官民界から寸法を記入する。  
 歩車道境界、U字溝の内側、消雪ハイブ等から寸法を取らないこと  
 道路改良工事の場合は、現行の道路形状と計画形状をわかるように  
 記入し、それぞれ明記すること

## 100-1ライン

平面図上のルート名を記入する。

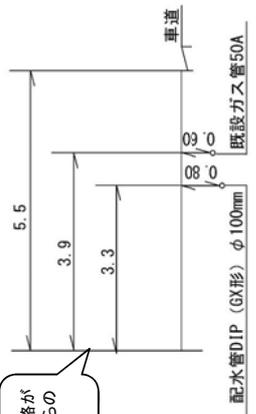
平面図の測点ごとに断面図を作成する。

### No. 0

交差点は、官民界から寸法を取れない場合は、深さのみの断面図を作成する。

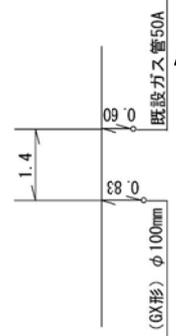
歩車道境界側に管路があっても、官民界からの寸法を記入する。

### No. 1

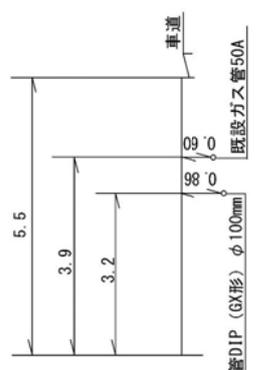


### No. 2

道路形状や管の位置が変わらない場合は、複数の断面図をまとめて作成する。

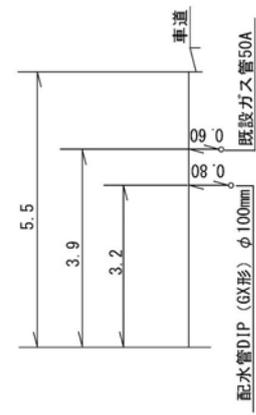


### No. 3

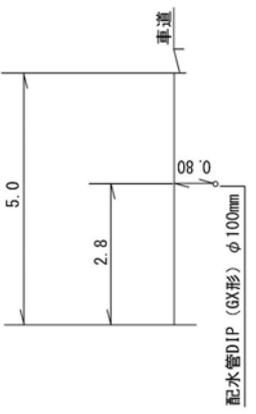


### No. 4

深さは、0.01m単位で記入する。

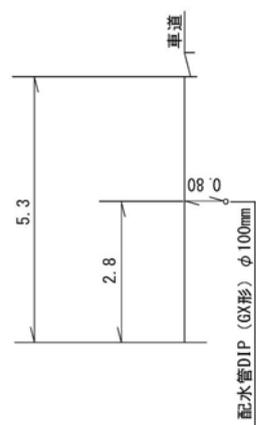


### No. 5



### No. 5+4.9

他埋設物で確認できたものは、位置、深さを記入する。



縮尺は、1/100とする。

# 断面図 S=1/100

50-1ライン

50-2ライン

竣工図番号 R - 7/15

ページ番号を記入する。

他埋設物で確認できたものは、位置、深さを記入する。

深さは、0.01m単位で記入する。

平面図上のルート名を記入する。

平面図の測点ごとに断面図を作成する。



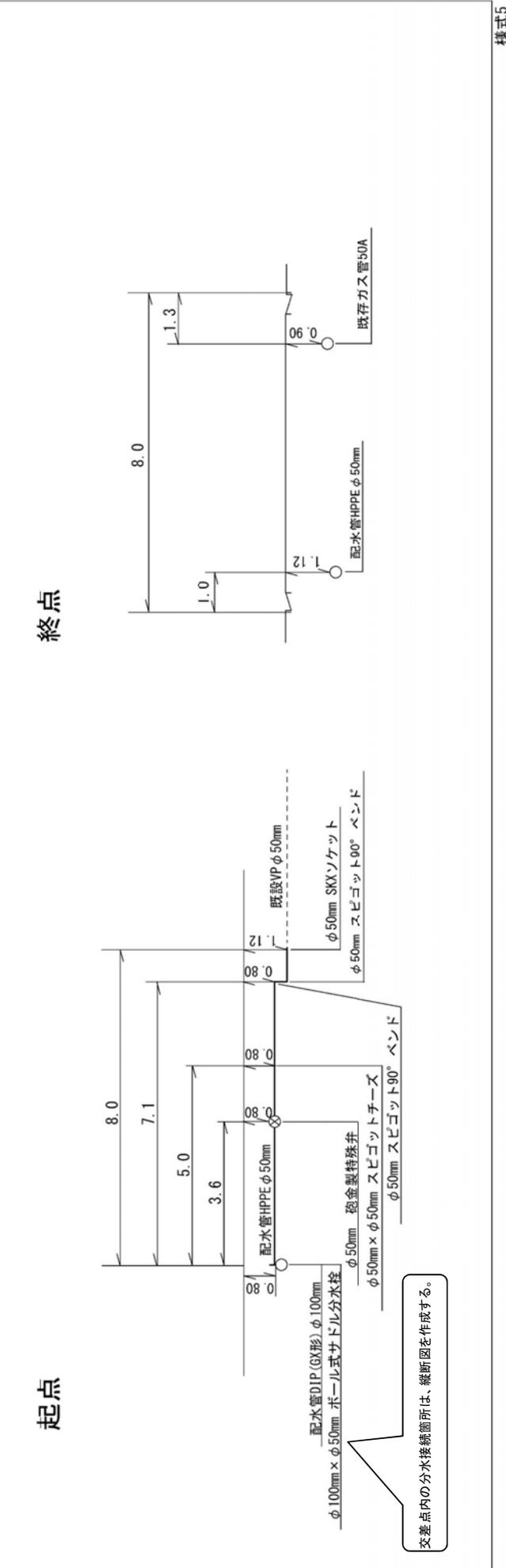
断面図の展開方向は、起点から終点とする。  
(起点から終点を見る方向で記入する。)  
断面図は、住民表から寸法を記入する。  
歩車道境界、U字溝の内側、消雪パイプ等から寸法を取らないこと  
道路改良工事の場合は、現行の道路形状と計画形状をわかるように  
記入し、それぞれ明記すること

平面図の測点ごとに断面図  
を作成する。

交差点内の分水接続箇所は、縦断面を作成する。

交差点内の分水接続箇所は、縦断面を作成する。

交差点内の分水接続箇所は、縦断面を作成する。



断面図の展開方向は、起点から終点とする。  
(起点から終点を見る方向で記入する。)  
断面図は、住民表から寸法を記入する。  
歩車道境界、U字溝の内側、消雪パイプ等から寸法を取らないこと  
道路改良工事の場合は、現行の道路形状と計画形状をわかるように  
記入し、それぞれ明記すること

平面図の測点ごとに断面図  
を作成する。

交差点内の分水接続箇所は、縦断面を作成する。

交差点内の分水接続箇所は、縦断面を作成する。

交差点内の分水接続箇所は、縦断面を作成する。

断面図の展開方向は、起点から終点とする。  
 (起点から終点を見る方向で記入する。)

断面図は、官民界から寸法を記入する。  
 歩車道境界、U字溝の内側、消雪パイプ等から寸法を取らないこと  
 道路改良工事の場合は、現行の道路形状と許画形状をわかるように  
 記入し、それぞれ明記すること

縮尺は、1/100とする。

竣工図番号 R - 9/15  
 ページ番号を  
 記入する。

# 断面図

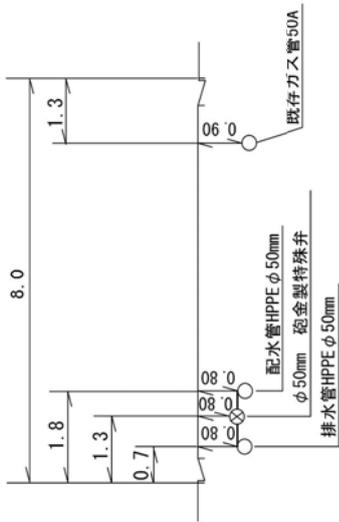
S=1/100

## 排水管ライン

平面図上のルート名を記入する。

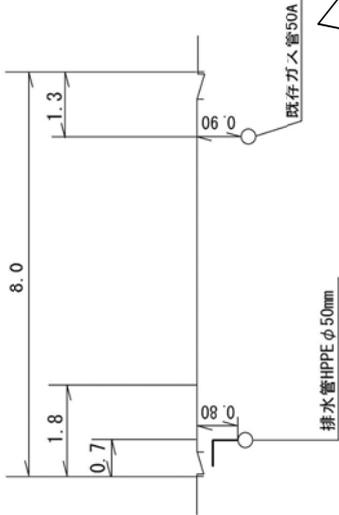
排水No. 0

平面図の測点ごとに断面図  
 を作成する。



交差点内の分水接続箇所は、縦断面を作成する。

排水No. 0+1.8



深さは、0.01m単位で記  
 入する。

他埋設物で確認できたものは、位  
 置、深さを記入する。

ページ番号を記入する。

# オフセット図 S=free

100-1ライン (1)

縮尺は、フリーとする。

竣工図内の全ての図面の方位を合わせること

平面図上のルート名を記入する。

測点ポイントに記号(または番号)を記入する。

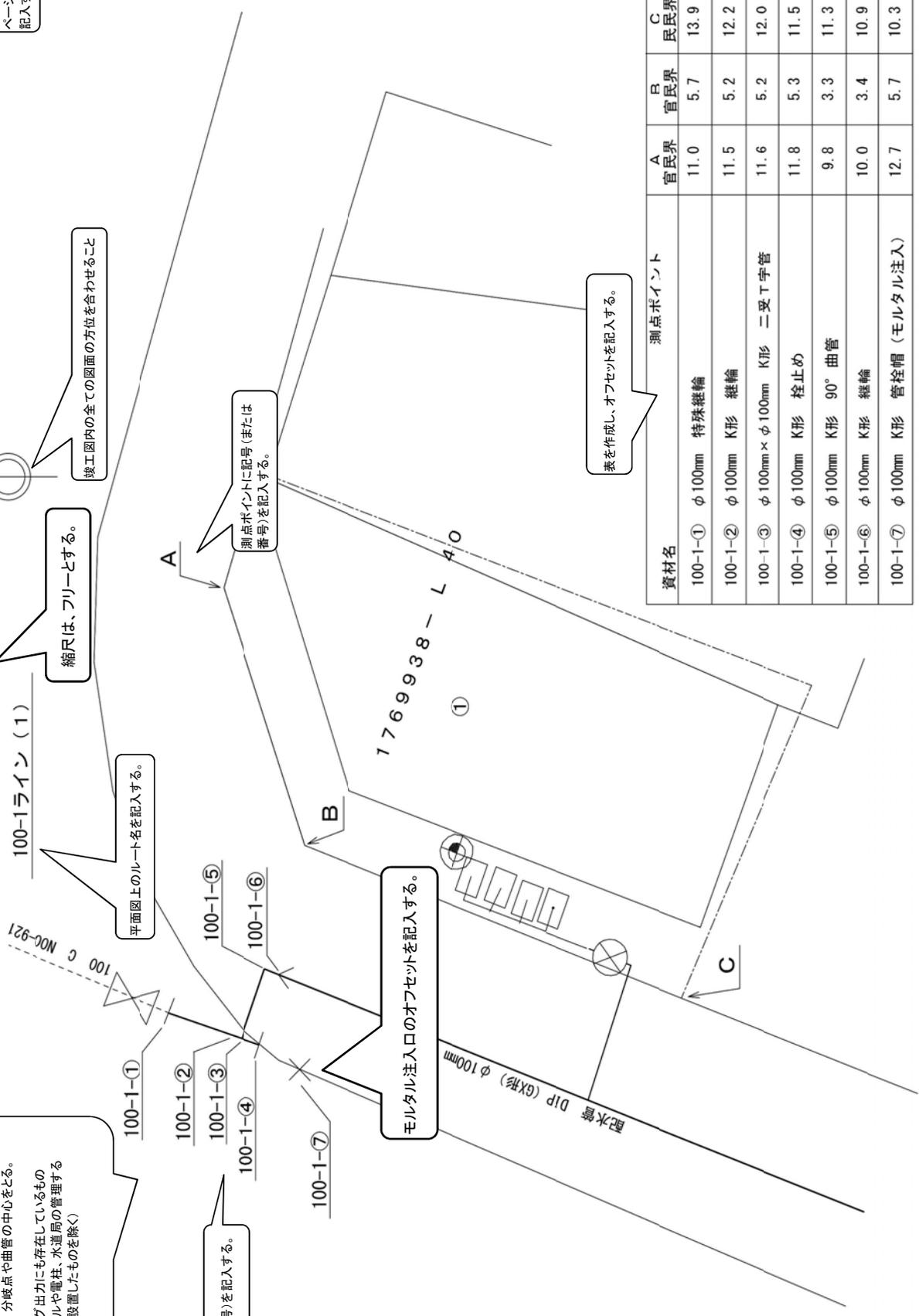
表を作成し、オフセットを記入する。

異形管や接続点を地形図の永久構造物から3点以上を測定する。異形管の測定位置は、分岐点や曲管の中心をとる。地物の優先順位

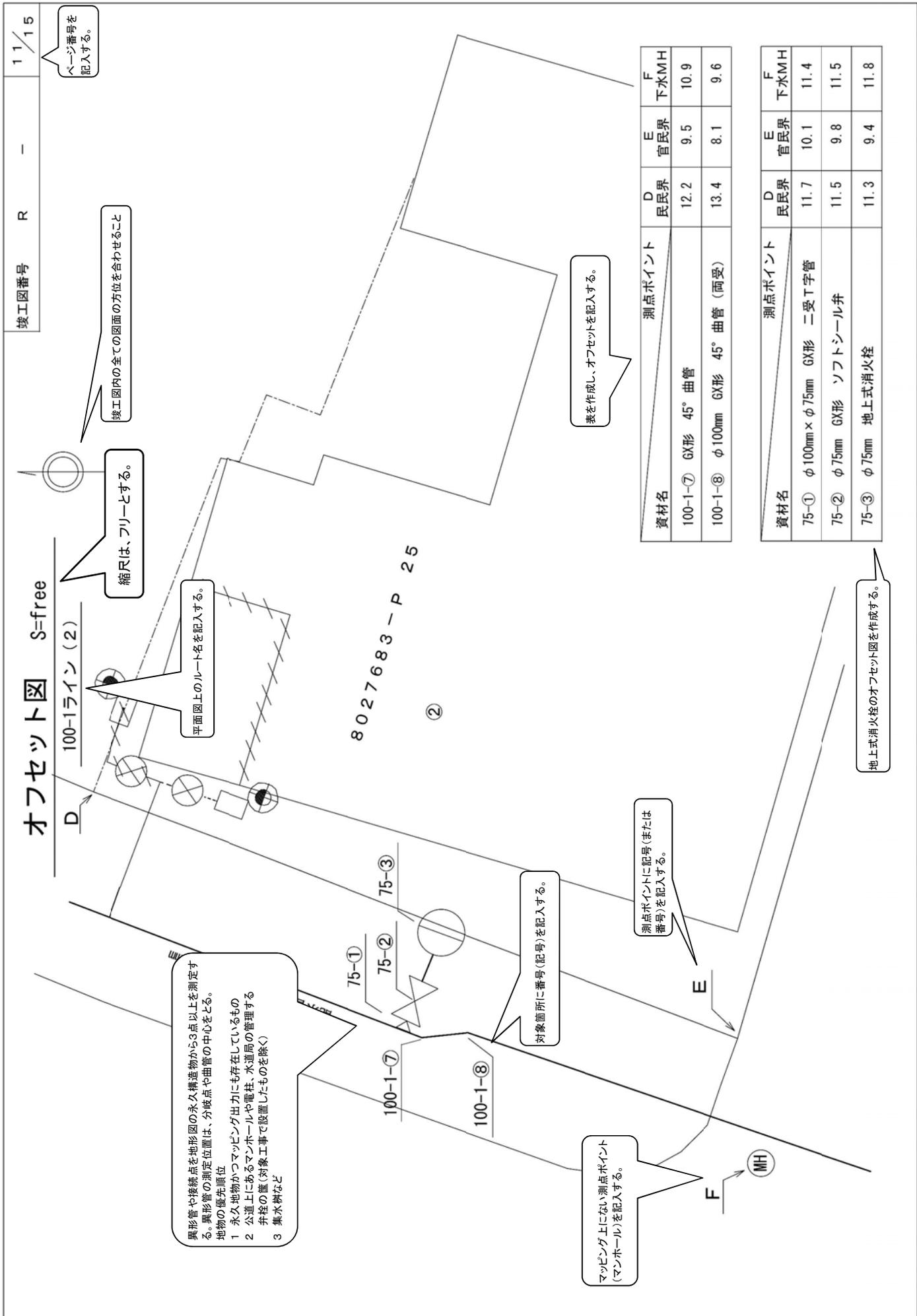
- 1 永久地物かつマッピング出力にも存在しているもの
- 2 公道上にあるマンホールや電柱、水道局の管理する井栓の樋(対象工事で設置したものを除く)
- 3 集水樹など

対象箇所に番号(記号)を記入する。

モルタル注入口のオフセットを記入する。



資材名	A 官民界	B 官民界	C 民民界
100-1-① φ100mm 特殊継輪	11.0	5.7	13.9
100-1-② φ100mm K形 継輪	11.5	5.2	12.2
100-1-③ φ100mm × φ100mm K形 二受T字管	11.6	5.2	12.0
100-1-④ φ100mm K形 柱止め	11.8	5.3	11.5
100-1-⑤ φ100mm K形 90° 曲管	9.8	3.3	11.3
100-1-⑥ φ100mm K形 継輪	10.0	3.4	10.9
100-1-⑦ φ100mm K形 管栓帽 (モルタル注入)	12.7	5.7	10.3



# オフセット図 S=free

100-1ライン (3) 50-1ライン

竣工図内の全ての図面の方位を合わせることに  
縮尺は、フリーとする。

平面図上のルート名を記入する。

異形管や接続点を地形図の永久構造物から3点以上を測定する。異形管の測定位置は、分岐点や曲管の中心をとる。  
 地物の優先順位  
 1 永久地物かつマッピング出力にも存在しているもの  
 2 公道にあるマンホールや電柱、水道局の管理する井栓の蓋(対象工事で設置したものを除く)  
 3 集水溝など

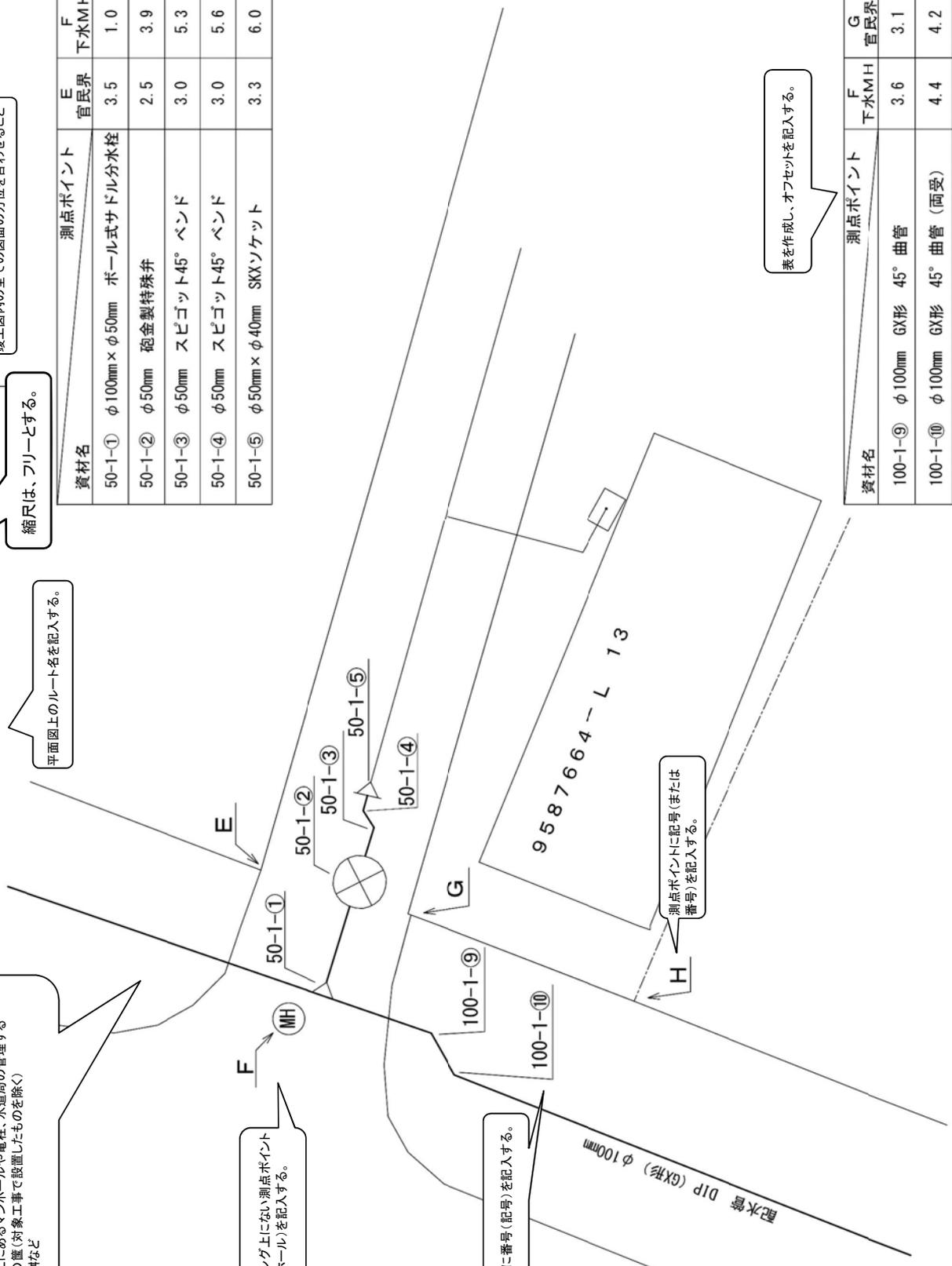
資材名	E 官民界	F 下水MH	G 官民界
50-1-① φ100mm×φ50mm ポール式サドル分水栓	3.5	1.0	3.0
50-1-② φ50mm 砲金製特殊弁	2.5	3.9	1.5
50-1-③ φ50mm スピゴット45° ベンド	3.0	5.3	1.5
50-1-④ φ50mm スピゴット45° ベンド	3.0	5.6	2.8
50-1-⑤ φ50mm×φ40mm SKXソケット	3.3	6.0	3.1

マッピング上にない測点ポイント(マンホール)を記入する。

対象箇所に番号(記号)を記入する。

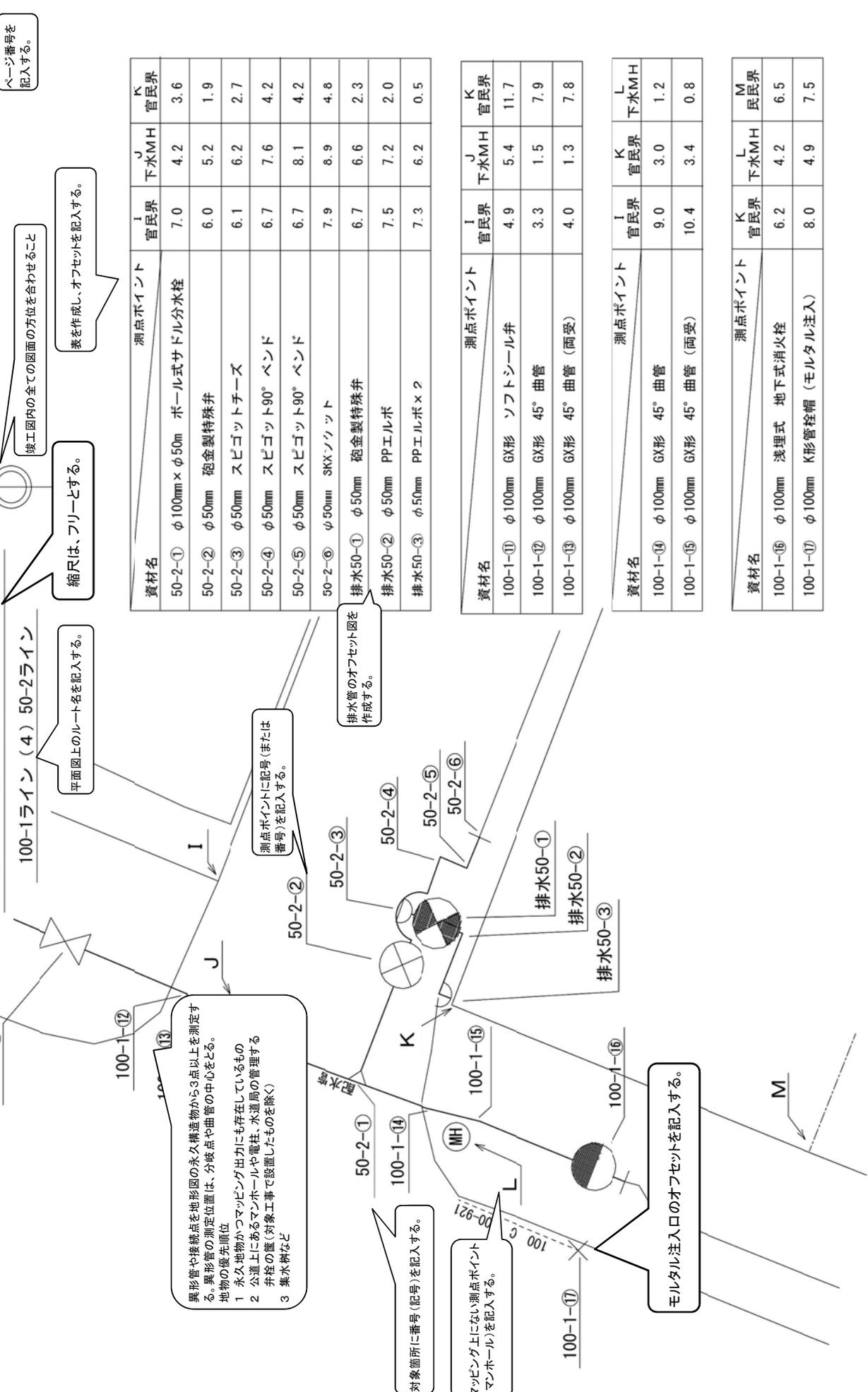
測点ポイントに記号(または番号)を記入する。

表を作成し、オフセットを記入する。



資材名	F 下水MH	G 官民界	H 民民界
100-1-⑨ φ100mm GX形 45° 曲管	3.6	3.1	5.2
100-1-⑩ φ100mm GX形 45° 曲管 (面受)	4.4	4.2	4.9

# オフセット図 S=free



ページ番号を記入する。

竣工図内の全ての図面の方位を合わせること

縮尺は、フリーとする。

平面図上のルート名を記入する。

測点ポイントに記号(または番号)を記入する。

排水管のオフセット図を作成する。

対象箇所(番号)を記入する。

マッピング上にない測点ポイント(マンホール)を記入する。

マンホール注入口のオフセットを記入する。

資材名	測点ポイント	I 官民界	J 下水MH	K 官民界
50-2-①	φ100mm × φ50mm ボール式サドル分水栓	7.0	4.2	3.6
50-2-②	φ50mm 砲金製特殊弁	6.0	5.2	1.9
50-2-③	φ50mm スピゴットチーヅ	6.1	6.2	2.7
50-2-④	φ50mm スピゴット90° ベンド	6.7	7.6	4.2
50-2-⑤	φ50mm スピゴット90° ベンド	6.7	8.1	4.2
50-2-⑥	φ50mm SKXノック	7.9	8.9	4.8
排水50-①	φ50mm 砲金製特殊弁	6.7	6.6	2.3
排水50-②	φ50mm PPエルボ	7.5	7.2	2.0
排水50-③	φ50mm PPエルボ × 2	7.3	6.2	0.5

資材名	測点ポイント	I 官民界	J 下水MH	K 官民界
100-1-⑪	φ100mm GX形 ソフトシール弁	4.9	5.4	11.7
100-1-⑫	φ100mm GX形 45° 曲管	3.3	1.5	7.9
100-1-⑬	φ100mm GX形 45° 曲管 (両受)	4.0	1.3	7.8

資材名	測点ポイント	I 官民界	K 官民界	L 下水MH
100-1-⑭	φ100mm GX形 45° 曲管	9.0	3.0	1.2
100-1-⑮	φ100mm GX形 45° 曲管 (両受)	10.4	3.4	0.8

資材名	測点ポイント	K 官民界	L 下水MH	M 官民界
100-1-⑯	φ100mm 浅埋式 地下式消火栓	6.2	4.2	6.5
100-1-⑰	φ100mm K形管栓帽 (モルタル注入)	8.0	4.9	7.5

# 掘削復旧断面図

S=FREE

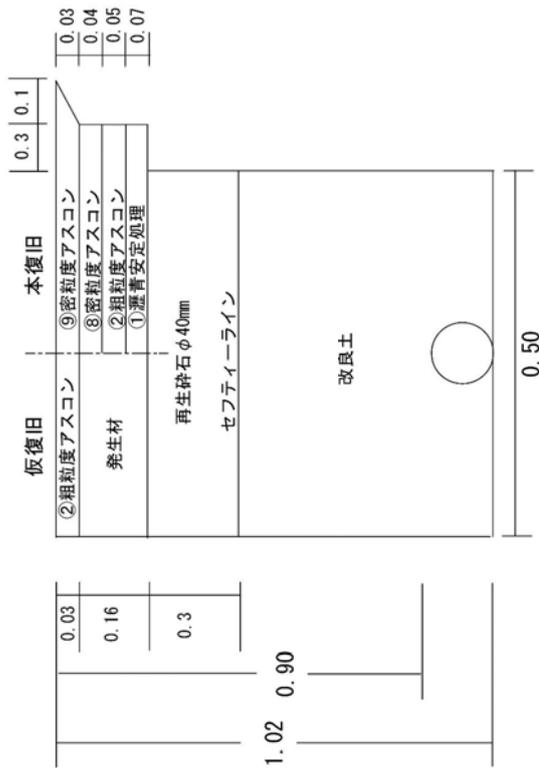
竣工図番号 R - 14/15

路面種別に、掘削及び埋め戻しの断面図を作成する。

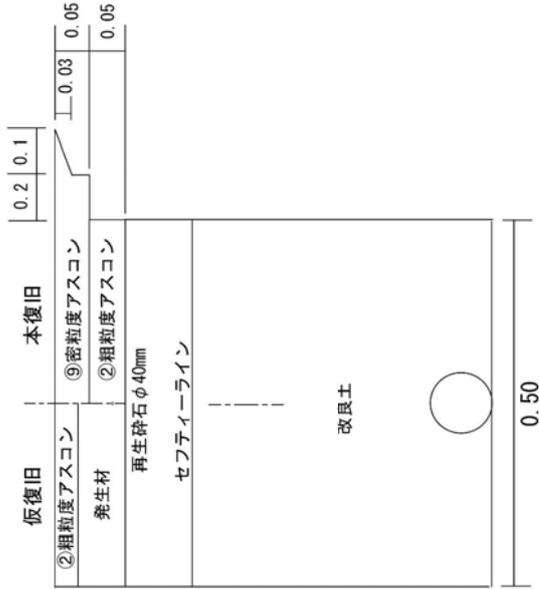
縮尺は、フリーとする。

ページ番号を記入する。

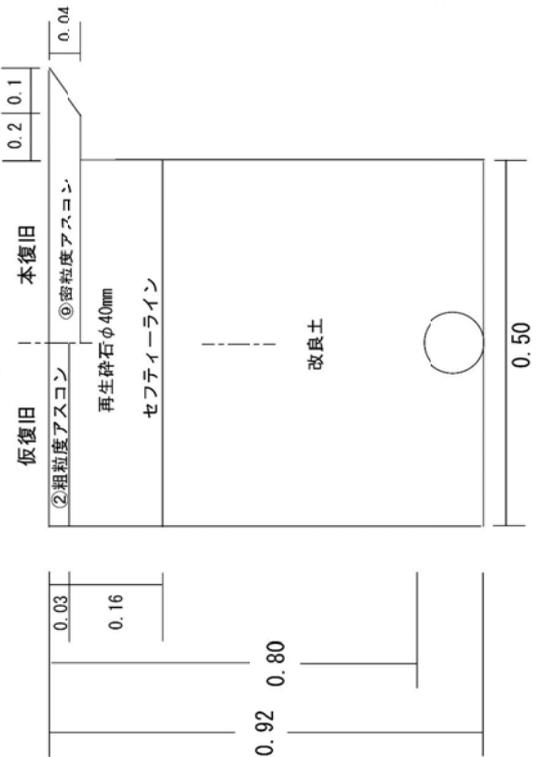
都市計画道路  
φ 100mm



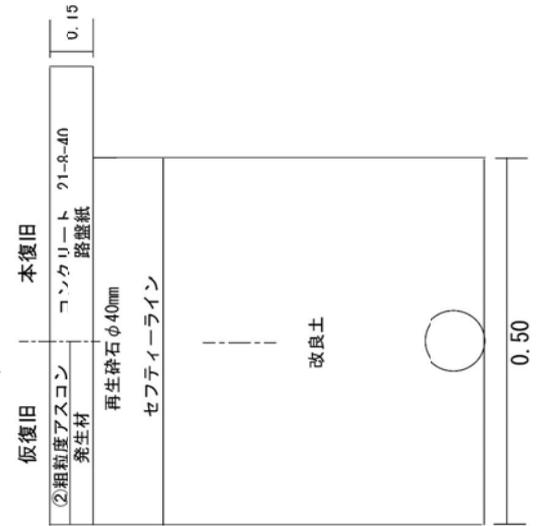
市道2層  
φ 100mm



歩道AS  
φ 100mm



歩道CO乗り入れ  
φ 100mm



# 掘削復旧断面図

S=FREE

竣工図番号 R -

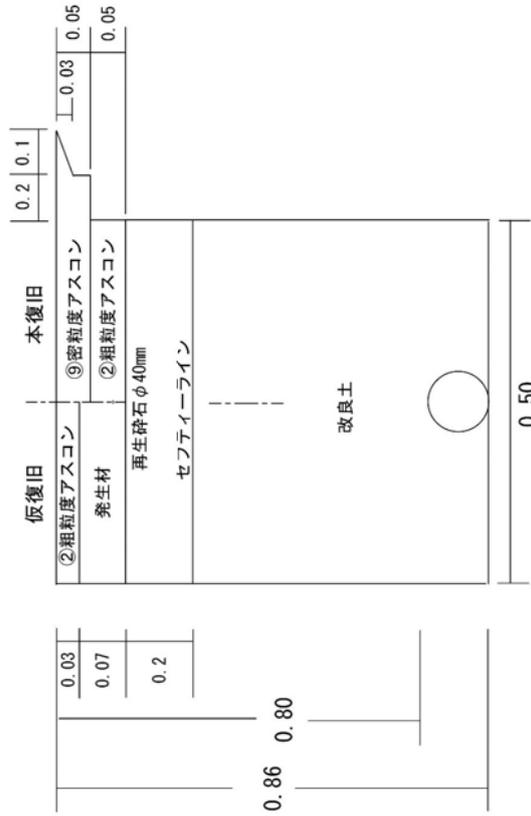
15 / 15

ページ番号を記入する。

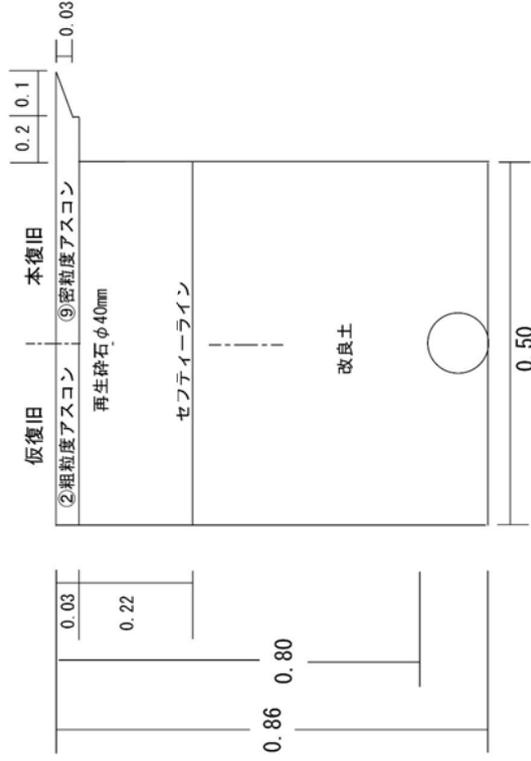
縮尺は、フリーとする。

路面種別に、掘削及び埋め戻しの断面図を作成する。

市道2層  
φ 50mm



市道1層  
φ 50mm



# 工事

全を○で囲む。

## (引込管)

竣工図番号	R	-
引込番号	1769938	
工種	布設替 (全・一部)・接続・元止・その他	施設番号 1769938
本管	材質 DIP 口径 100 mm	施設場所 ○○町 △丁目 ○○番 △△号 番地
新引込管	材質 PP 口径 40 mm	所有者 (印)
旧引込管	材質 LP 口径 40 mm	竣工検査日 令和○○年 △月○○日

### 案内図

新引込管は、本管から官民境界で施工時に使用した材料を記入する。

竣工検査年月日を必ず記入する。

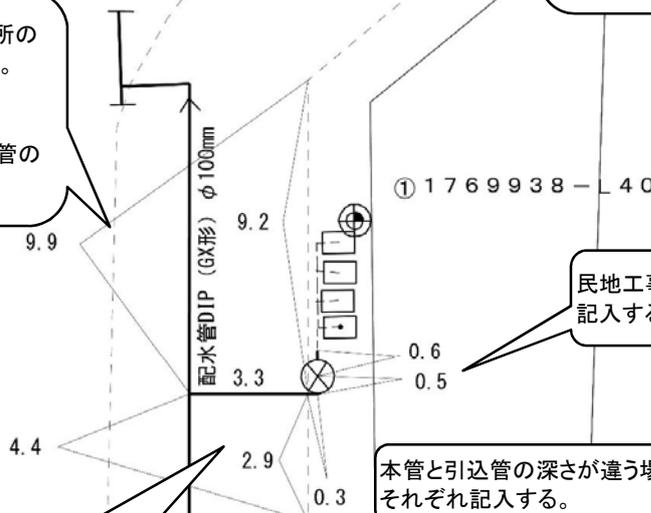
旧引込管は、施工前の本管から官民境界で使用している引込管の情報を記入する  
(一層ポリエチレン管は”PP-1”と記入してください。)

案内図と平面図の方位を合わせる

案内図は、  
・住宅地図等の写しを十分な大きさに原図を貼り付けること  
・該当家屋を太線で囲み、内部に細い線で斜線を記入すること  
・本管からの取り出し方向を記入すること

### 平面図 オフセット図

全部替えの場合は次の箇所のオフセット(3点)を記入する。  
・本管からの分岐点  
・官民境界の横断点  
・甲止(分水栓から直線配管の場合は不要)



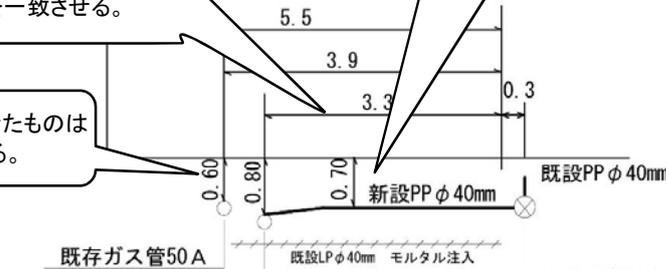
民地工事終了までの横引き延長も記入する。

本管と引込管の深さが違う場合はそれぞれ記入する。

### 横断面図

平面図と横断面図の延長を一致させる。

他埋設物で確認できたものは位置・深さも記入する。



民地内の工事内容を記入する。  
・官民境界から民地工事終了までの延長  
・使用材料  
・既設管情報(PP-1追加)

既設管の処理方法を記入  
・撤去、モルタル注入

局担当 印

工事名	令和○○年度 ○○○第△号 配水管布設	LPφ40mmをPPφ40mmに布設替
備考		施工業者 ○○○○

# 工事 (引込管)

全を○で囲む。

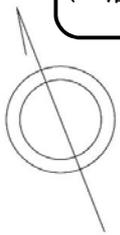
新引込管は、本管から官民境界で施工時に使用した材料を記入する。

工種	布設替 (全・一部)・接続・元止・その他	番号	8 2 1 6 5 1 7
本管	材質 DIP 口径 100 mm	施設場所	〇〇町 △丁目 〇〇番 △△号 番地
新引込管	材質 PP 口径 13 mm	所有者	(印)
旧引込管	材質 PP-1 口径 13 mm	竣工検査日	令和〇〇年 △月〇〇日

## 案内図

旧引込管は、施工前の本管から官民境界で使用している引込管の情報を記入する (一層ポリエチレン管は"PP-1"と記入してください。)

竣工検査年月日を必ず記入する。



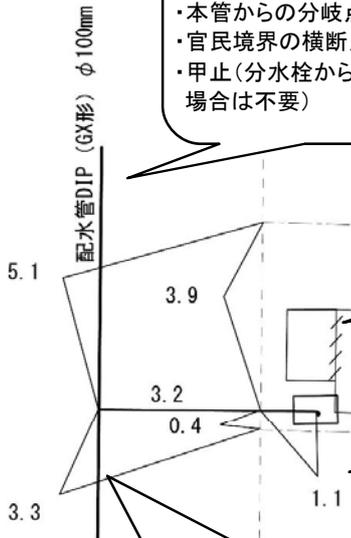
案内図と平面図の方位を合わせること

案内図は、  
・住宅地図等の写しを十分な大きさに原図を貼り付けること  
・該当家屋を太線で囲み、内部に細い線で斜線を記入すること  
・本管からの取り出し方向を記入すること

## 平面図 オフセット図

全部替えの場合は次の箇所のオフセット(3点)を記入する。  
・本管からの分岐点  
・官民境界の横断点  
・甲止(分水栓から直線配管の場合は不要)

地形や家形の修正がある場合は、実線にて修正し、削除線は斜線にて消去する。



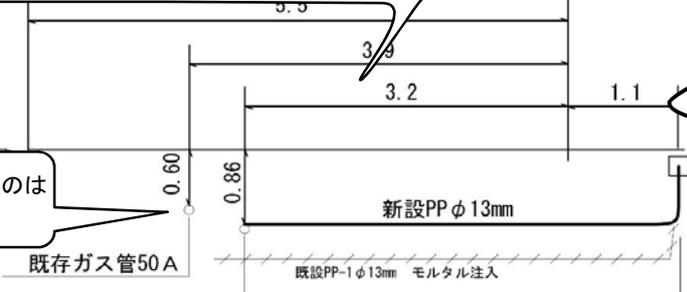
メーターまでの延長も記入する。

## 横断面図

平面図と横断面図の延長を一致させる。

民地内の工事内容を記入する。  
・官民境界から民地工事終了までの延長  
・使用材料  
・既設管情報(PP-1追加)

他埋設物で確認できたものは位置・深さも記入する。



配水管DIP (GX形) φ100mm  
φ100mm×φ20mmホース式サドル分水栓  
φ20mm×φ13mm分水栓ソケット

既設管の処理方法を記入  
・撤去、モルタル注入

局担当 印

工事名	令和〇〇年度 〇〇〇第△号 配水管布設替	管PP-1φ13mmをPPφ13mmに布設替
備考	マッピングはPP20だが現場はPP13だった。	施工業者 〇〇〇〇

マッピングの引込管口径が現場と違っていた場合は、その旨を記入する。

<工事日報(引込管) 官民界まで全部替>  
 新引込管口径を増径した場合

# 工事日報 (引込管)

全を○で囲む。

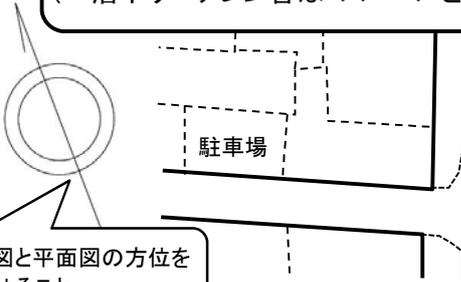
お客様の都合により引込管を増径した場合は、所有者名と押印が必要

工種	布設替 (全)・一部	・接続・元止・その他	竣工図番号	引込番号	7888733
本管	材質	DIP	口径	100	mm
新引込管	材質	PP	口径	20	mm
旧引込管	材質	PP-1	口径	13	mm
			施設番号	7888733	
			施設場所	〇〇△丁目	〇〇番△△号 番地
			所有者	〇〇〇〇	印
			竣工検査日	令和〇〇年	△月〇〇日

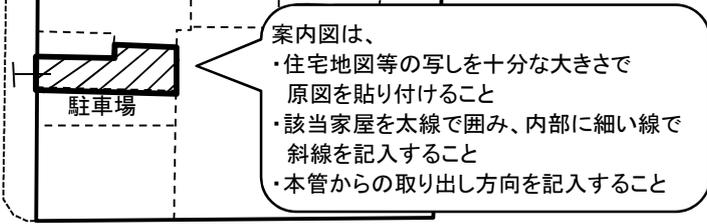
## 案内図

旧引込管は、施工前の本管から官民境界で使用している引込管の情報を記入する  
 (一層ポリエチレン管は"PP-1"と記入してください。)

竣工検査年月日を必ず記入する。



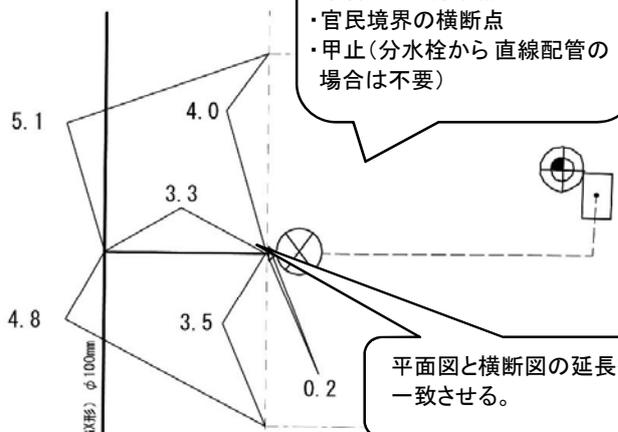
案内図と平面図の方位を合わせる



案内図は、  
 ・住宅地図等の写しを十分な大きさと原図を貼り付けること  
 ・該当家屋を太線で囲み、内部に細い線で斜線を記入すること  
 ・本管からの取り出し方向を記入すること

## 平面図 オフセット図

全部替えの場合は次の箇所のオフセット(3点)を記入する。  
 ・本管からの分岐点  
 ・官民境界の横断点  
 ・甲止(分水栓から直線配管の場合は不要)

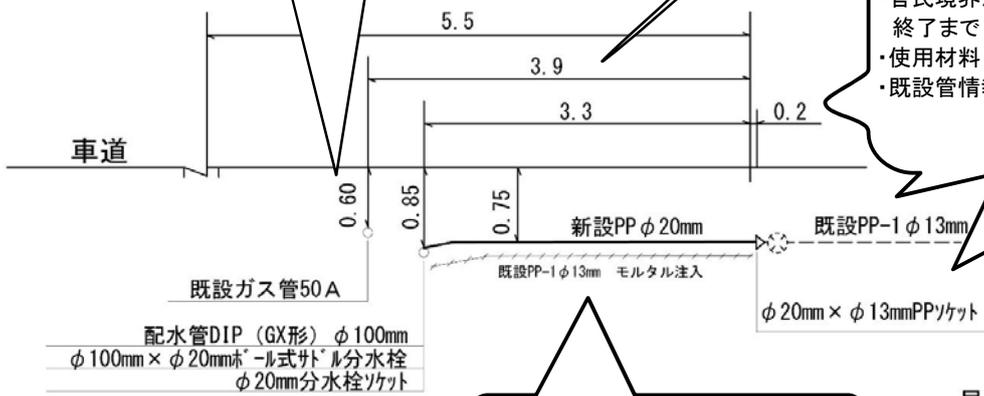


平面図と横断図の延長を一致させる。

## 横断図

他埋設物で確認できたものは位置・深さも記入する。

民地内の工事内容を記入する。  
 ・官民境界から民地工事終了までの延長  
 ・使用材料  
 ・既設管情報(PP-1追加)



既設管の処理方法を記入  
 ・撤去、モルタル注入

局担当 印

工事名	令和〇〇年度 〇〇〇第△号 配水管布設替工事	mmをPP φ20mmに布設替
備考	お客様の都合により増径した。	施工業者 〇〇〇〇〇

# 工事日報

一部を○で囲む。

新引込管は、本管から官民境界で施工時に使用した材料を記入する。

引込番号	8027683
施設番号	8027683
施設場所	〇〇町 △丁目 〇〇番 △△号 番地
所有者	(印)
竣工検査日	令和〇〇年 △月〇〇日

**案内図**

旧引込管は、施工前の本管から官民境界で使用している引込管の情報を記入する

案内図は、  
・住宅地図等の写しを十分な大きさに原図を貼り付けること  
・該当家屋を太線で囲み、内部に細い線で斜線を記入すること  
・本管からの取り出し方向を記入すること

竣工検査年月日を必ず記入する。

案内図と平面図の方位を合わせること

一部替えの場合は、次の箇所のオフセット(3点)を記入する。  
・本管からの分岐点  
・既設引込管との接続点

**平面図**  
オフセット図

地形や家形の修正がある場合は、実線にて修正し、削除線は斜線にて消去する。

量水器位置の修正がある場合は、破線にて修正し、削除線は斜線にて消去する。

平面図と横断面図の延長を一致させる。

本管と引込管の深さが違う場合はそれぞれ記入する。

他埋設物で確認できたものは位置・深さも記入する。

使用材料  
・既設管情報を記入する。

既設管の処理方法を記入  
撤去、モルタル注入

局担当 印

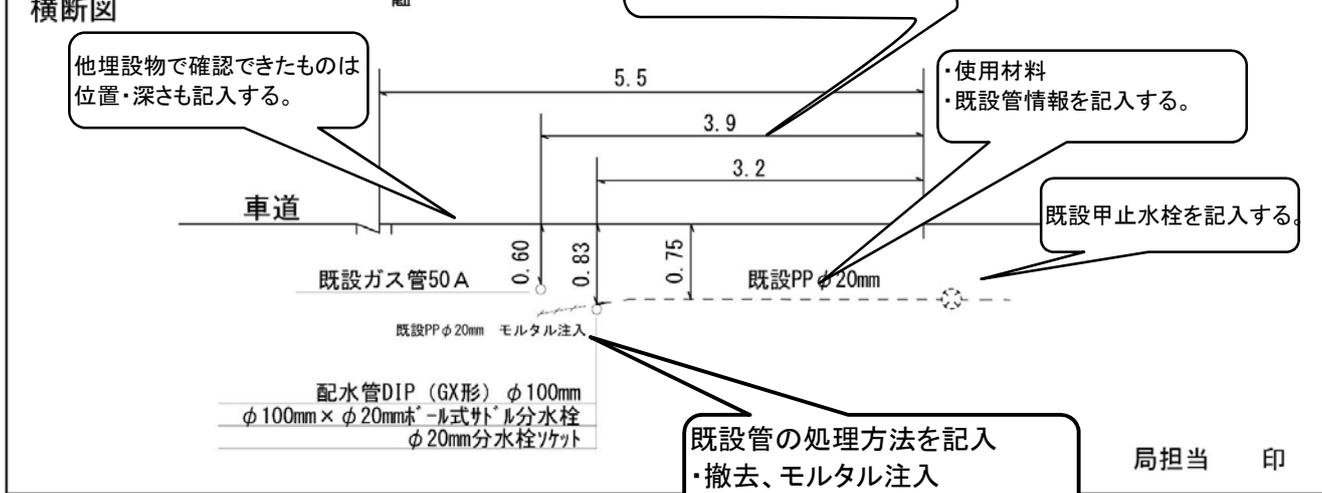
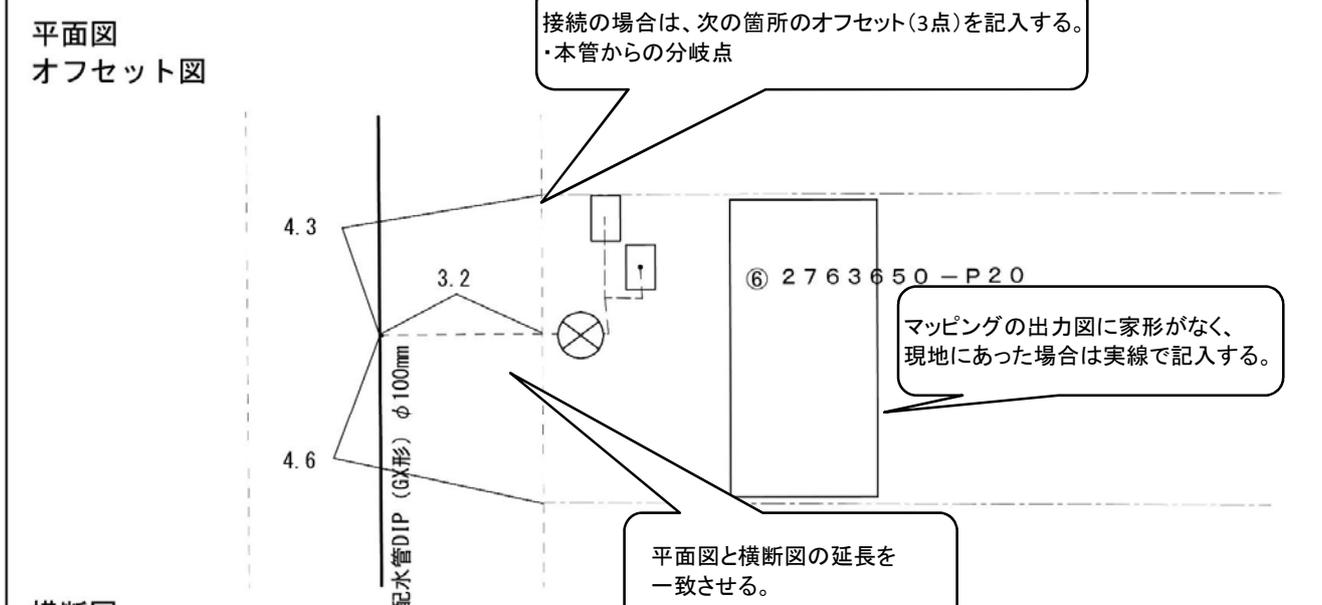
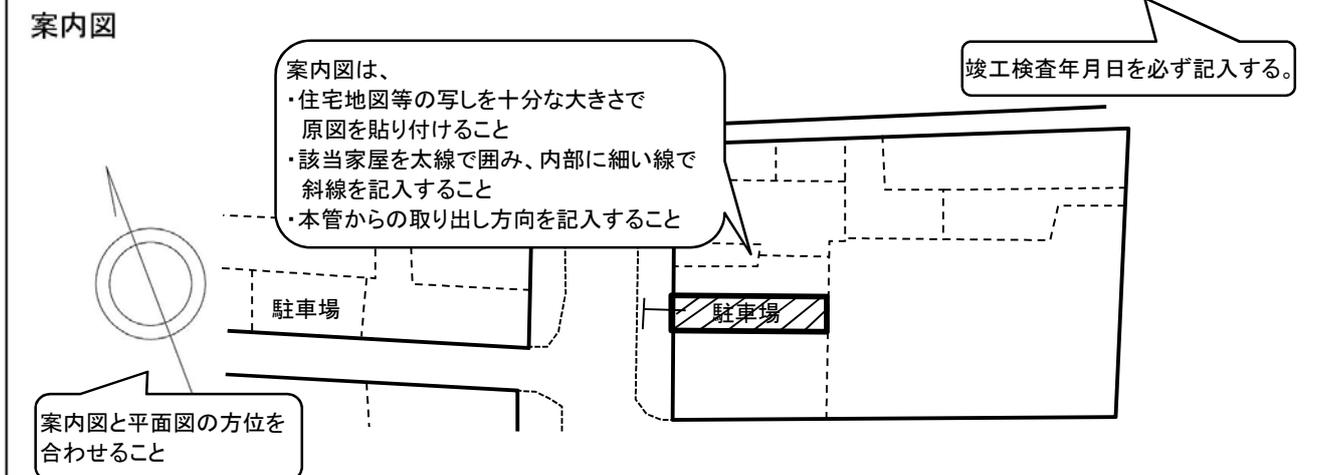
工事名	令和〇〇年度 〇〇〇第△号 配水管布設替工事	工事内容	既設PPφ25mmに接続
備考	マッピングと量水器位置が異なる。配管状況不明。	施工業者	〇〇〇〇

マッピングと現場と違っていた場合は、その旨を記入する。

# 工事日誌 (引込管)

接続を○で囲む。

竣工図番号	R -
引込番号	2763650
施設番号	2763650
施設場所	〇〇町 △丁目 〇〇番 △△号 番地
所有者	(印)
竣工検査日	令和〇〇年 △月〇〇日



工事名	令和〇〇年度 〇〇〇第△号 配水管布設替工事	接続
備考	施工業者	〇〇〇〇

# 工事日報 (引込管)

		R -
		8718732
元止を○で囲む。		
工種	布設替 (全・一部) ・接続・ <b>元止</b> ・その他	施設番号 8718732
本管	材質 DIP 口径 100 mm	施設場所 ○○町 △丁目 ○○番 △△号 番地
新引込管	材質 口径 mm	所有者 ○○○ ○○ (印)
旧引込管	材質 LP 口径 13 mm	竣工検査日 令和○○年 △月○○日

**案内図**

お客様の都合により、必要栓を未接続とした場合は、所有者名と押印が必要

竣工検査年月日を必ず記入する。

平面図  
オフセット図  
記入不要

案内図は、  
・住宅地図等の写しを十分な大きさに  
原図を貼り付けること  
・該当家屋を太線で囲み、内部に細い線で  
斜線を記入すること

**横断図**  
記入不要

※必要栓・・・所有者が必要と意志表示している給水管  
現地にメーターがなくとも、必要栓を元止めする場合は、必ず監督員と協議すること。

		局担当 印
工事名	令和○○年度 ○○○第○号 配水管布設替工事	工事内容 不使用LPφ13mm未接続
備考	所有者確認の上、元止め。	施工業者 ○○○○

### 記入例 4－3 水路横断部を含む配水管工事



工務課	課長補佐 係
受付日	令和 年 月 日
受付番	

## 本管工事

承認・竣工届 (その)

3. 新設管路情報は、工事で使用した全ての管路情報を記入する。

補修工事の場合は工事費を負担する事業者名を記入する。

給水管工事以外は記入不要

住所 氏名 記入不要

1 工事属性	工事年度	工事種別	工事名称	工事場所	竣工予定日	令和 年 月 日		
ROO		配水管移設	配水管移設	長岡市 〇〇〇 地内				
2 工事属性	工事種別	工事費	担当者	竣工後の管種別	竣工検査年月日を必ず記入する。	年月日		
水道・消防・需要者(補償工事(〇〇〇)・その他)	新設管路情報			導水管 ⇒ 導水管 ⇒ 送水管 ⇒ 本配水管 ⇒ 支配水管 ⇒ 給水管 ⇒ 排水管 ⇒ 排水管	△月 〇〇日	〇〇日		
3 新設管路情報	管種別	口径	特記事項	管種別	管径	長さ	形状	形状
1	支	100	D	工事延長	9.5			
2	支	100	S	工事延長	132			
3	支		DG	橋式5の平面図の延長を記入する。				
4	支		HP	配水管の延長を記入する。				
5	支		ポリエチレン管					
6	支		ステンレス管					
7	支							
8	支							
9	支							
10	計			工事延長を O、Om 単位で記入する。	22.7			
11	計			合計延長を記入する。				

導、送、本、支、給本、排水を記入する。

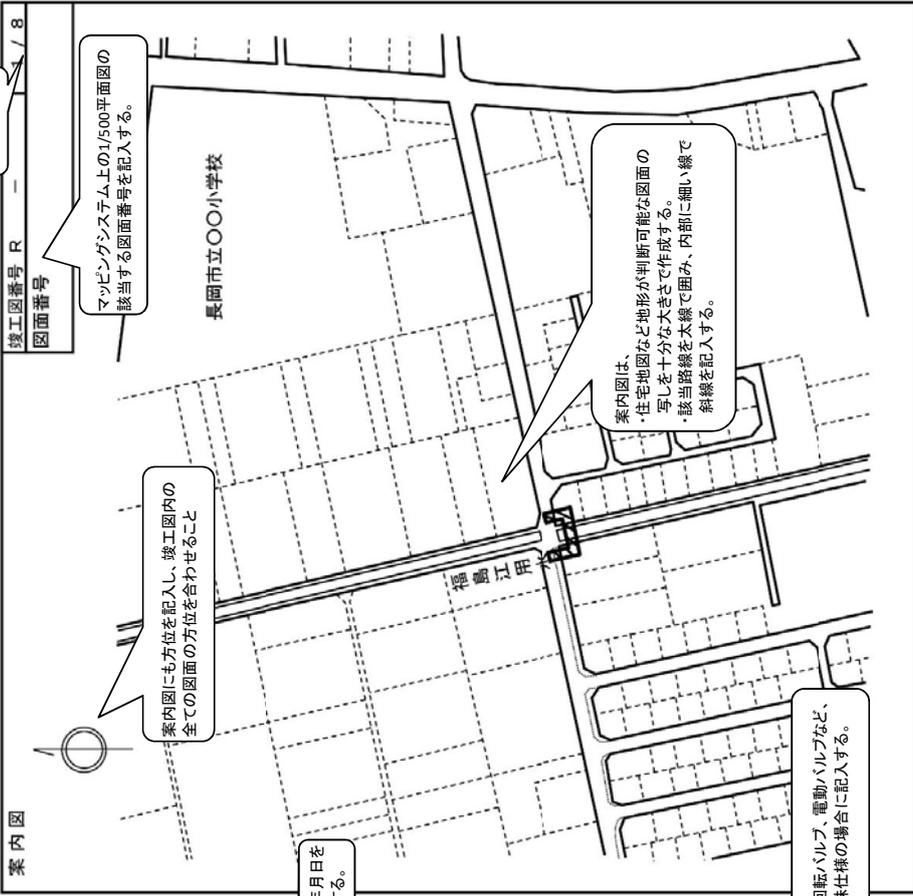
右の該当する記号を記入する。

工事延長を O、Om 単位で記入する。

工事延長を記入する。

材質、内面仕様、外面仕様、接合法で該当しないものがあつた場合は、空白部に記入し、その記号(他1)等を記入する。

材料、内面仕様、外面仕様、接合法で該当しないものがあつた場合は、空白部に記入し、その記号(他1)等を記入する。



給水管管線工事委託に同意し、当該水道管の所有権は水道局に譲渡します。

令和 年 月 日 住所 氏名 印

工事全般に対する特記事項等があれば記入する。

水道施設所有権移転 有 無  
 土地使用承諾 有 無  
 分岐承諾 有 無

水質検査結果  
 検査日時 令和〇〇年 〇月 〇日 〇時〇〇分  
 検査結果 色: 〇〇 濁り: 〇〇 味: 〇〇  
 臭い: 〇〇 硬度: 〇〇mg/L

業者名 主任技術者名

局発注工事の場合は給水装置工事主任技術者ではなく、その工事における建設業法上の主任技術者を記入する。  
 (修繕工事等で主任技術者がいない場合は、その工事の真正任者の氏名を記入する。) 押印不要

# 平面図 S=1/100

ページ番号を  
記入する。

必ず方位を記入し、様式4の案内図と  
同方向とする。竣工図内の全ての  
図面の方位を合わせる。

縮尺は、1/500を標準とし、小工事等においては  
1/100、1/200でも可能とする。

起・終点の断面図を作成する。

構造等の詳細図については水道局監製と協議のうえ作成すること  
このほか配管詳細図やオフセット図等が必要である。  
シンボル区分に応じた別途調書を作成する。  
様式6「水管標・河川占用等調書」  
様式7「推進管・河川軌道下占用等調書」

既設管情報を記入する。  
記入する内容は、口径、材質、  
竣工図番号を記入する。

シンボル区分から選択し記入

水	河川、水路に水管標を設置
水	河川、水路を推進にて横断
軌	軌道下を横断
推	道路等(河川水路以外)を推進にて横断

工事変化点 | を記入する。

材質変化点 > を記入する。

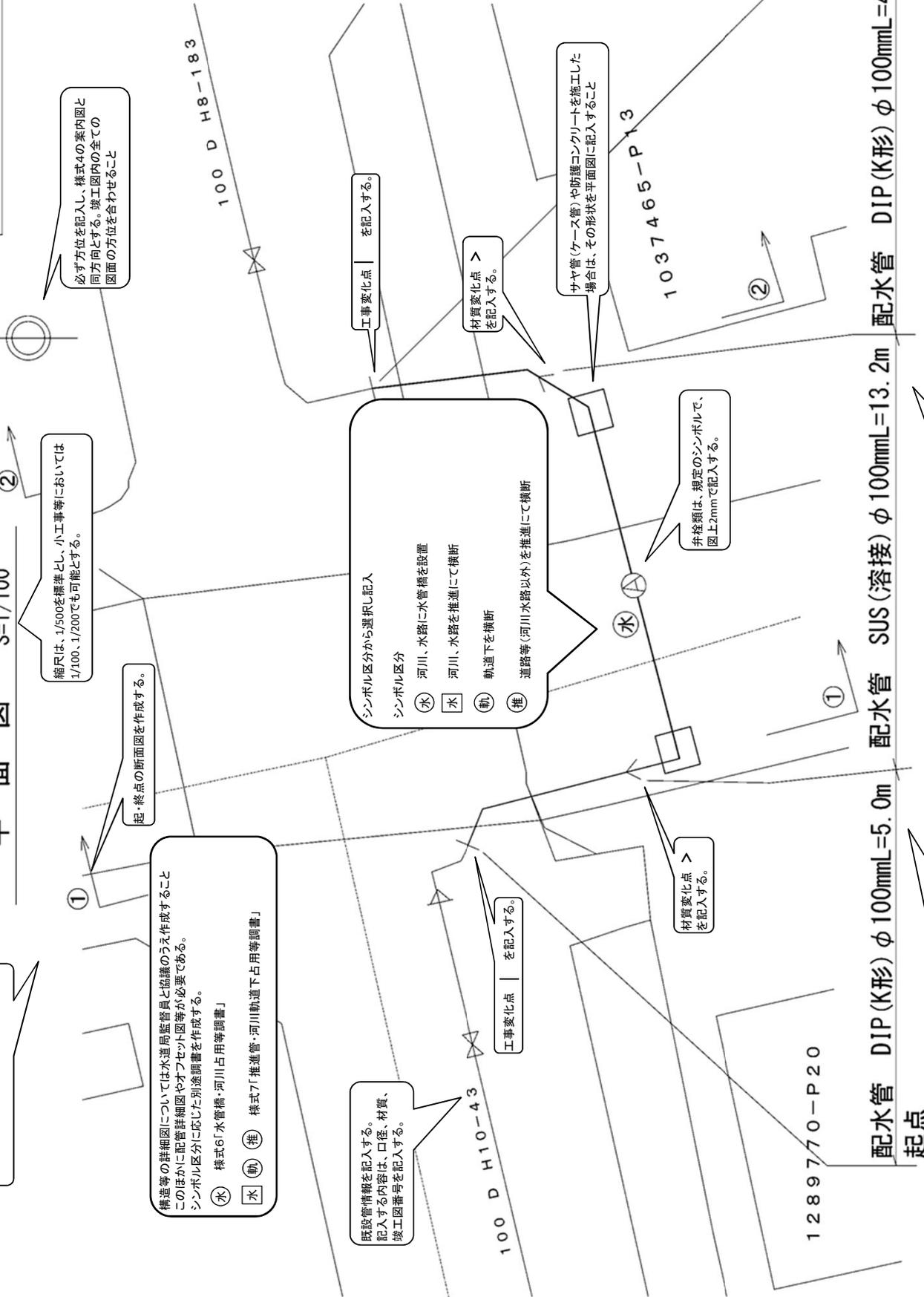
サヤ管(ケース管)や防護コンクリートを施工した  
場合は、その形状を平面図に記入すること

弁栓類は、規定のシンボルで、  
図上2mmで記入する。

材質変化点 > を記入する。

新設管情報は、管種、口径別に記入する。  
記入する内容は、管種、材質、継手(括弧書き)、  
口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

延長は設計延長ではなく、  
出来形延長を記入する。



配水管 DIP (K形)  $\phi$  100mmL=5.0m 配水管 SUS (溶接)  $\phi$  100mmL=13.2m 配水管 DIP (K形)  $\phi$  100mmL=4.5m

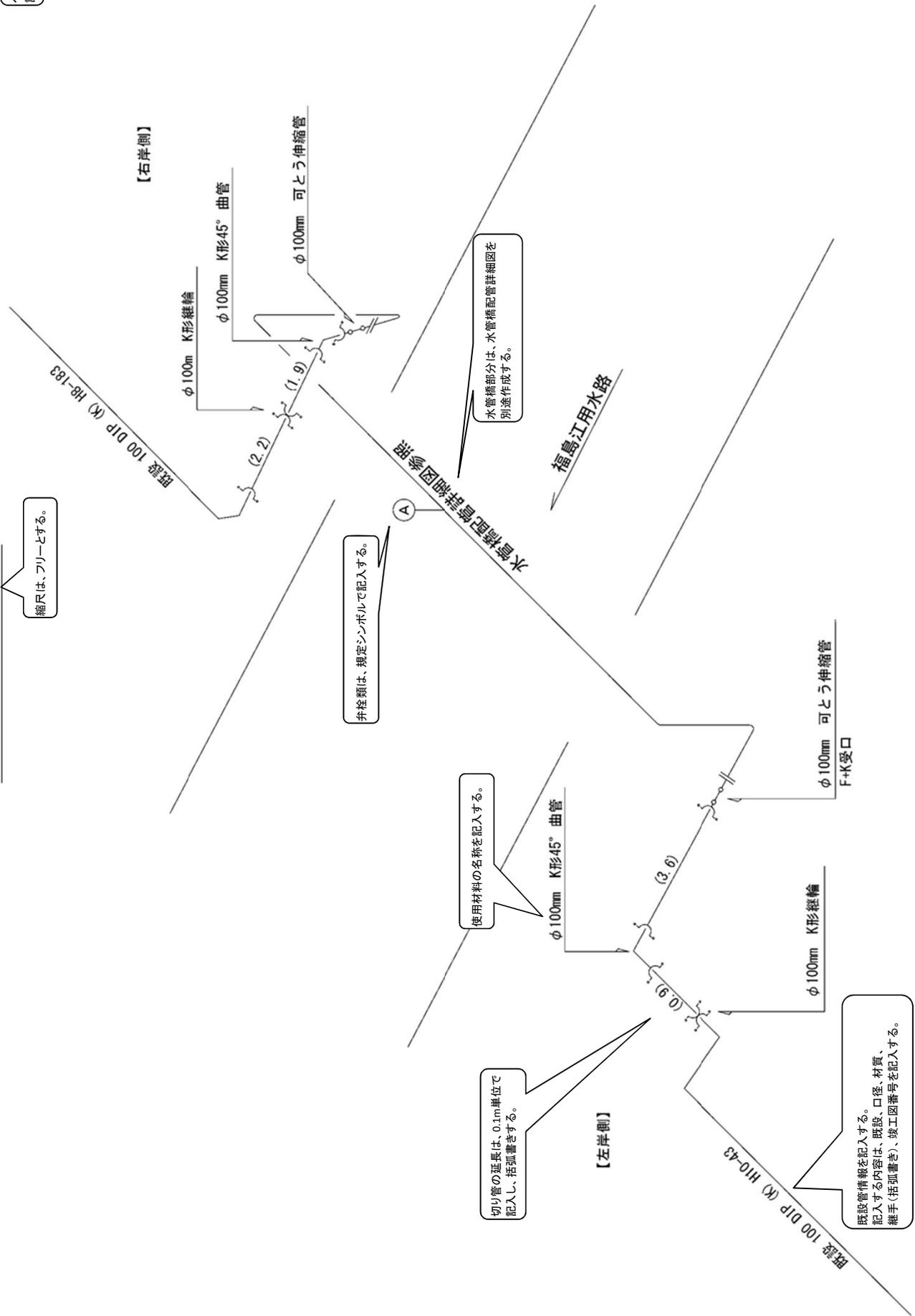
起点

終点

配管詳細図 S=FREE

縮尺は、フリーとする。

ページ番号を記入する。



弁栓類は、規定シンボルで記入する。

使用材料の名称を記入する。

切り管の延長は、0.1m単位で記入し、括弧書きする。

既設管情報を記入する。  
記入する内容は、既設、口径、材質、継手（括弧書き）、竣工図番号を記入する。

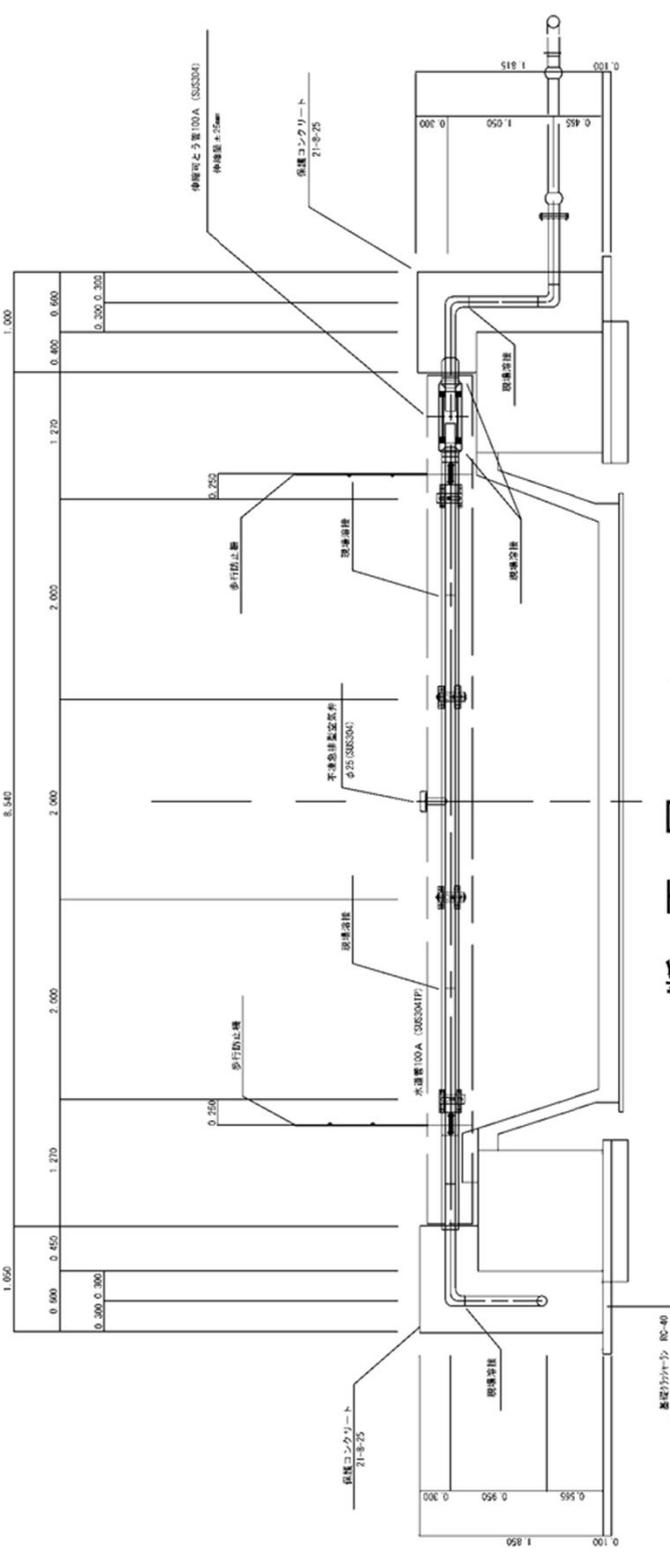
水管橋部分は、水管橋配管詳細図を別途作成する。

水道局監督員と協議のうえ作成すること

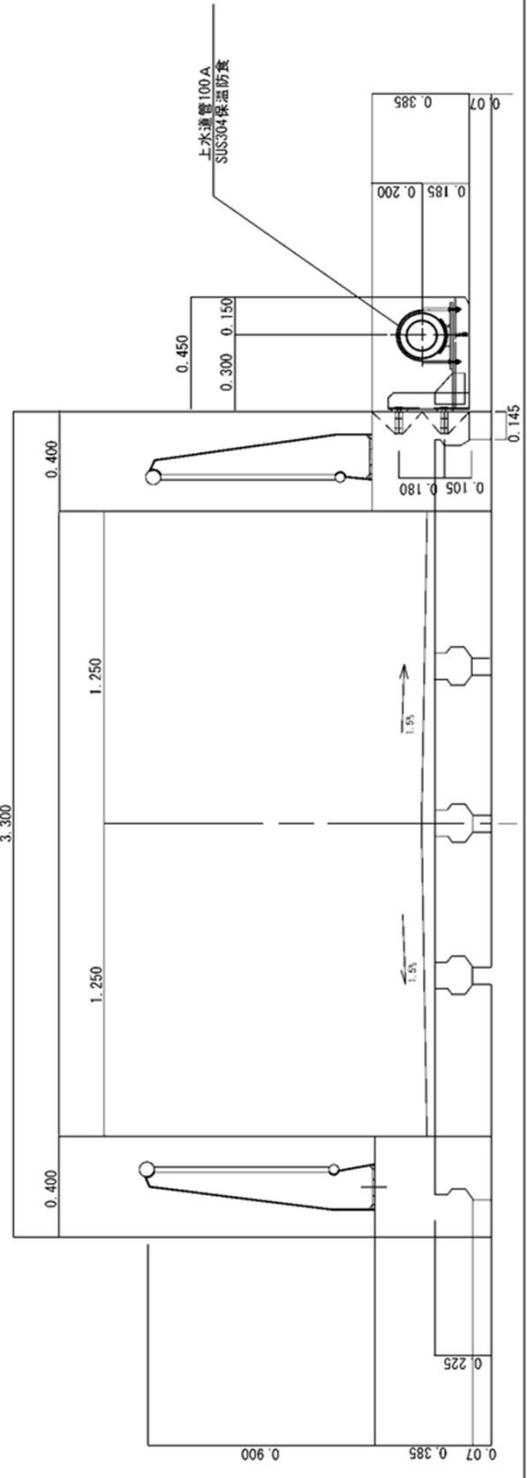
### 水管橋配管詳細図 S=1/50

竣工図番号 R

ページ番号を記入する。



### 断面図 S=1/20



ページ番号を記入する。

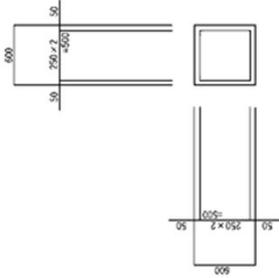
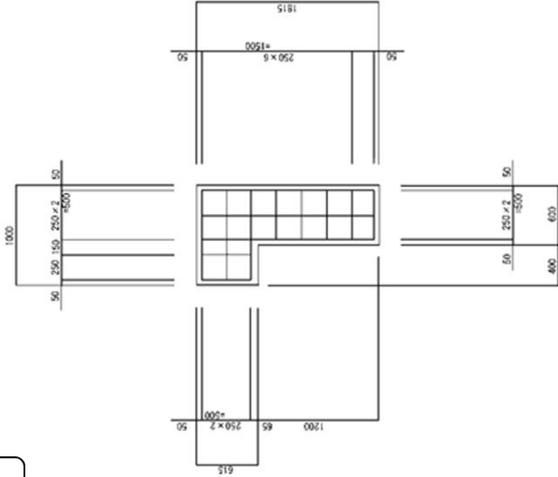
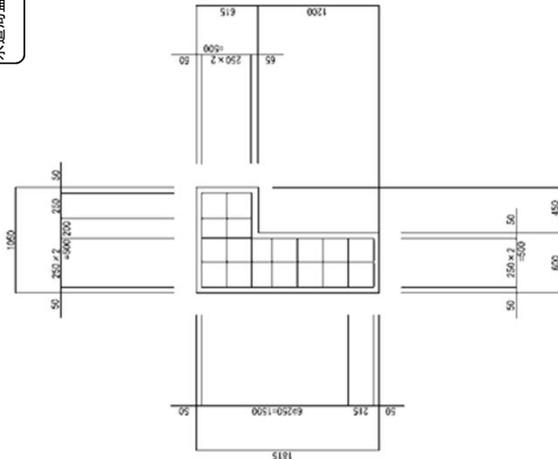
# 保護コンクリート配筋図

左岸

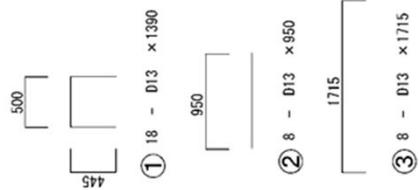
右岸

断面図

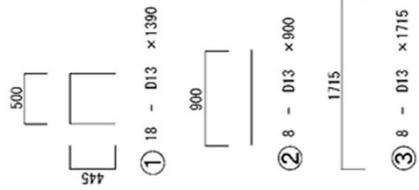
水道局監督員と協議のうえ作成すること



## 鉄筋加工図



## 鉄筋加工図



## 鉄筋表

記号	径	長さ (m)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状
左岸							
1	D13	1.390	20	0.995	1.383	28	□
2	D13	0.950	8	0.995	0.945	8	—
3	D13	1.715	8	0.995	1.706	14	—
右岸							
1	D13	1.390	20	0.995	1.383	28	□
2	D13	0.900	8	0.995	0.896	7	—
3	D13	1.715	8	0.995	1.706	14	—
					SD295A D13	100kg	

断面図 S=1/100

断面図の展附方向は、起点から終点とする。  
(No.0からNo.1を展る方向で記入する。)

断面図は、官民界から寸法を記入する。  
歩車道境界、U字溝の内側、消雪パイプ等から寸法を取らないこと

道路改良工事の場合は、現行の道路形状と計画形状をわかるように  
記入し、それぞれ明記すること

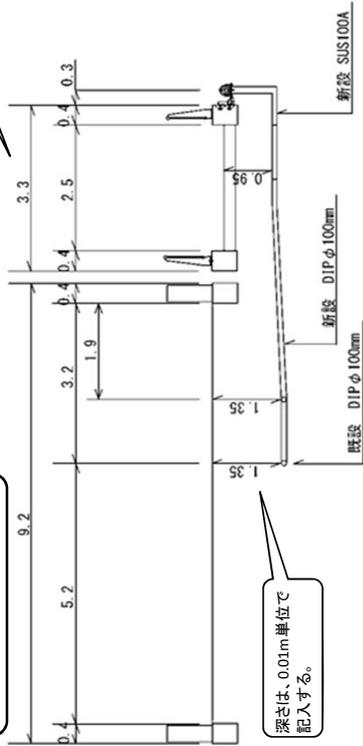
縮尺は、1/100とする。

ページ番号を  
記入する。

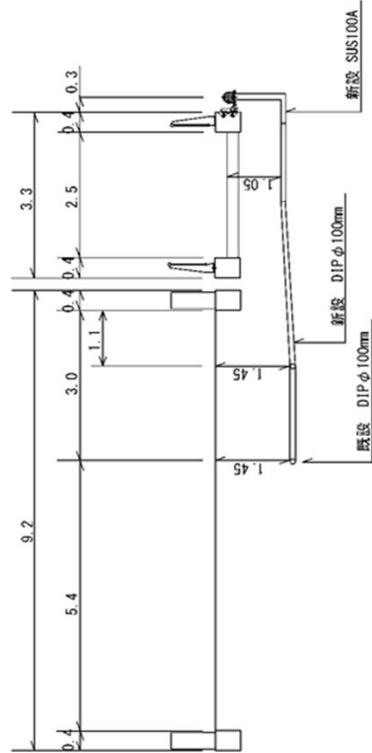
① 縦断面図  
左岸側

平面図の測点ごとに断面図  
を作成する。

オフセットは、0.1m単位で  
記入する。



② 縦断面図  
右岸側



# オフセット図 S=free

7/8

竣工図番号 R -

ページ番号を記入する。

竣工図内の全ての図面の方位を合わせること

縮尺は、1/100とする。

異形管や接続点を地形図の永久構造物から3点以上を測定する。

異形管の測定位置は、分岐点や曲管の中心をとる。

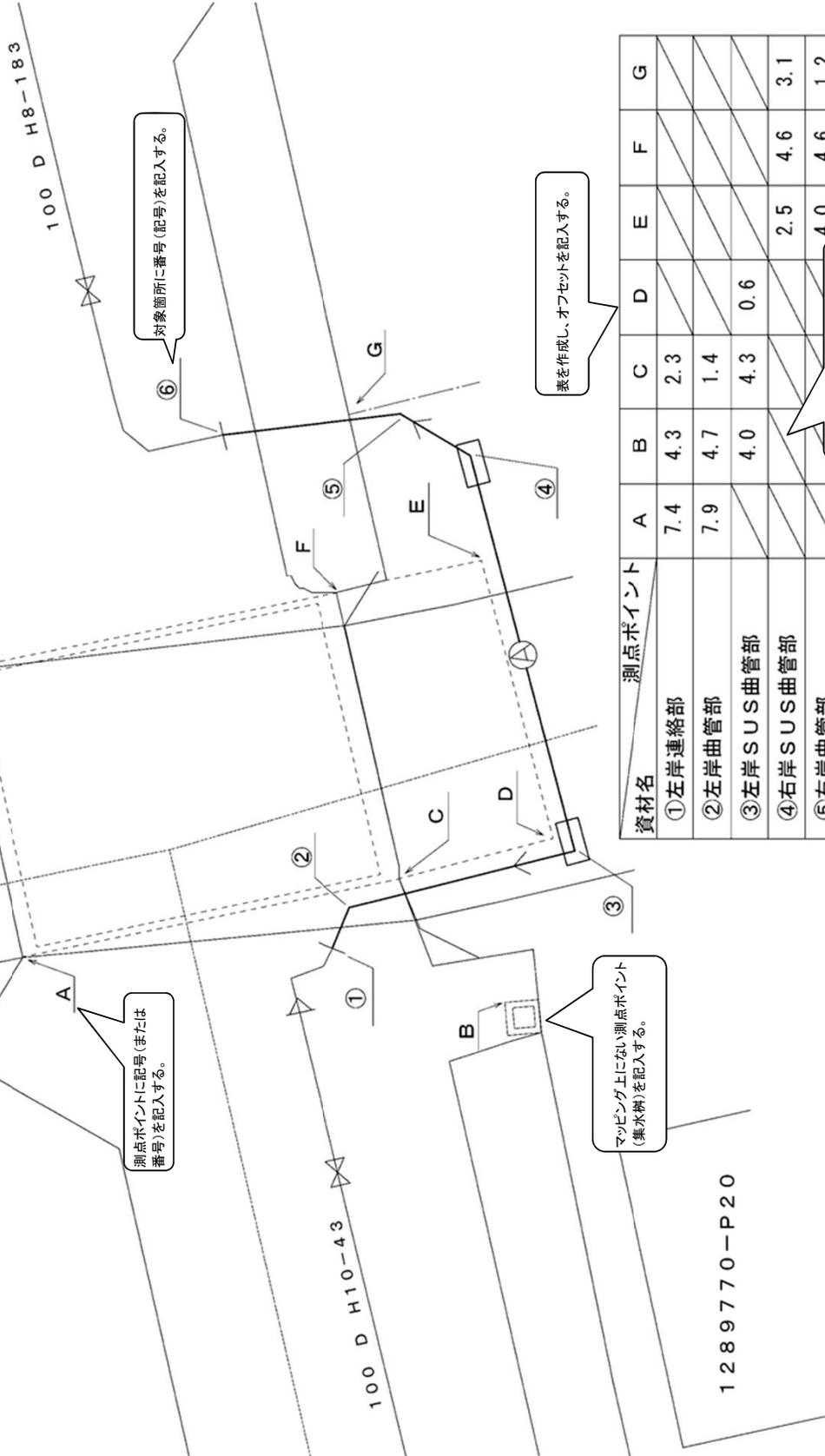
地物の優先順位

- 1 永久地物かつマッピング出力にも存在しているもの
- 2 公道上にあるマンホールや電柱、水道局の管理する井栓の樋（対象工事で設置したものを除く）
- 3 集水樹など

測点ポイントに記号(または番号)を記入する。

マッピング上にない測点ポイント(集水樹)を記入する。

表を作成し、オフセットを記入する。



資材名	測点ポイント	A	B	C	D	E	F	G
①左岸連絡部		7.4	4.3	2.3				
②左岸曲管部		7.9	4.7	1.4				
③左岸SUS曲管部			4.0	4.3	0.6			
④右岸SUS曲管部						2.5	4.6	3.1
⑤右岸曲管部						4.0	4.6	1.2
⑥右岸連絡部						6.9	4.7	3.1

単位は、0.1mとする。  
(小数点以下第2位四捨五入)

# 掘削復旧断面図

S=FREE

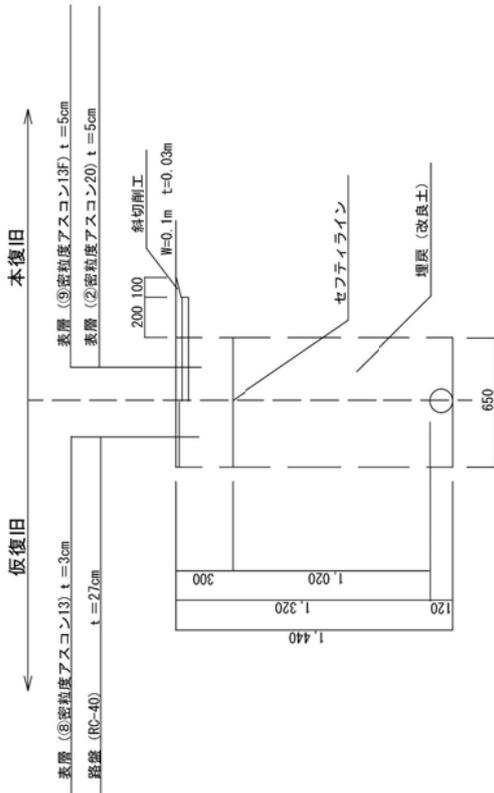
竣工図番号 R

8 / 8

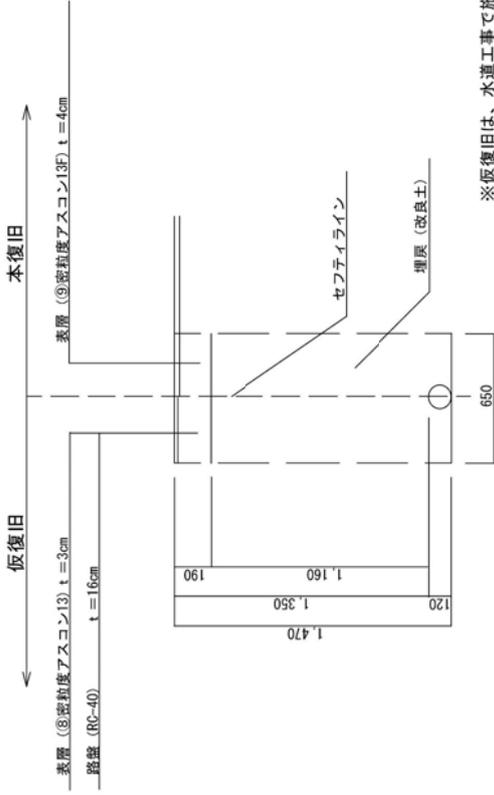
路面種別に、掘削及び埋め戻しの断面図を作成する。

縮尺は、フリーとする。

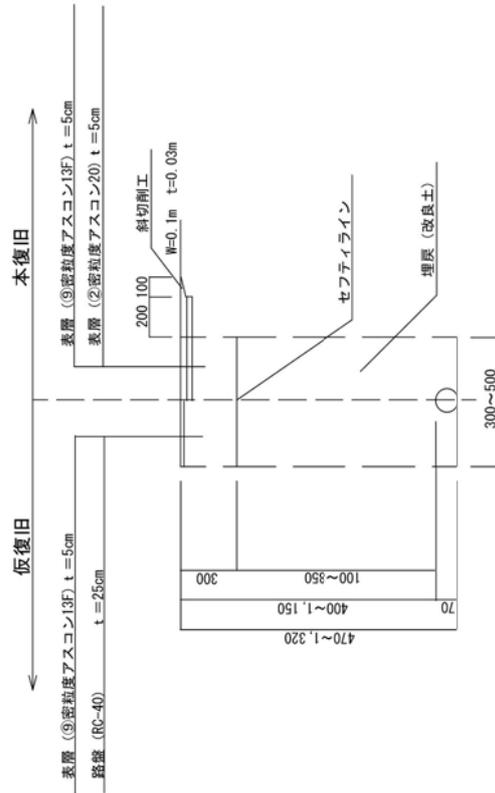
## 本設配管部 (車道)



## 本設配管図 (歩道)



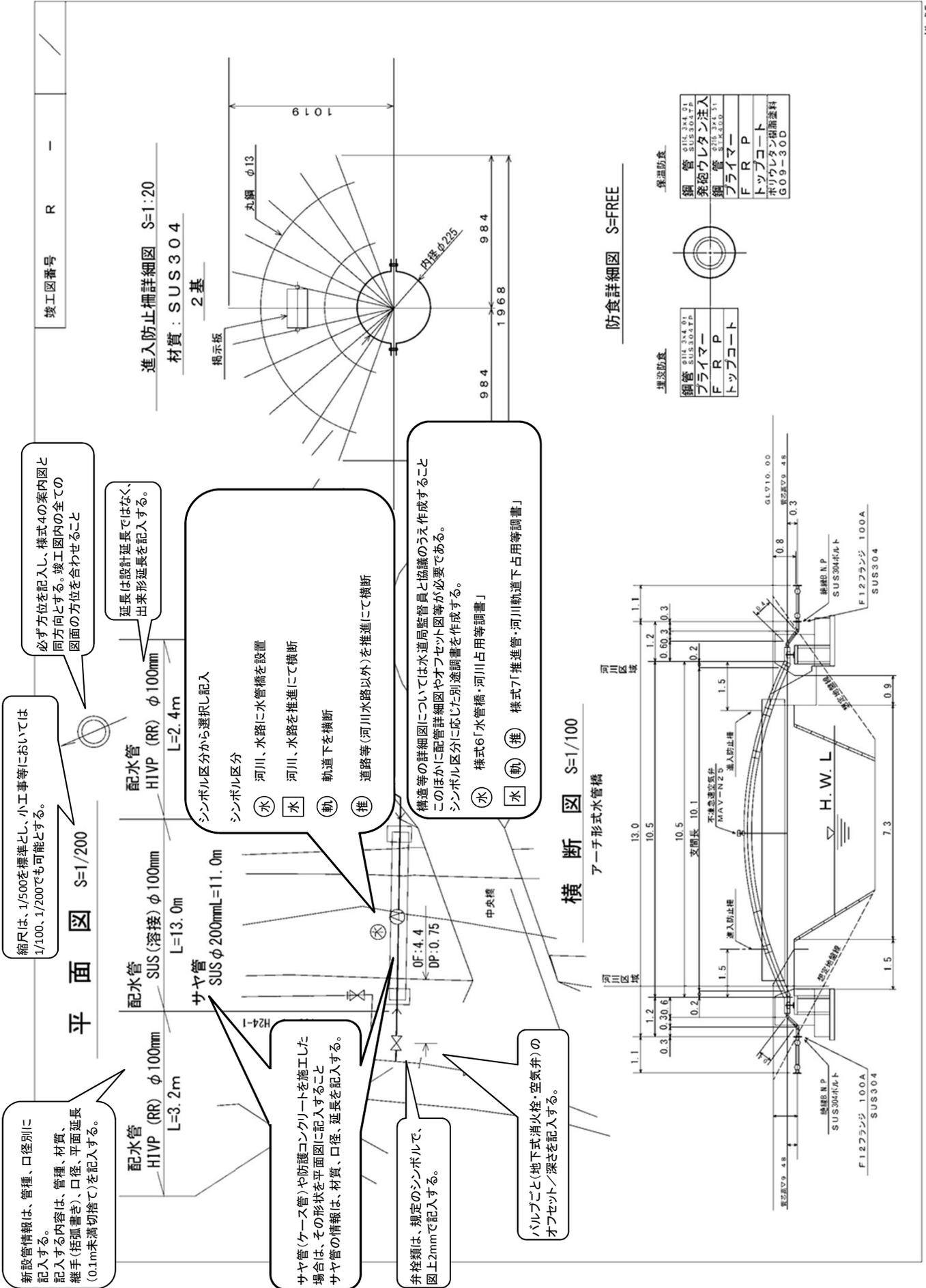
## 仮設配管部 (車道)



※仮復旧は、水道工事で施工。  
※本復旧は、歩車工事で施工。

記入例 5 - 1 水路横断部の竣工図（水管橋）

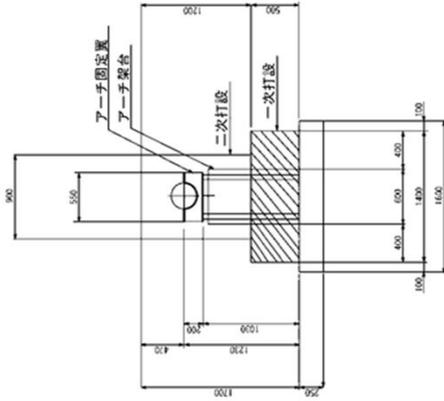
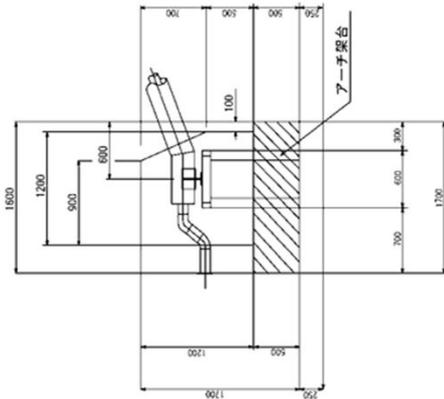
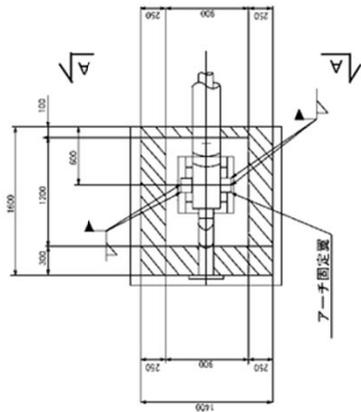




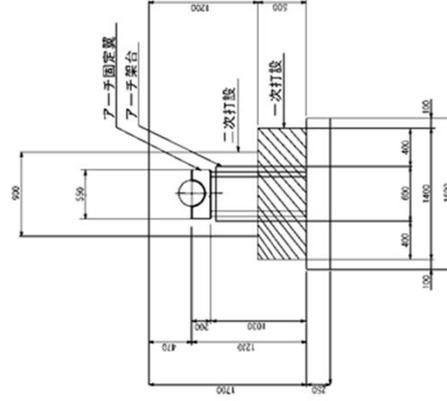
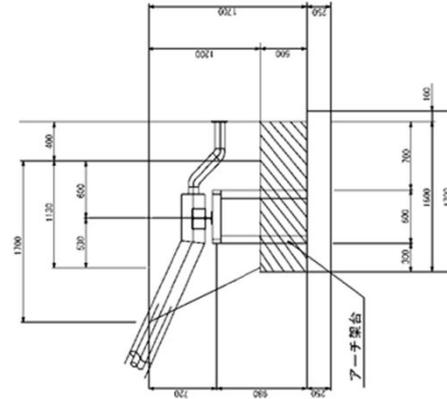
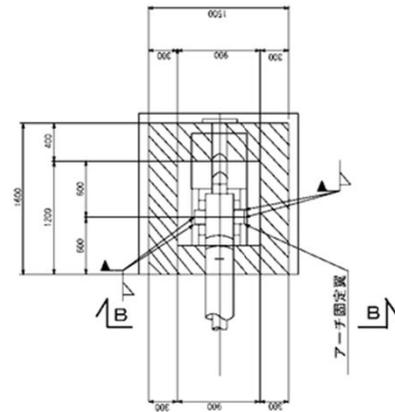
防護コンクリート 詳細図 S=FREE

斜線は、一次打設範囲を示す

左岸側



右岸側



記入例 5 - 2 水路横断部の竣工図（下越し）





# 平面図 (既設管)

S=1/200



(新設管)と(既設管)の平面図を分けて作成すること

(新設管)の測点を記載する

終点  
起点

75 0 H 3-185

モルタル注入

撤去

撤去

(撤去) 配水管

DIP (NS形)  $\phi 100$ mm L=2.0m

既設管を「撤去」した場合のみ、既設管の管種、材質、継手(括弧書き)、口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

本管布設替えの場合、既設管を斜線で削除し、「モルタル注入」、「埋め殺し」、「撤去」を記入する。

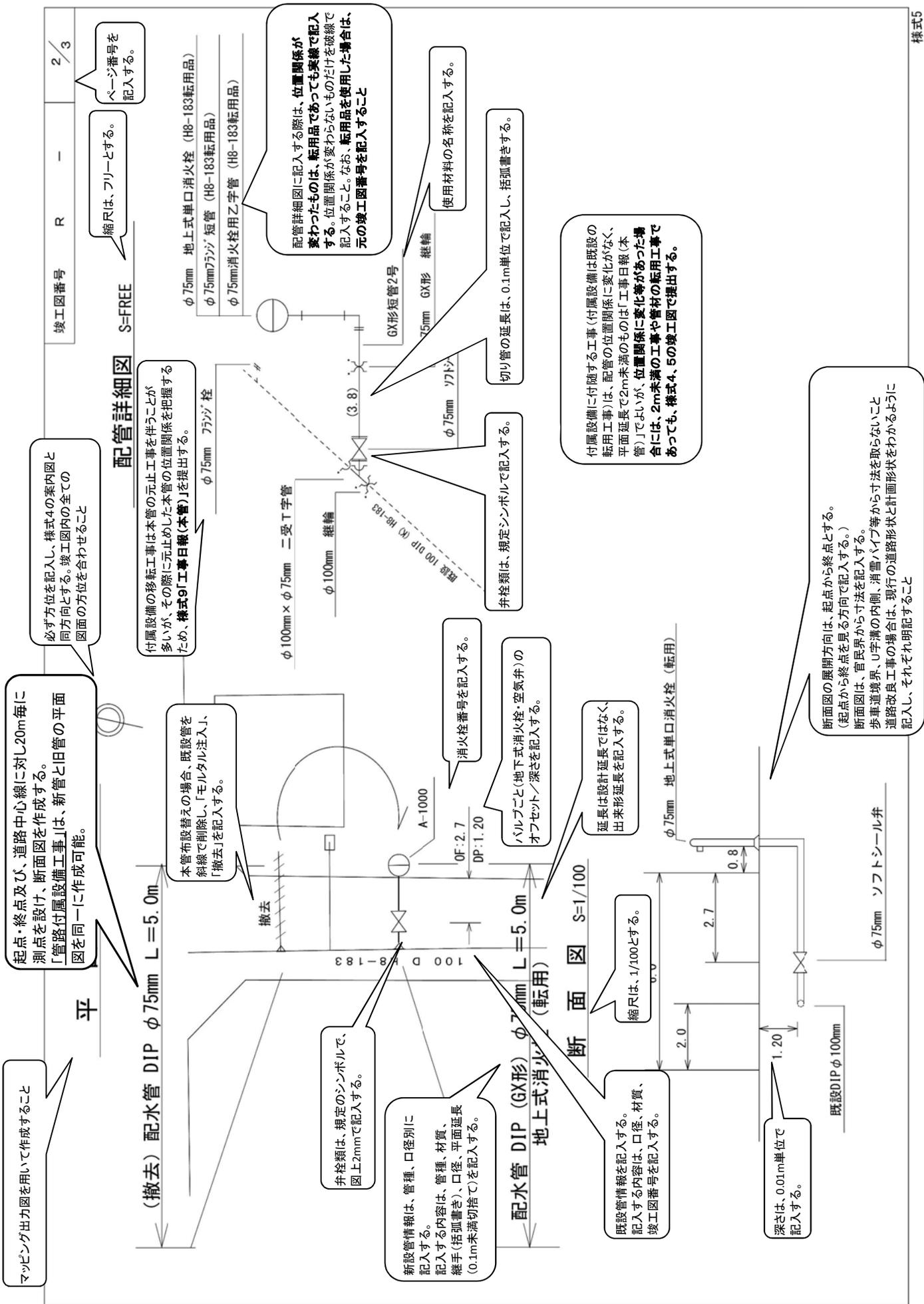
既設管を「撤去」した場合のみ、既設管の管種、材質、継手(括弧書き)、口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

(撤去) 配水管 DIP (NS形)  $\phi 100$ mm L=1.2m

## 記入例 6 管路付属設備工事







ページ番号を記入する。

縮尺は、フリーとする。

### オフセット図 S=free

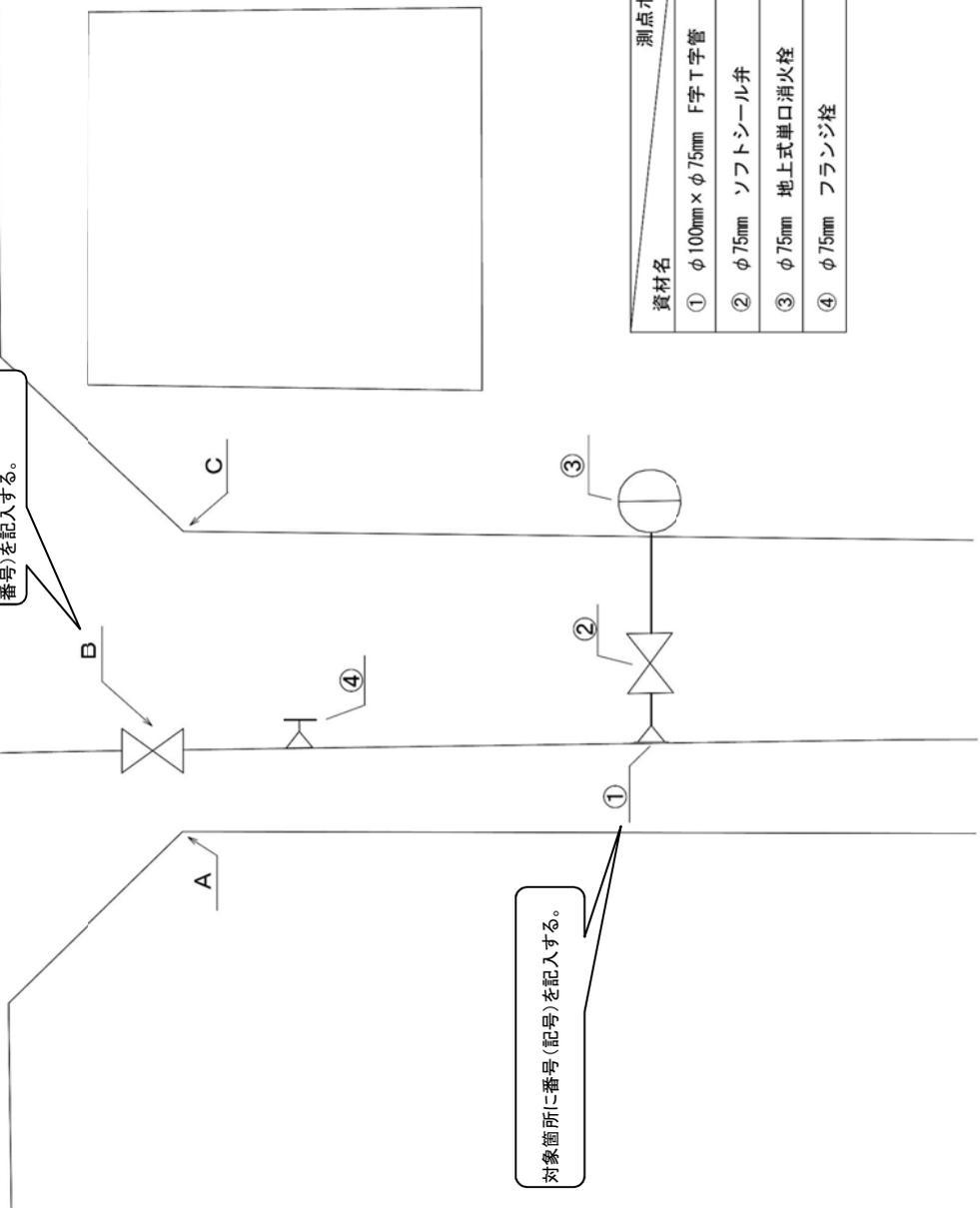
竣工図内の全ての図面の方位を合わせること

測点ポイントに記号(または番号)を記入する。

対象箇所に番号(記号)を記入する。

表を作成し、オフセットを記入する。

異形管や接続点を地形図の永久構造物から3点以上を測定する。  
 異形管の測定位置は、分岐点や曲管の中心をとる。  
 地物の優先順位  
 1 永久地物かつマッピング出力にも存在しているもの  
 2 公道にあるマンホールや電柱、水道局の管理する  
 井栓の箇(対象工事で設置したものを除く)  
 3 集水樹など



資材名	測点ポイント		
	A 官民界	B 既存井栓	C 官民界
① φ 100mm × φ 75mm F字 T字管	9.9	10.4	10.7
② φ 75mm ソフトシール弁	10.3	10.5	10.1
③ φ 75mm 地上式単口消火栓	12.0	11.6	9.8
④ φ 75mm フランジ栓	3.4	3.1	4.6



**記入例7 開発工事に伴う配水管工事・工事日報（引込管）・新規引込管竣工図**



課長 課長補佐 係長  
 工務課  
 受付日 令和 年 月 日  
**本管工事**  
 竣工予定日 令和 年 月 日  
 ・竣工届 ( )  
 ・給水管工事以外は記入不要

施工年度を記入 水道局長 様  
 1 工事種別 (その1)  
 ROO OO第△号  
 2 工事属性 (その2)  
 水道・消防・必要補償工事 ( ) ・その他 ( )  
 開発行為に伴う水道施設工事  
 長岡市 000 地  
 竣工検査年月日を必ず記入する。  
 令和 00年 △△月 00日

3 新設管路種別

管種別	記号	材質	内面仕様	外面仕様	仕様	接続合	法
1	100 DG	20	一次防錆	一次防錆	K形	接	合
2	75 DG	36	DN	DN	NS形	接	合
3	75 HP	49	DG	DG	NS形	接	合
4	50 P	909	DN	DN	NS形	接	合

4 管路付属設備情報

種別	特記仕様	口径	数量	仕様	特記事項
1	制弁・不	弁3	75	1	小口径特殊弁(13~25mm)
2	制弁・不	弁2	50	2	絶金製特殊弁(30~50mm)
3	制弁・不	弁2	50	2	ソフトシール弁(75mm~)
4	制弁・不	弁2	50	2	ハタフライ弁(200mm~)
5	制弁・不	弁5	147.6		逆回転バルブ、電動バルブなど、特殊仕様の場合に記入する。

5 管路付属設備情報

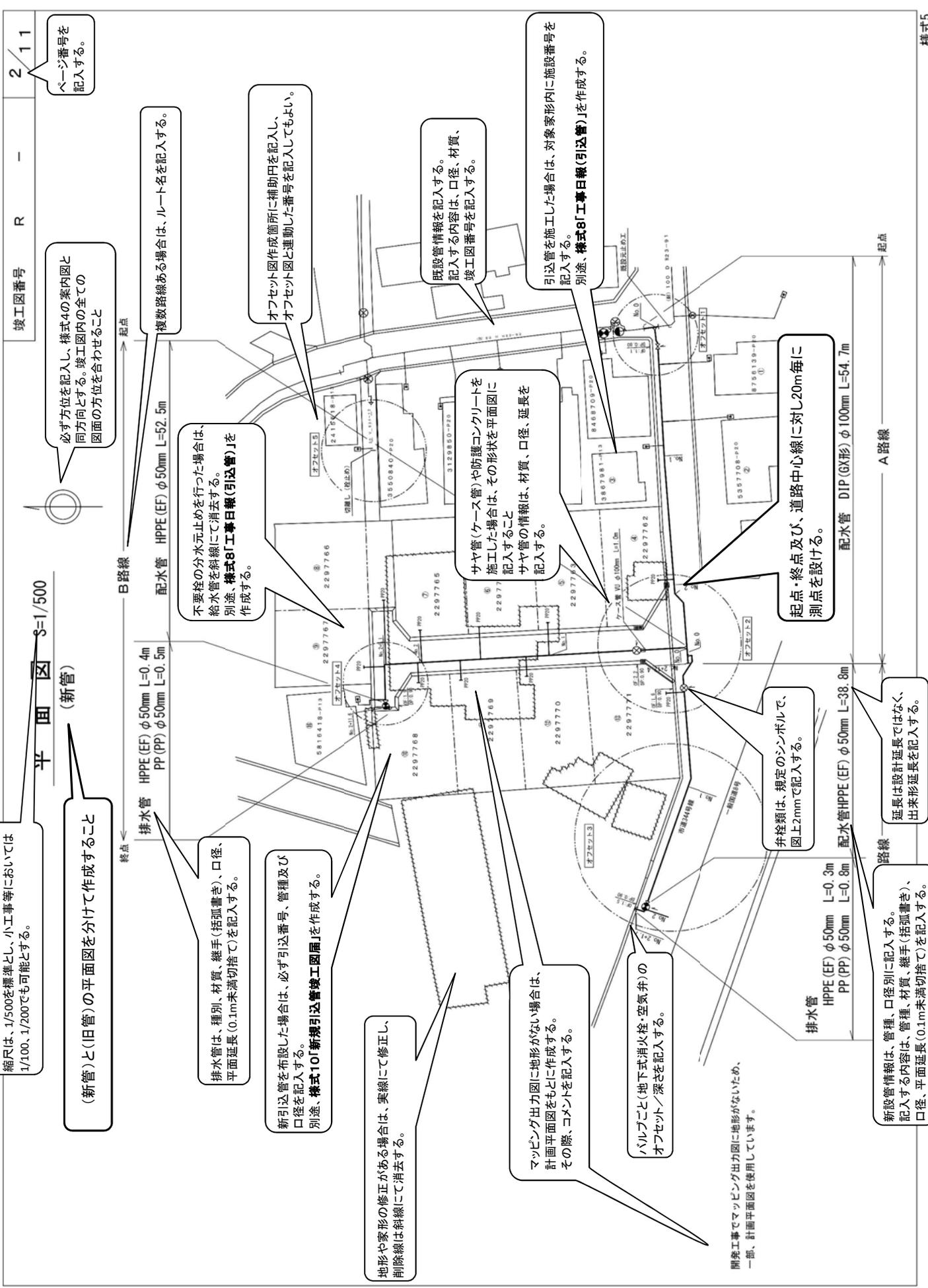
特記仕様	本管口径	呼び口径	数量	仕様	特記事項
1	空1	単口		0.75MPa	有
2	空2	急速		0.75MPa	有
3	空3	不凍急速		0.75MPa	無
4	空4	空4		MPa	無
5	空5	空5		MPa	無
6	消1	地下式単口			
7	消2	地上式単口(打倒式)			
8	消3	消3			

給水管工事以外の記入不要  
 給水管の所有権は水道局に譲渡します。  
 令和 年 月 日  
 監督員の属する業者名を記入し、監督員氏名の記名押印をする。  
 業者名  
 業者を記入し、社判を押印する。  
 給水装置工事主任技術者を記入する。押印不要

工事延長を記入する。  
 右の該当する記号を記入する。  
 右の該当する記号を記入する。  
 フランジ接合以外の場合は、空白部に接合方法を記入する。  
 令和 年 月 日 時 分  
 検査結果 色: 塗り: 臭い: 味:  
 残塩:  
 水質検査結果  
 業者名  
 業者を記入し、社判を押印する。  
 給水装置工事主任技術者を記入する。押印不要



竣工届書  
 竣工届書番号 R - 1/11  
 図面番号  
 マッピングシステム上の1/500平面図の該当する図面番号を記入する。  
 案内図にも方位を記入し、竣工図内の全ての図面の方位を合わせることを記入する。  
 案内図は、  
 ・住宅地図など地形が判断可能な図面の写しを十分な大ききで作成する。  
 ・該当路線を太線で囲み、内部に細い線と斜線を記入する。  
 逆回転バルブ、電動バルブなど、特殊仕様の場合に記入する。  
 給水管増設工事委託に同意し、当該水道管の所有権は水道局に譲渡します。  
 令和 年 月 日  
 監督員の属する業者名を記入し、監督員氏名の記名押印をする。  
 業者名  
 業者を記入し、社判を押印する。  
 給水装置工事主任技術者を記入する。押印不要



縮尺は、1/500を標準とし、小工事等においては、1/100、1/200でも可能とする。

(新管)と(旧管)の平面図を分けて作成すること

必ず方位を記入し、様式4の案内図と同方向とする。竣工図内の全ての図面の方位を合わせること

複数路線ある場合は、ルート名を記入する。

不要栓の分水止めを行った場合は、給水管を斜線にて消去する。別途、様式8「工事日報(引込管)」を作成する。

排水管は、種別、材質、継手(括弧書き)、口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

新引込管を布設した場合は、必ず引込番号、管種及び口径を記入する。別途、様式10「新規引込管竣工図属」を作成する。

地形や家形の修正がある場合は、実線にて修正し、削除線は斜線にて消去する。

マッピング出力図に地形がない場合は、計画平面図をもとに作成する。その際、コメントを記入する。

バルブごと地下式消火栓・空気弁のオフセット/深さを記入する。

開発工事でマッピング出力図に地形がないため、一部、計画平面図を使用しています。

既設管情報を記入する。記入する内容は、口径、材質、竣工図番号を記入する。

引込管を施工した場合は、対象家形内に施設番号を記入する。別途、様式8「工事日報(引込管)」を作成する。

サヤ管(ケース管)や防護コンクリートを施工した場合は、その形状を平面図に記入すること。サヤ管の情報は、材質、口径、延長を記入する。

起点・終点及び、道路中心線に対し20m毎に測点を設ける。

弁栓類は、規定のシンボルで、図上2mmで記入する。

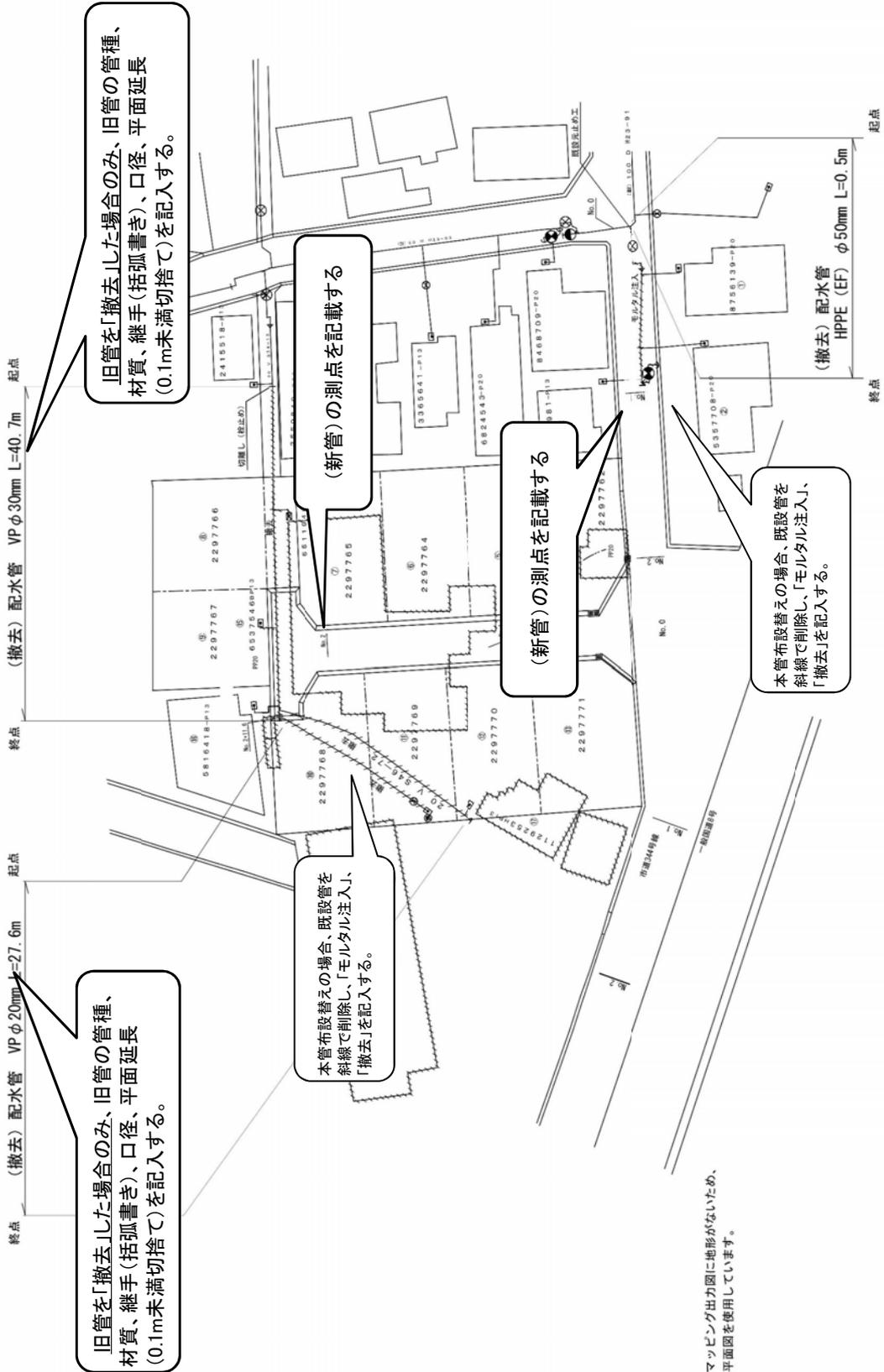
新設管情報は、管種、口径別に記入する。記入する内容は、管種、材質、継手(括弧書き)、口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

延長は設計延長ではなく、出来形延長を記入する。

平面図 S=1/500

(旧管)

(新管)と(旧管)の平面図を分けて作成すること



旧管を「撤去」した場合のみ、旧管の管種、材質、継手(括弧書き)、口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

旧管を「撤去」した場合のみ、旧管の管種、材質、継手(括弧書き)、口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

本管布設替えの場合、既設管を斜線で削除し、「モルタル注入」、「撤去」を記入する。

(新管)の測点を記載する

(新管)の測点を記載する

本管布設替えの場合、既設管を斜線で削除し、「モルタル注入」、「撤去」を記入する。

開発工事でマッピング出力図に地形がないため、一部、計画平面図を使用しています。



# 断面図 S=1/100

断面図の展開方向は、起点から終点とする。  
(No.0からNo.1を見る方向で記入する。)  
断面図は、官民界から寸法を記入する。  
歩車道境界、U字溝の内側、消雪パイプ等から寸法を取らないこと  
道路改良工事の場合は、現行の道路形状と計画形状をわかるように  
記入し、それぞれ明記すること

縮尺は、1/100とする。

ページ番号を  
記入する。

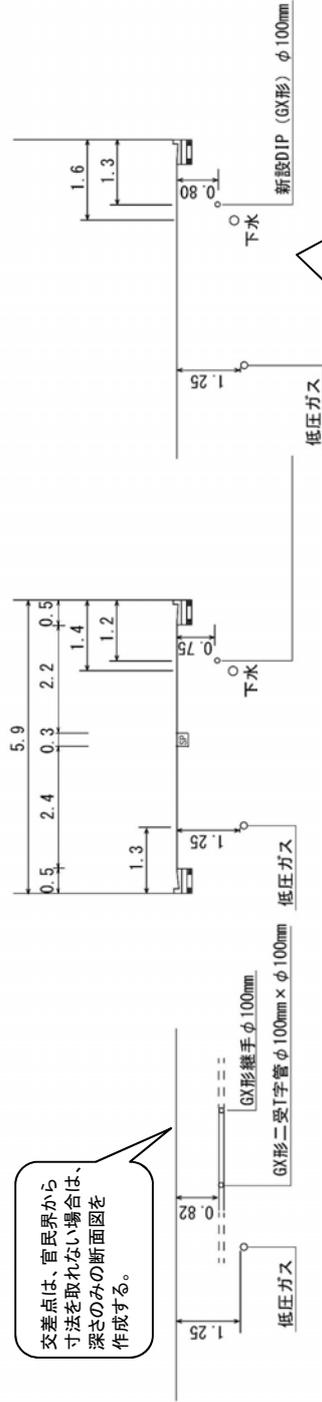
平面図上のルート名を記入する。

## A 路線

No. 0  
平面図の測点ごとに断面図を作成する。  
平面図の測点Noと断面図の測点Noが同じになるように作成  
する。

No. 1

No. 2+1.4



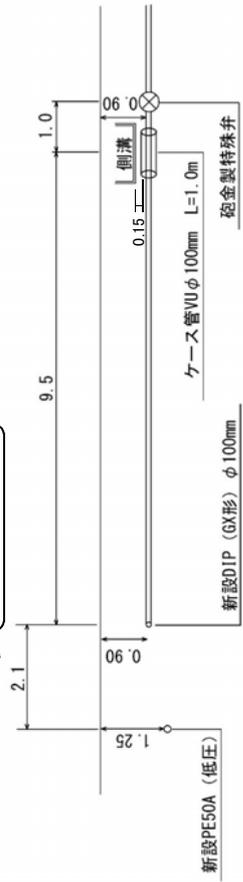
交差点は、官民界から  
寸法を取れない場合は、  
深さのみの断面図を  
作成する。

交差点内で他埋設物から  
の離れがわかる場合は、  
他埋設物からの寸法を  
記入する。

## B 路線

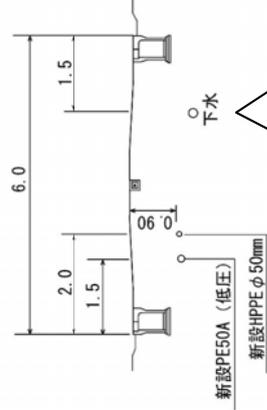
No. 0

オフセットは、0.1m単位で  
記入する。



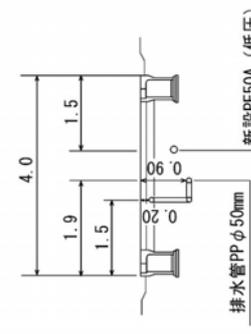
深さは、0.01m単位で  
記入する。

No. 1 ~ No. 2



他埋設物で確認できたものは、  
位置、深さを記入する。

No. 2+11.6



排水管の断面図を作成する。

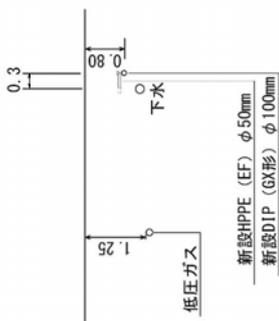
### 断面図 C路線

S=1/100

平面図上のルート名を記入する。

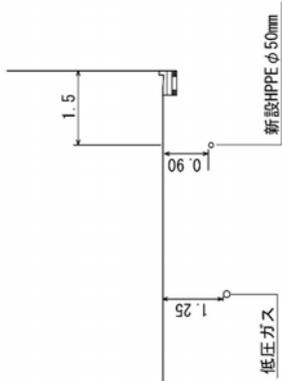
No. 0

交差点内の分水接続箇所は、縦断面を作成する。



No. 1~2

縮尺は、1/100とする。



### 復旧断面図 S=FREE

縮尺は、フリーとする。

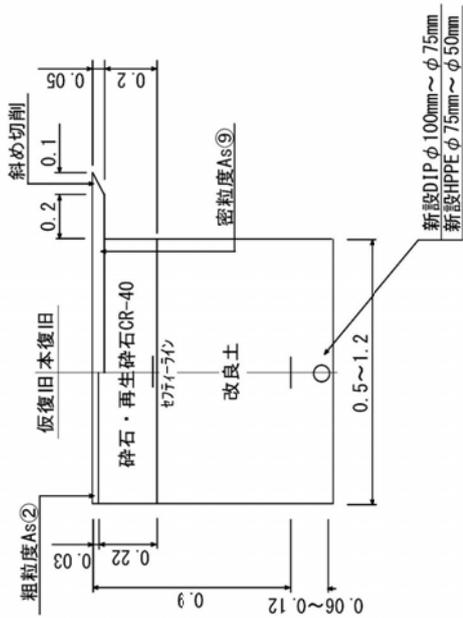
竣工図番号 R

S=FREE

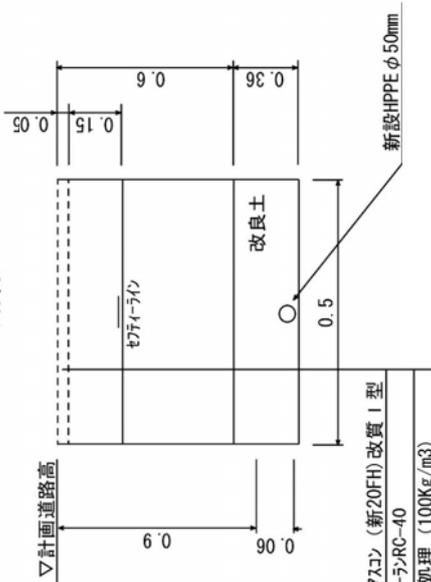
7/11

ページ番号を記入する。

#### A 路線



#### B 路線



表層工	⑦密粒度73コン (新20FH) 改質I型
路盤工	再生ガシオンRC-40
路床工	セメント安定処理 (100Kg/m <sup>3</sup> )

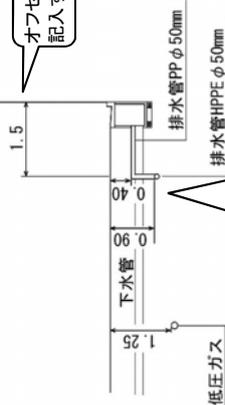
No. 2+1.7

排水管の断面図を作成する。

No. 2+1.7

断面図の展開方向は、起点から終点とする。  
(No.0からNo.1を見る方向で記入する。)  
断面図は、官民界から寸法を記入する。  
歩車道境界、U字溝の内側、消雪パイプ等から寸法を取らないこと  
道路改良工事の場合は、現行の道路形状と計画形状をわかるように記入し、それぞれ明記すること

オフセットは、0.1m単位で記入する。



深さは、0.01m単位で記入する。

他埋設物で確認できたものは、位置、深さを記入する。

異形管や接続管を地形図の永久構造物から3点以上を測定する。異形管の測定位置は、分岐点や曲管の中心をとる。地物の優先順位

- 1 永久地物かつマッピング出力にも存在しているもの
- 2 公道上にあるマンホールや電柱、水道局の管理する弁柱の蓋（対象工事で設置したものを除く）
- 3 集水樹など

# オフセット図 S=free

## オフセット1

縮尺は、フリーとする。

平面図のオフセット図番号を記入する。

8468709-P 20

竣工図内の全ての図面の方位を合わせることを

測点ポイントに記号(または番号)を記入する。

対象箇所に番号(記号)を記入する。

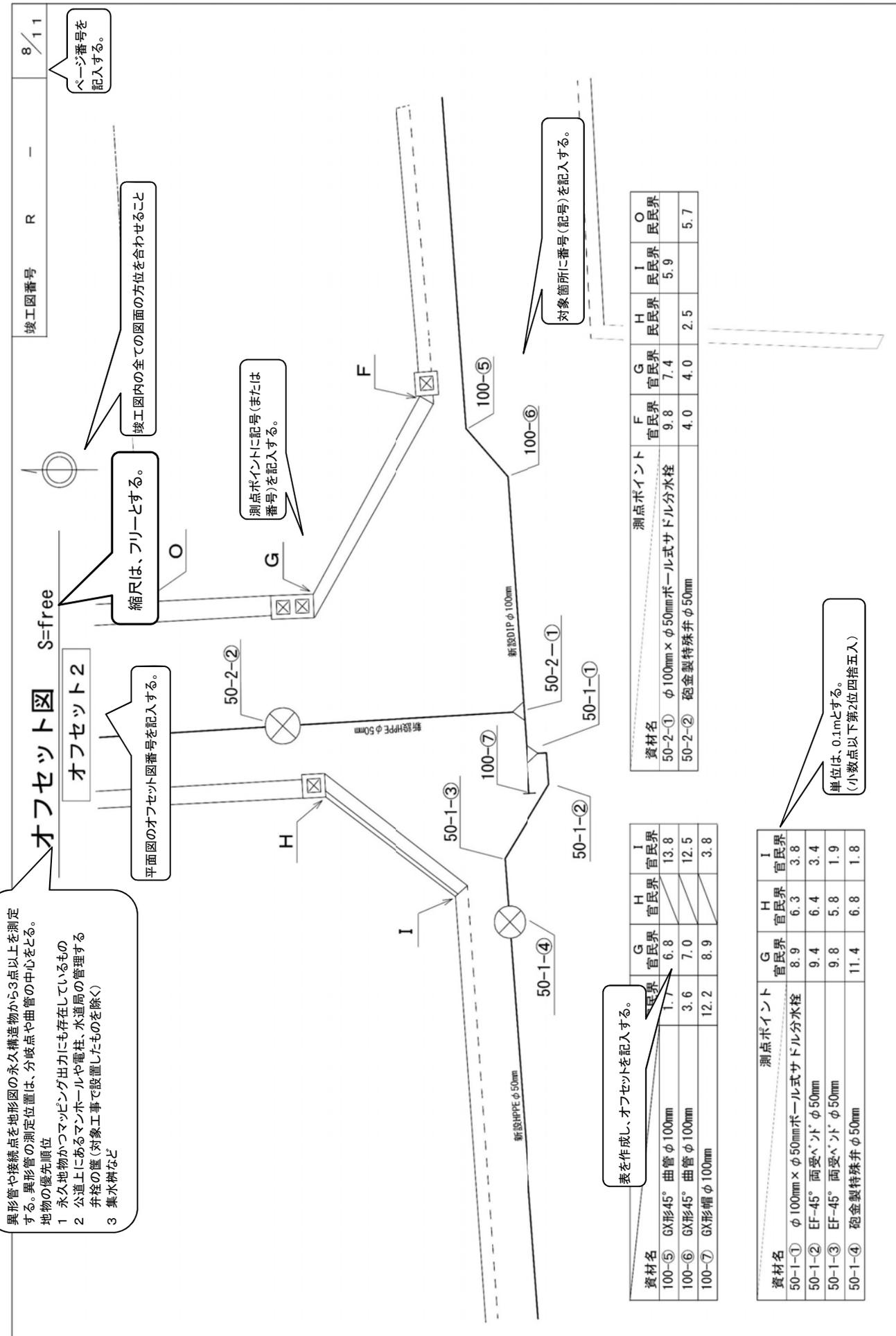
マッピング上にない測点ポイント(マンホール)を記入する。

表を作成し、オフセットを記入する。

資材名	測点ポイント	A 官民界	B 官民界	C 官民界	D マンホール	E 民民界
100-① GX形継輪 φ100mm		6.3	9.2	2.1		
100-② GX形二受T字管 φ100mm × φ100mm 附設CP φ50mm		7.4	9.3	2.3		
100-④ GX形45° 曲管 φ100mm		9.0	11.4	1.0		
100-⑤ GX形45° 曲管 φ100mm				1.2	0.6	4.8
100-⑥ GX形ワジール弁(受挿し) φ100mm				1.5	1.1	4.9
100-⑦ GX形 継輪 φ100mm				1.8	1.6	4.9

単位は、0.1mとする。  
(小数点以下第2位四捨五入)

ページ番号を記入する。



異形管や接続点を地形図の永久構造物から3点以上を測定する。異形管の測定位置は、分岐点や曲管の中心をとる。地物の優先順位

- 1 永久地物かつマッピング出力にも存在しているもの
- 2 公道上にあるマンホールや電柱、水道局の管理する井栓の塵(対象工事で設置したものを除く)
- 3 集水樹など

資材名	測点ポイント			F 官民界	G 官民界	H 官民界	I 官民界	O 官民界
	50-2-①	φ100mm×φ50mmポール式サドル分水栓	φ50mm					
50-2-①	φ100mm×φ50mmポール式サドル分水栓	φ50mm	9.8	7.4	2.5	5.9	5.7	
50-2-②	砲金製特殊弁φ50mm		4.0	4.0				

資材名	G 官民界	H 官民界	I 官民界	
				100-⑤
100-⑥	GX形45° 曲管φ100mm	3.6	7.0	12.5
100-⑦	GX形帽φ100mm	12.2	8.9	3.8

資材名	測点ポイント			
	G 官民界	H 官民界	I 官民界	
50-1-①	φ100mm×φ50mmポール式サドル分水栓	8.9	6.3	3.8
50-1-②	EF-45° 両変ベントφ50mm	9.4	6.4	3.4
50-1-③	EF-45° 両変ベントφ50mm	9.8	5.8	1.9
50-1-④	砲金製特殊弁φ50mm	11.4	6.8	1.8

異形管や接続点を地形図の永久構造物から3点以上を測定する。異形管の測定位置は、分岐点や曲管の中心をとる。地物の優先順位

- 1 永久地物かつマッピング出力にも存在しているもの
- 2 公道上にあるマンホールや電柱、水道局の管理する井栓の蓋(対象工事で設置したものを除く)
- 3 集水樹など

## オフセット図 S=free

### オフセット3

縮尺は、フリーとする。

竣工図番号 R

9 / 11

ページ番号を記入する。

竣工図内の全ての図面の方位を合わせること

平面図のオフセット図番号を記入する。

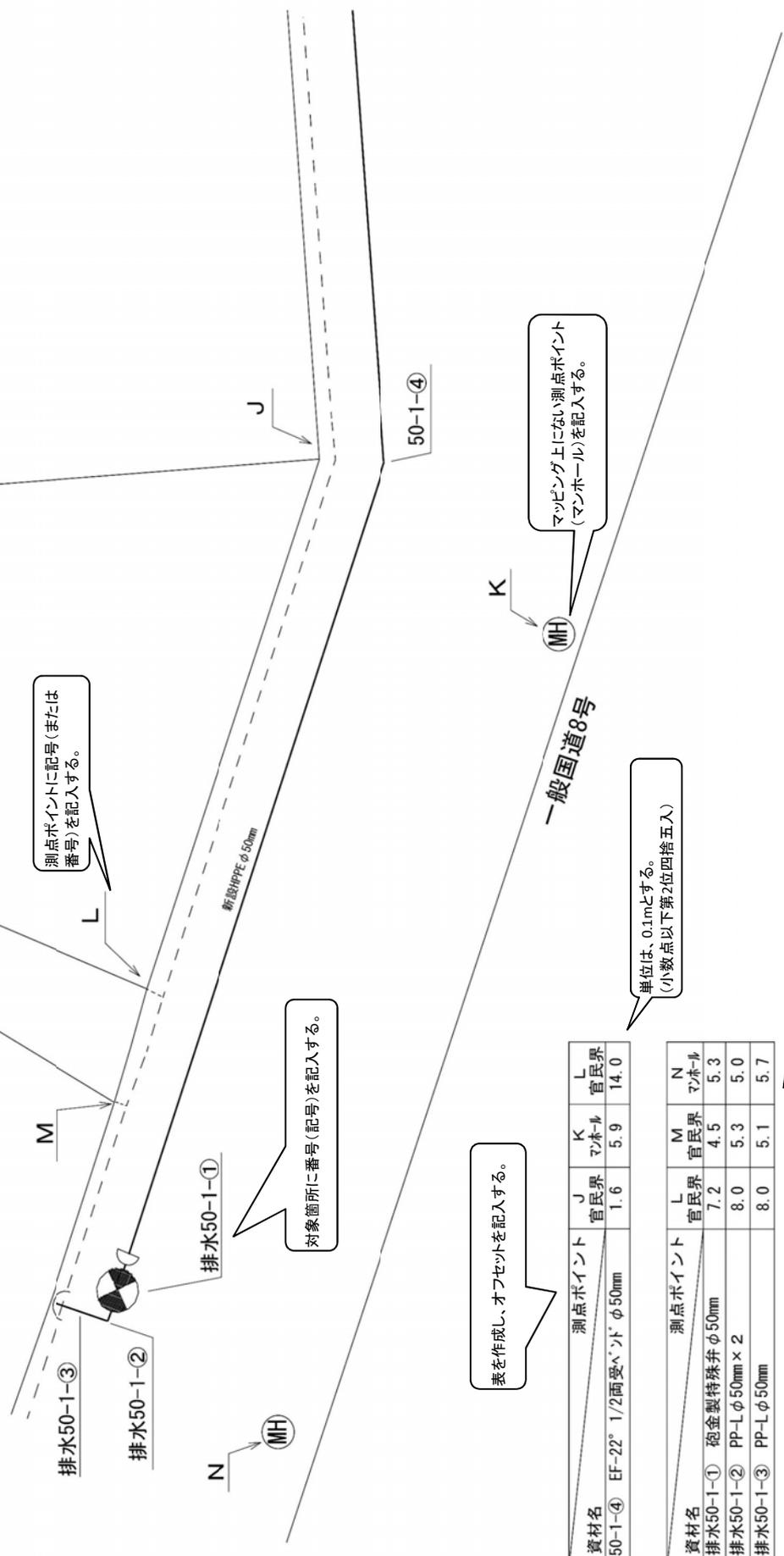
測点ポイントに記号(または番号)を記入する。

対象箇所(番号)を記入する。

表を作成し、オフセットを記入する。

単位は、0.1mとする。  
(小数点以下第2位四捨五入)

排水管のオフセット図を作成する。



資材名	測点ポイント	J 官民界	K マンホール	L 官民界
50-1-④	EF-22° 1/2面受バント φ50mm	1.6	5.9	14.0

資材名	測点ポイント	L 官民界	M 官民界	N マンホール
排水50-1-①	砲金製特殊弁 φ50mm	7.2	4.5	5.3
排水50-1-②	PP-L φ50mm × 2	8.0	5.3	5.0
排水50-1-③	PP-L φ50mm	8.0	5.1	5.7

異形管や接続点を地形図の永久構造物から3点以上を測定する。異形管の測定位置は、分岐点や曲管の中心をとる。  
地物の優先順位

- 1 永久地物かつマッピング出力にも存在しているもの
- 2 公道上にあるマンホールや電柱、水道局の管理する井栓の箇所(対象工事で設置したものを除く)
- 3 集水溝など

縮尺は、フリーとする。

# オフセット図 S=free

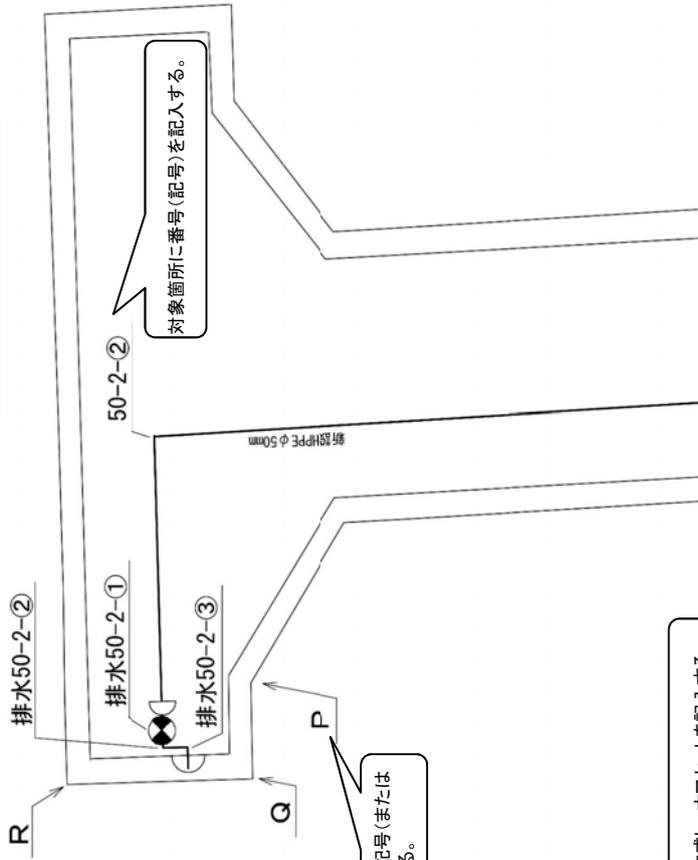
## オフセット4

平面図のオフセット図番号を記入する。

竣工図内の全ての図面の方位を合わせることに

竣工図番号 R - 10/11

ページ番号を記入する。



対象箇所(番号)を記入する。

測点ポイントに記号(または番号)を記入する。

表を作成し、オフセットを記入する。

資材名	測点ポイント	
	P 官民界	Q 官民界
50-2-② EF-90° 両受バンド φ50mm	5.5	7.4

資材名	測点ポイント	
	P 官民界	Q 官民界
排水50-2-① 砲金製特殊弁 φ50mm	2.1	2.2
排水50-2-② PP-L φ50mm × 2	2.3	2.0
排水50-2-③ PP-L φ50mm	1.9	1.5

単位は、0.1mとする。  
(小数点以下第2位四捨五入)

排水管のオフセット図を作成する。

異形管や接続点を地形図の永久構造物から3点以上を測定する。異形管の測定位置は、分岐点や曲管の中心をとる。地物の優先順位

- 1 永久地物かつマッピング出力にも存在しているもの
- 2 公道にあるマンホールや電柱、水道局の管理する井桁の窠（対象工事で設置したものを除く）
- 3 集水樹など

## オフセット図 S=free

オフセット5

縮尺は、フリーとする。



竣工図内の全ての図面の方位を合わせること

平面図のオフセット図番号を記入する。

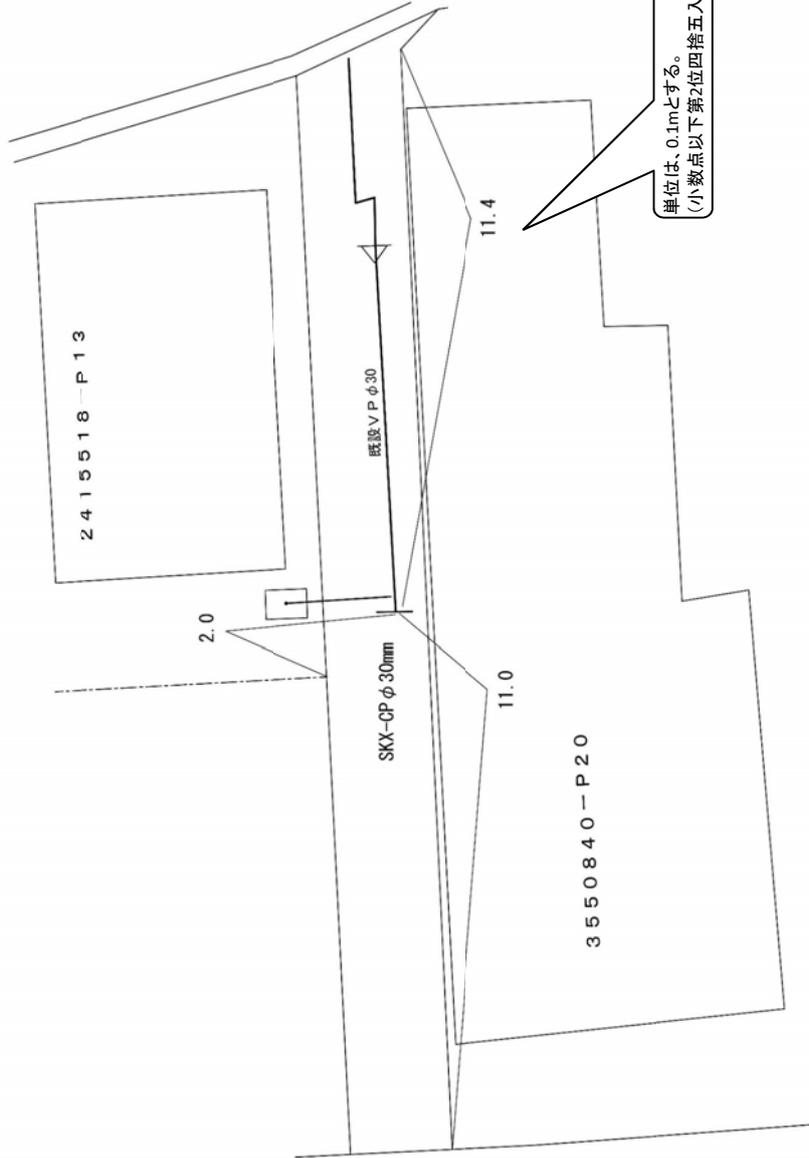
ページ番号を記入する。

11 / 11

竣工図番号

R

-



単位は、0.1mとする。  
(小数点以下第2位四捨五入)

# 工事日報 (引込管)

全を○で囲む。

新引込管は、本管から官民境界で施工時に使用した材料を記入する。

工種	布設替 (全・一部) ・接続・元止	施設番号	5816418
本管	材質 HPPE 口径 50 mm	施設場所	〇〇町 △丁目 〇〇番地 △△号
新引込管	材質 PP 口径 13 mm	所有者	(印)
旧引込管	材質 PP-1 口径 13 mm	竣工検査日	令和〇〇年△△月〇〇日

## 案内図

旧引込管は、施工前の本管から官民境界で使用している引込管の情報を記入する  
(一層ポリエチレン管は"PP-1"と記入してください。)ポリエチレ

竣工検査年月日を必ず記入する。

案内図と平面図の方位を合わせる

案内図は、  
・住宅地図等の写しを十分な大きさと原図を貼り付けること  
・該当家屋を太線で囲み、内部に細い線で斜線を記入すること  
・本管からの取り出し方向を記入すること

## 平面図 オフセット図

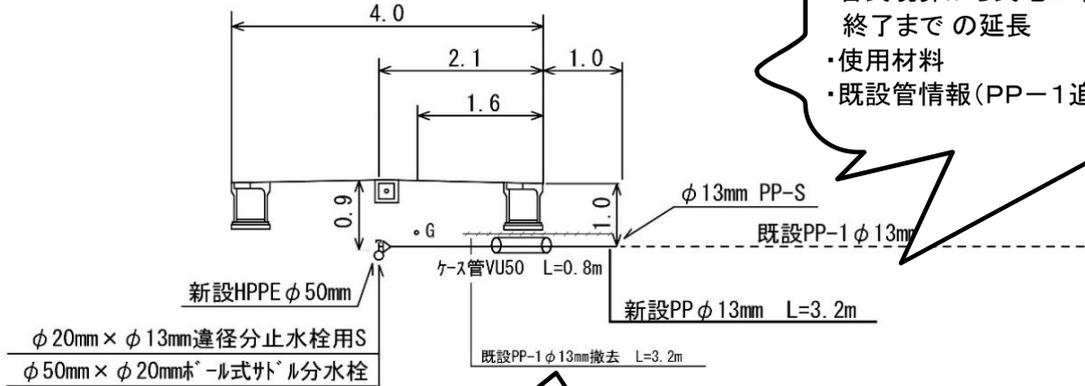
5816418-P13

(16)

全部替えの場合は次の箇所のオフセット(3点)を記入する。  
・本管からの分岐点  
・官民境界の横断点  
・甲止(分水栓から直線配管の場合は不要)

平面図と横断図の延長を一致させる。

## 横断図



民地内の工事内容を記入する。  
・官民境界から民地工事終了までの延長  
・使用材料  
・既設管情報(PP-1追加)

既設管の処理方法を記入  
・撤去、モルタル注入

局担当 印

工事名	令和〇〇年度 〇〇第△△号 開発行為に伴う	φ13mmに接続
備考	〇〇	

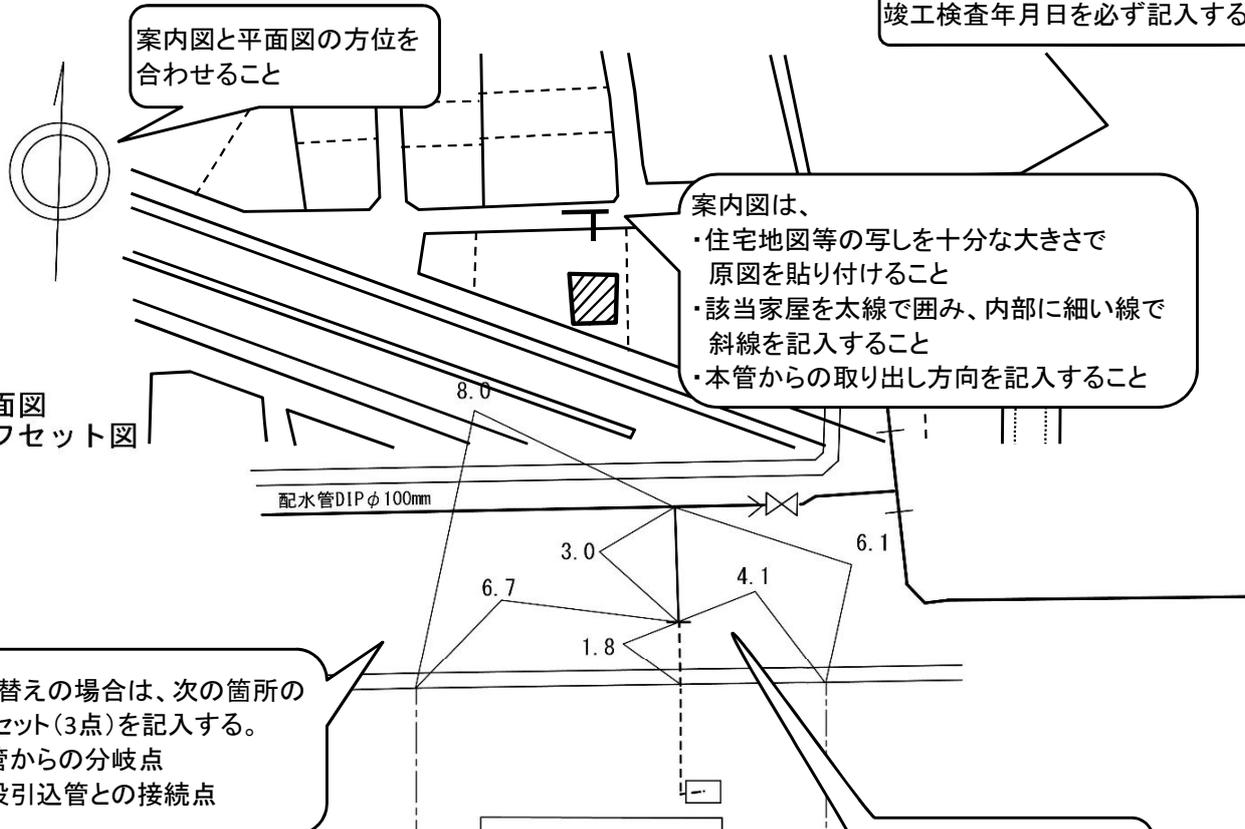
# 工事日報(引込管)

一部を○で囲む。

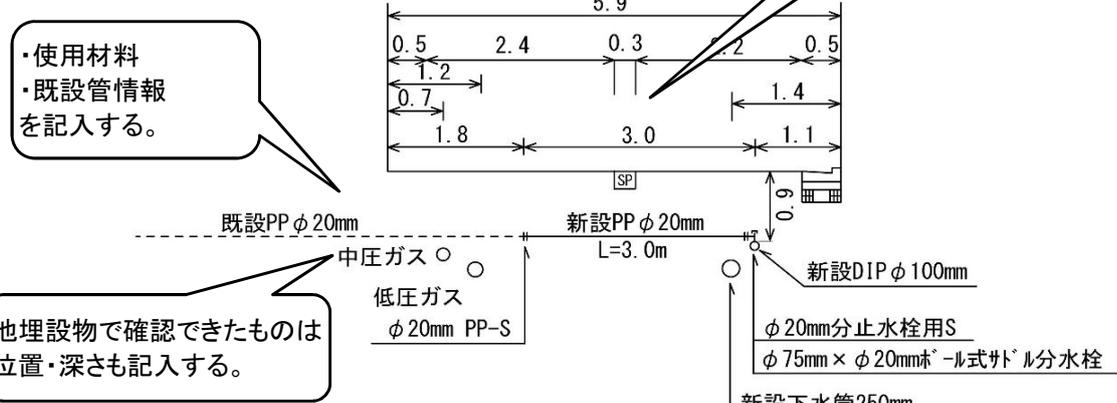
竣工図番号	R -
引込番号	8756139
施設番号	8756139
施設場所	〇〇町 △丁目 〇〇番 △△号 番地
所有者	(印)
竣工検査日	令和〇〇年△△月〇〇日

工種	布設替 (全・ <b>一部</b> ) ・接続・元止・その他
本管	材質 DIP 口径 100 mm
新引込管	材質 PP 口径 20 mm
旧引込管	材質 PP 口径 20 mm

## 案内図



## 横断面図



工事名	令和〇〇年度 〇〇第△△号 開発行為に伴う水道施設工事	工事内容	既設PPφ20mmに接続
備考		施工業者	〇〇〇〇〇

局担当 印

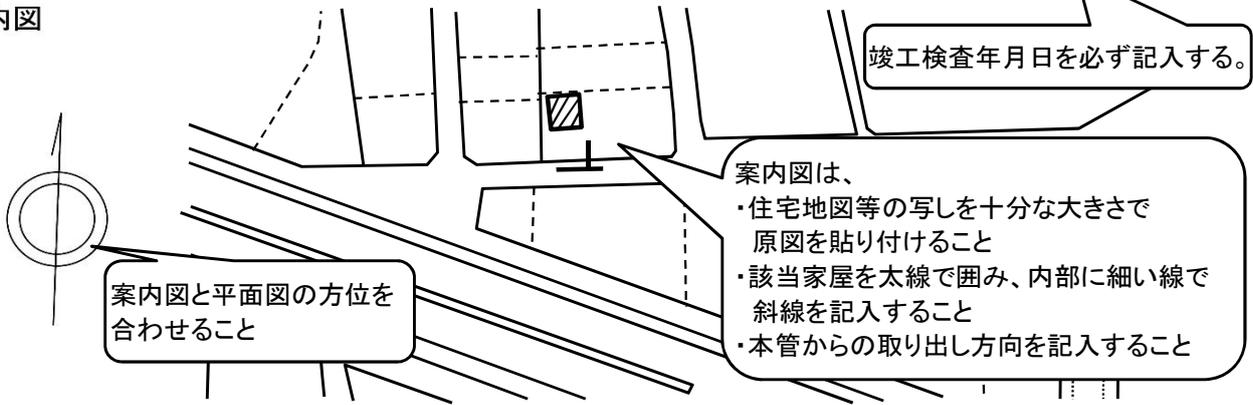
# 工事日報

接続を○で囲む。

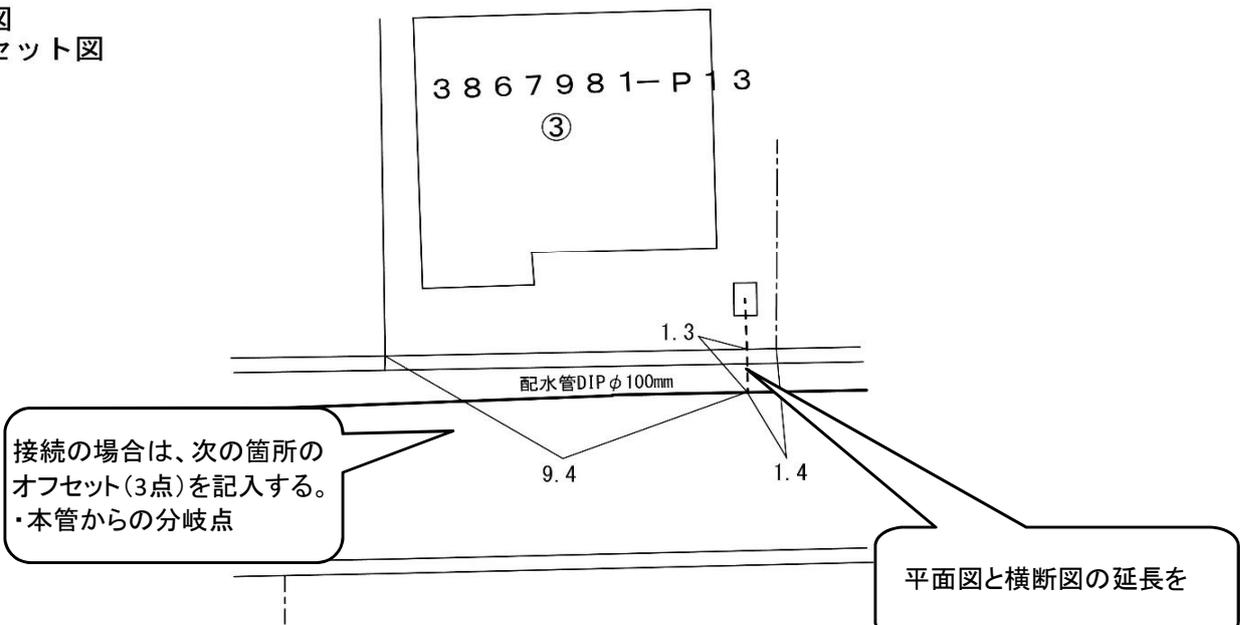
竣工図番号	R -
引込番号	3867981
施設番号	3867981
施設場所	〇〇町 △丁目 〇〇番 △△号 番地
所有者	(印)
竣工検査日	令和〇〇年△△月〇〇日

工種	布設替(全・一部)・ <b>接続</b> ・元止・その他
本管	材質 DIP 口径 100 mm
新引込管	材質 PP 口径 13 mm
旧引込管	材質 PP 口径 13 mm

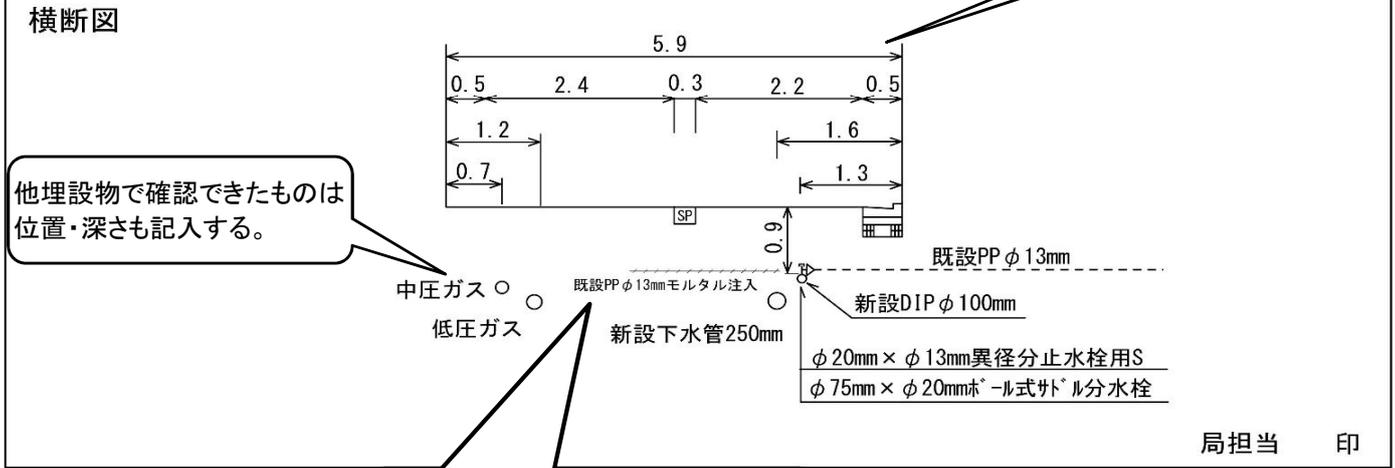
## 案内図



## 平面図 オフセット図



## 横断図



工事名	令和〇〇年度 〇〇第	既設管の処理方法を記入 ・撤去、モルタル注入	工事内容	既設PPφ13mmに接続
備考			施工業者	〇〇〇〇〇

# 新規引込管竣工届

(開発・区画整理・公社等の工事に限る)

マッピングシステム上の1/500平面図の

引込番号	2297762	竣工図番号	R
施設番号	2297762	図面番号 (1/500)	
本管 材質 DIP 口径 100 mm		施設場所	
新引込管 材質 PP 口径 20 mm		住所	
		氏名	
		竣工検査日	令和〇〇年△△月〇〇日

## 案内図

案内図と平面図の方位を合わせること

開発者名あるいは事業者名を記入する。

竣工検査年月日を必ず記入する。

案内図は、  
 ・住宅地図等の写しを十分な大きさと原図を貼り付けること  
 ・該当家屋を太線で囲み、内部に細い線で斜線を記入すること  
 ・本管からの取り出し方向を記入すること

## 平面図 オフセット図

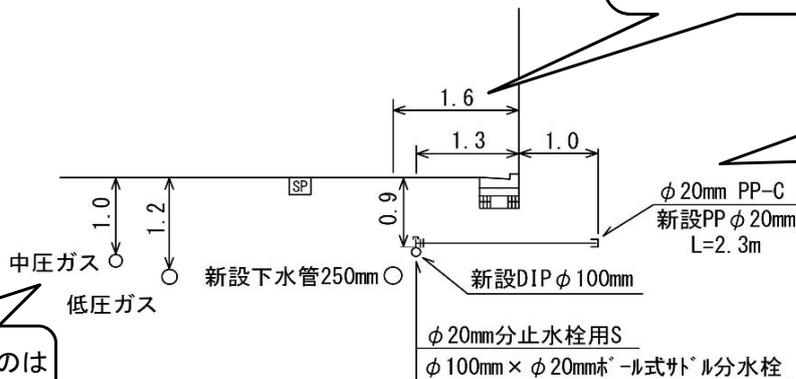
新規引込管の場合は、次の箇所のオフセット(3点)を記入する。  
 ・本管からの分岐点  
 ・官民境界の横断点

④  
2297762

配水管DIP φ100mm

平面図と横断図の延長を一致させる。

## 横断図



・使用材料  
 ・既設管情報を記入する。

他埋設物で確認できたものは位置・深さも記入する。

局担当 印

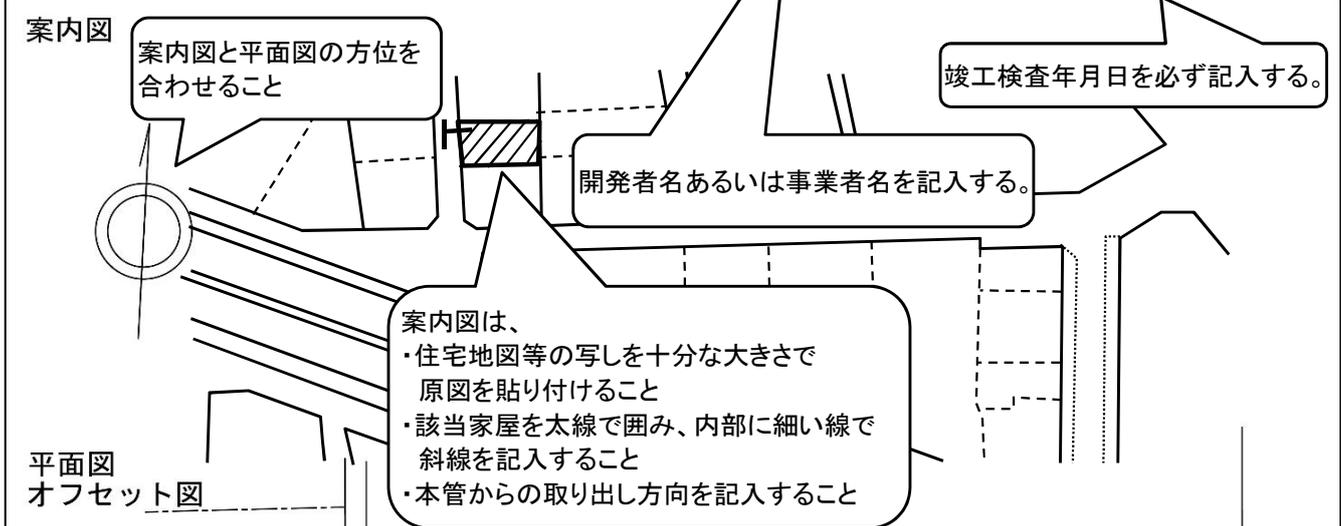
工事名	令和〇〇年度 〇〇第△△号 開発行為に伴う水道施設工事	工事内容	新設給水管PP20mm布設
備考		施工業者	〇〇〇〇

マッピングシステム上の1/500平面図の  
 該当する図面番号を記入する。

# 新規引込管竣工届

(開発・区画整理・公社等の工事に限る)

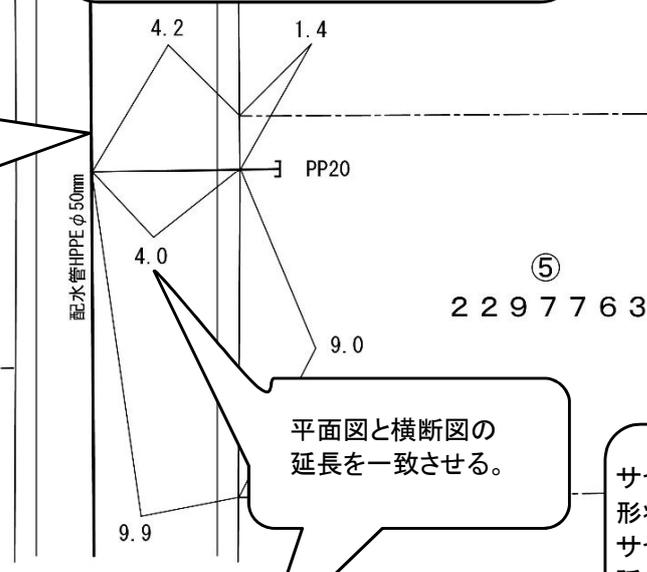
引込番号	2 2 9 7 7 6 3	竣工図番号	R -
施設番号	2 2 9 7 7 6 3	図面番号 (1/500)	
本管 材質 HPPE 口径 50 mm		施設場所	
新引込管 材質 PP 口径 20 mm		住所	
		氏名	
		竣工検査日	令和〇〇年△△月〇〇日



竣工検査年月日を必ず記入する。

案内図は、  
 ・住宅地図等の写しを十分な大きさと原図を貼り付けること  
 ・該当家屋を太線で囲み、内部に細い線で斜線を記入すること  
 ・本管からの取り出し方向を記入すること

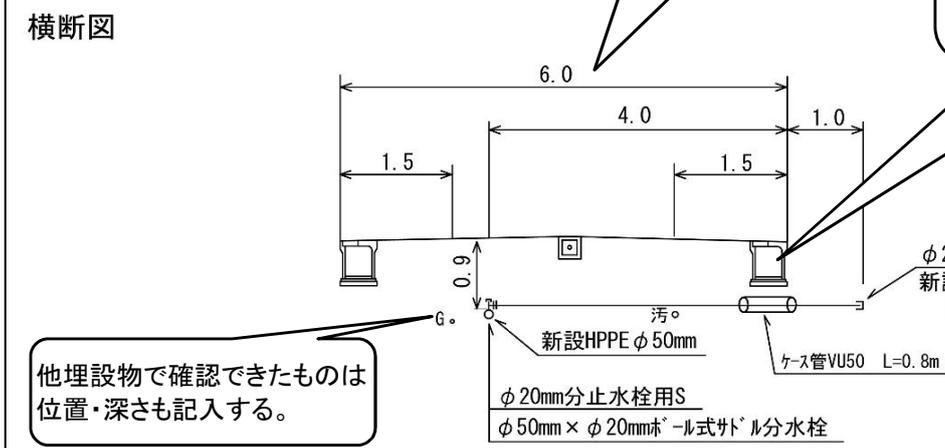
新規引込管の場合は、次の箇所のオフセット(3点)を記入する。  
 ・本管からの分岐点  
 ・官民境界の横断点



平面図と横断図の延長を一致させる。

サヤ管を施工した場合は、その形状を横断図に記入すること  
 サヤ管の情報は、材質、口径、延長を記入する。

・使用材料  
 ・既設管情報を記入する。



他埋設物で確認できたものは位置・深さも記入する。

局担当 印

工事名	令和〇〇年度 〇〇第△△号 開発行為に伴う水道施設工事	工事内容	新設給水管PP20mm布設
備考		施工業者	〇〇〇〇〇

<工事日報(引込管) 元止>  
必要栓を元止した場合

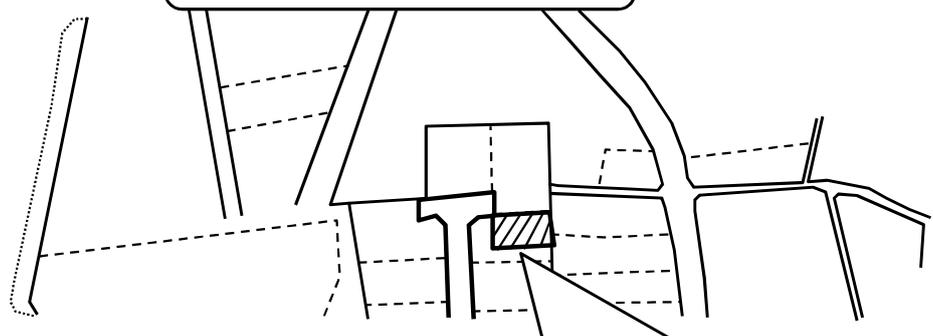
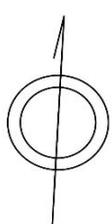
# 工事日報(引込管)

元止を○で囲む。

号 R -

引込番号	5 5 1 1 9 4 9
施設番号	5 5 1 1 9 4 9
施設場所	○○町 △丁目 ○○番 △△号 番地
所有者	○○○ ○○ (印)
竣工検査日	令和○○年△△月○○日

## 案内図



お客様の都合により、必要栓を未接続とした場合は、所有者名と押印が必要

竣工検査年月日を必ず記入する。

平面図  
オフセット図

記入不要

案内図は、  
・住宅地図等の写しを十分な大きさに  
原図を貼り付けること  
・該当家屋を太線で囲み、内部に細い線で  
斜線を記入すること

横断面図

記入不要

※必要栓・・・所有者が必要と意志表示している給水管  
現地にメーターがなくとも、必要栓を元止めする場合は、必ず監督員と協議すること。

局担当 印

工事名	令和○○年度 ○○第△△号 開発行為に伴う水道施設工事	工事内容	開発工事に伴い既設給水管未接続
備考	所有者確認の上、元止め。	⑭	施工業者 ○○○○○

<工事日報(引込管) 元止>  
 不要栓を元止した場合

元止を○で囲む。

# 工事日報(引込管)

				竣工図番号	R	—	
				引込番号	6537546		
工種	布設替(全・一部)・接続・ <b>元止</b> ・その他			施設番号	6537546		
本管	材質	VP	口径	30	mm	施設場所	〇〇町 △丁目 〇〇番 △△号 番地
新引込管	材質		口径		mm	所有者	(印)
旧引込管	材質	PP	口径	13	mm	竣工検査日	令和〇〇年△△月〇〇日

案内図

竣工検査年月日を必ず記入する。

平面図  
オフセット図

記入不要

案内図は、  
 ・住宅地図等の写しを十分な大きさと  
 原図を貼り付けること  
 ・該当家屋を太線で囲み、内部に細い線で  
 斜線を記入すること

横断図

記入不要

局担当 印

工事名	令和〇〇年度 〇〇第△△号 開発行為に伴う水道施設工事	工事内容	開発工事に伴い既設給水管未接続
備考	不要栓のため元止め。 (15)	施工業者	〇〇〇〇〇

様式8

**記入例 8 本管の修繕工事 竣工届**



課長 課長補佐 係長 係

管種別  
 ・導水管 ⇒ 本管  
 ・送水管 ⇒ 支管  
 ・配水管 ⇒ 給水管  
 ・給水管 ⇒ 排水管

給水管工事以外は記入不要

竣工予定日 令和 年 月 日

工事名 (その他)

工事種別  
 ・導水管 ⇒ 本管  
 ・送水管 ⇒ 支管  
 ・配水管 ⇒ 給水管  
 ・給水管 ⇒ 排水管

竣工予定日 令和 年 月 日

工事種別 記入不要

竣工予定日 令和 年 月 日

工事種別 記入不要

3. 新設管路情報は、工事で使用した全ての管路情報を記入する。

工事番号	工事名	工事種別	工事場所
第1(1)	φ50 道路網管破裂		長岡市 〇〇〇 地
第2(2)			

水廻り・消防・給排水工事 ( ) ・その他 ( )

竣工後の所有者 竣工検査 令和 〇〇年 〇月 〇日

必要者・補償工事 ( ) ・その他 ( )

3. 新設管路情報

管種別	口径	材質	仕様	接続	長さ	単位
1	支 50	HP	3	一次配管	K形	延長
2	支 50	P	0.5	一次配管	NS形	延長
3	支 25	P	0.5	一次配管	GX形	延長
4					GE形	延長
5						延長
6						延長

工事延長を O. Om単位で記入する。

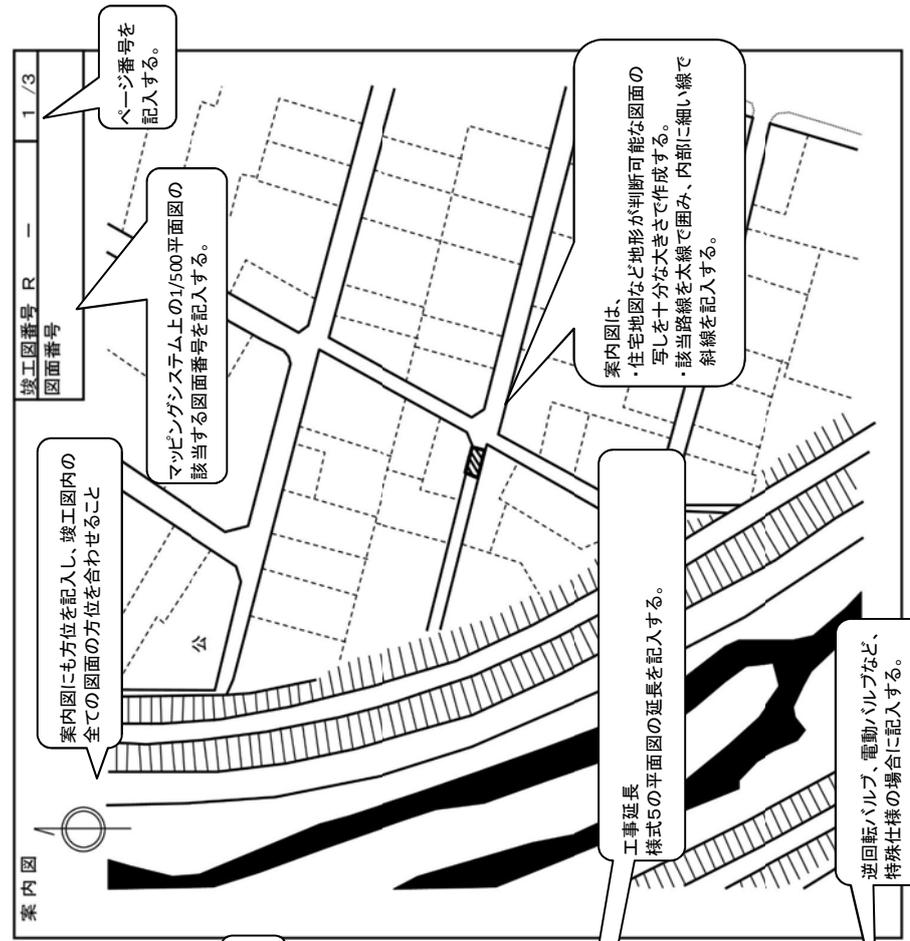
合計延長を記入する。

井	種別	特記仕様	口径	数量	種類	圧力
1	制・排・不	井1	小口径特殊弁(13~25mm)	1	1.0MPa	
2	制・排・不	井2	砲金製特殊弁(30~50mm)	1	1.0MPa	
3	制・排・不	井3	ソフトジョーブル弁(75mm~)	1	0.75MPa	
4	制・排・不	井4	パタフライ弁(200mm~)	1	0.75MPa	
5	制・排・不	井5	不排水バルブ	1	MPa	
6	制・排・不	井6	不排水バルブ	1	MPa	
7	制・排・不	井7		1	MPa	
8	制・排・不	井8		1	MPa	

材質、内面仕様、外面仕様、接合法で該当しないものがあつた場合は、空白部に記入し、その記号「他1」等を記入する。

右の該当する記号を記入する。

特記仕様	本管口径	呼び口径	数量	種類	仕様	圧力	種類	仕様
1	空1	空1	1	単口	0.75MPa	有	有	有
2	空2	空2	1	急速	0.75MPa	有	有	有
3	空3	空3	1	不凍急速	0.75MPa	無	無	無
4	空4	空4	1		MPa			
5	空5	空5	1		MPa			
6	消1	消1	1	地下式単口				
7	消2	消2	1	地上式単口(打倒式)				
8	消3	消3	1					



給水管増設工事委託に同意し、当該水道管の所有権は水道局に譲渡します。

令和 年 月 日 住所

工事全般に対する特記事項等があれば記入する。

分岐承諾

設置所有権移転 有 無  
 承諾承諾 有 無  
 分岐承諾 有 無

業者名  
 主任技術者名

水質検査結果  
 検査日時 令和〇〇年 〇月 〇日 〇時〇〇分  
 検査結果 色：〇〇 濁り：〇〇 味：〇〇  
 臭い：〇〇 残留：〇〇以上

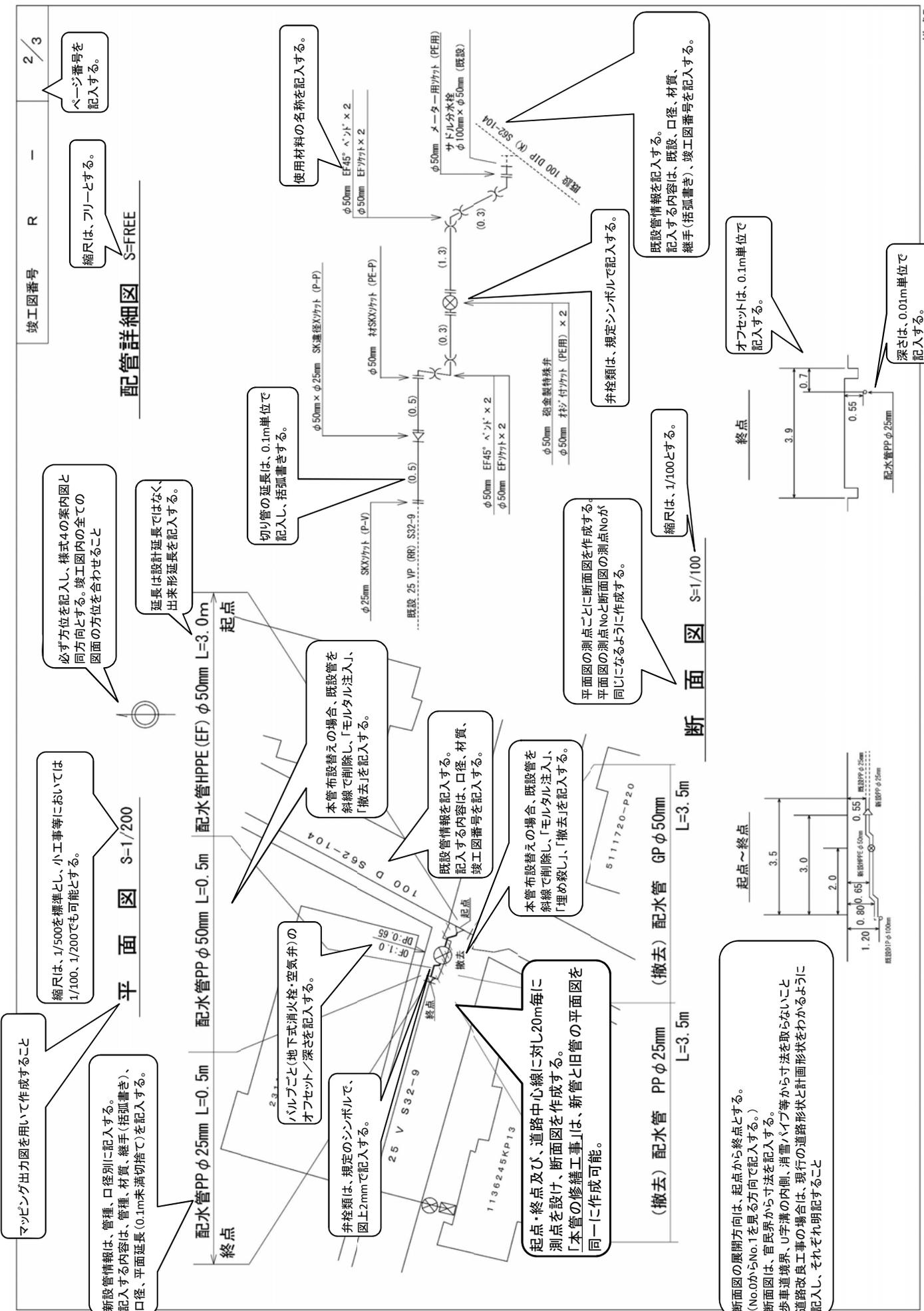
印

工事の責任者の氏名を記入する。押印不要

配管詳細図 S=FREE

平面図 S=1/200

断面図 S=1/100



必ず方位を記入し、様式4の案内図と同方向とする。竣工図内の全ての図面の方位を合わせること

延長は設計延長ではなく、出来形延長を記入する。

切り管の延長は、0.1m単位で記入し、括弧書きする。

本管布設替えの場合、既設管を斜線で削除し、「モルタル注入」、「撤去」を記入する。

既設管情報を記入する。記入する内容は、口径、材質、竣工図番号を記入する。

本管布設替えの場合、既設管を斜線で削除し、「モルタル注入」、「埋め殺し」、「撤去」を記入する。

平面図の測点ごとに断面図を作成する。平面図の測点Noと断面図の測点Noが同じになるように作成する。

縮尺は、1/100とする。

弁栓類は、規定シンボルで記入する。

既設管情報を記入する。記入する内容は、既設、口径、材質、継手(括弧書き)、竣工図番号を記入する。

オフセットは、0.1m単位で記入する。

深さは、0.01m単位で記入する。

マッピング出力図を用いて作成すること

縮尺は、1/500を標準とし、小工事等においては1/100、1/200でも可能とする。

新設管情報は、管種、口径別に記入する。記入する内容は、管種、材質、継手(括弧書き)、口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

バルブごと(地下式消火栓・空気弁)のオフセット/深さを記入する。

弁栓類は、規定のシンボルで、図上7mmで記入する。

起点・終点及び、道路中心線に対し20m毎に測点を設け、断面図を作成する。「本管の修繕工事」は、新管と旧管の平面図を同一に作成可能。

断面図の展開方向は、起点から終点とする。(No.0からNo.1を見る方向で記入する。) 断面図は、官民界から寸法を記入する。歩車道境界、U字溝の内側、消雪ハイブ等から寸法を取らないこと 道路改良工事の場合は、現行の道路形状と計画形状をわかるように記入し、それぞれ明記すること

縮尺は、フリーとする。

オフセット図 S=free

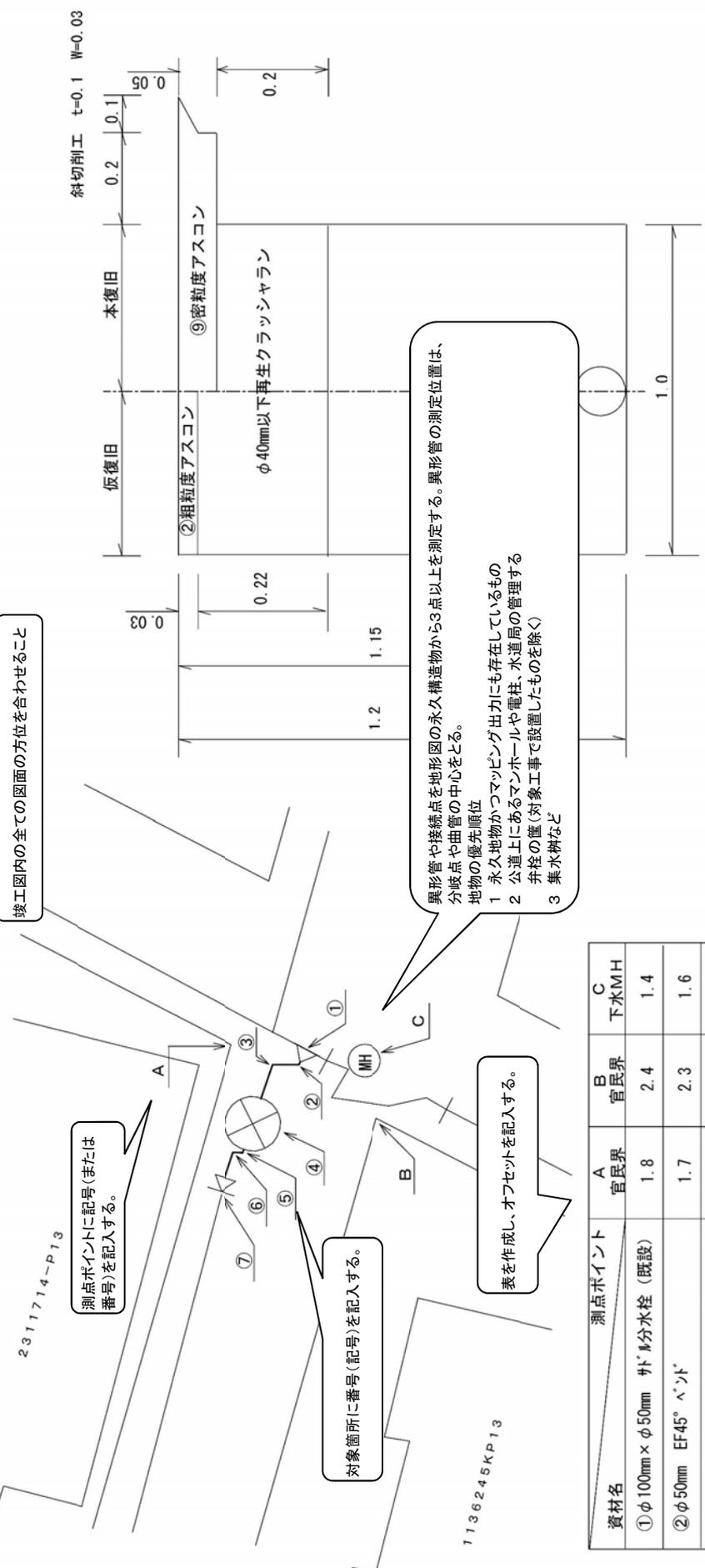
竣工図番号 R -

掘削復旧図 S=FREE

市道1層

ページ番号を記入する。

縮尺は、フリーとする。



竣工図内の全ての図面の方位を合わせること

測点ポイントに記号(または番号)を記入する。

対象箇所に番号(記号)を記入する。

表を作成し、オフセットを記入する。

異形管や接続点を地形図の永久構造物から3点以上を測定する。異形管の測定位置は、分岐点や曲管の中心をとる。  
 地物の優先順位  
 1 永久地物かつマッピング出力にも存在しているもの  
 2 公道にあるマンホールや電柱、水道局の管理する井栓の蓋(対象工事で設置したものを除く)  
 3 集水樹など

単位は、0.1mとする。  
 (小数点以下第2位四捨五入)

資材名	測点ポイント	A 官民界	B 官民界	C 下水MH
① φ100mm × φ50mm 井戸分水栓 (既設)		1.8	2.4	1.4
② φ50mm EF45° 弁		1.7	2.3	1.6
③ φ50mm EF45° 弁		1.1	2.8	2.2
④ φ50mm 砲金製特殊弁		2.0	3.0	3.1
⑤ φ50mm EF45° 弁		2.7	3.3	3.7
⑥ φ50mm EF45° 弁		2.6	3.6	3.9
⑦ φ25mm SKX/カット(P-V)		3.6	4.2	4.7



**記入例 9 本管の修繕工事 工事日報（本管・引込管）**

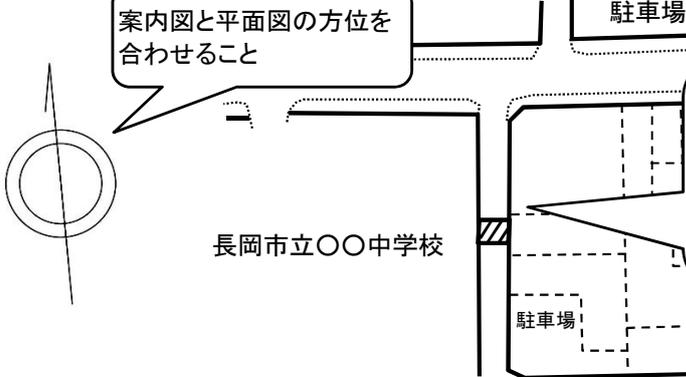


# 工事日報(本管)

マッピングシステム上の1/500平面図の該当する図面番号を記入する。

竣工図番号	-
施工場所	長岡市〇〇〇〇〇
図面番号(1/500)	501-〇-〇〇-〇
既設本管	材質 VP 口径 50 mm
竣工検査日	令和〇〇年 △月 ○日

## 案内図

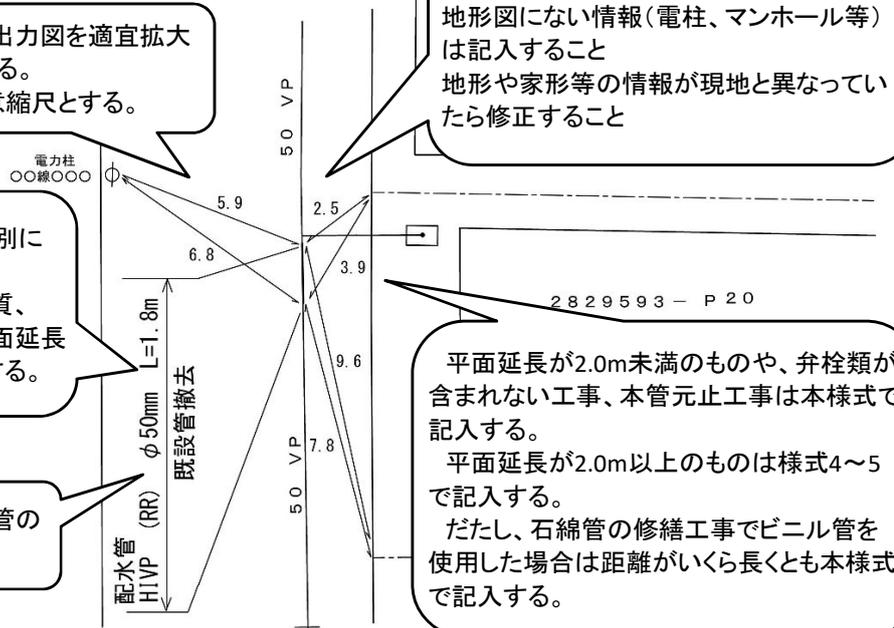


竣工検査年月日を必ず記入する。

案内図は、  
 ・住宅地図など地形が判断可能な図面の写しを十分な大きさに作成する。  
 ・該当路線を太線で囲み、内部に細い線で斜線を記入する。

## 平面図 オフセット図

マッピング出力図を適宜拡大して記入する。  
縮尺は任意縮尺とする。



オフセットは、接続点を地形図の永久構造物から3点以上を測定し記入する。  
地形図にない情報(電柱、マンホール等)は記入すること  
地形や家形等の情報が現地と異なっていたら修正すること

新設管情報は、管種、口径別に記入する。  
記入する内容は、管種、材質、継手(括弧書き)、口径、平面延長(0.1m未満切捨て)を記入する。

本管布設替えの場合、既設管の処理方法を記入する。

平面延長が2.0m未満のものや、弁栓類が含まれない工事、本管元止工事は本様式で記入する。  
平面延長が2.0m以上のものは様式4~5で記入する。  
ただし、石綿管の修繕工事でビニル管を使用した場合は距離がいくら長くと本様式で記入する。

## 横断面



配管詳細図を作成する。

局担当 印

工事名	令和〇〇年度 〇〇第△△△号 〇〇〇〇〇工事	工事内容	ビニル管破裂 一部布設替
-----	------------------------	------	--------------

## 備考

既設管情報を記入する。  
記入する内容は、既設、口径、材質、継手(括弧書き)、竣工図番号を記入する。

様式9

# 工事日報 (引込管)

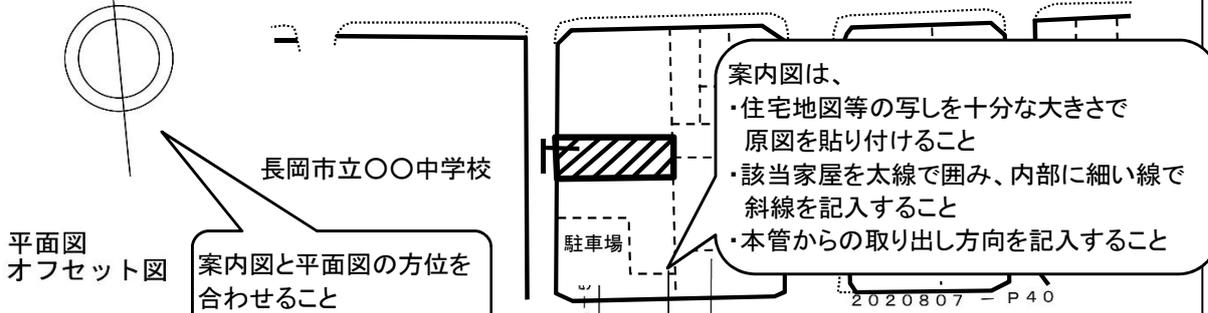
一部を○で囲む。

竣工図番号	R -
引込番号	2829593
施設番号	2829593
施設場所	〇〇町 △丁目 〇〇番 △△号 番地
所有者	(印)
竣工検査日	令和〇〇年 △月 ○日

工種	布設替 (全・ <b>一部</b> )・接続・元止・その他
本管	材質 HIVP 口径 75 mm
新引込管	材質 PP 口径 20 mm
旧引込管	材質 PP-1 口径 20 mm

旧引込管は、施工前の本管から官民境界で使用している引込管の情報を記入する

竣工検査年月日を必ず記入する。

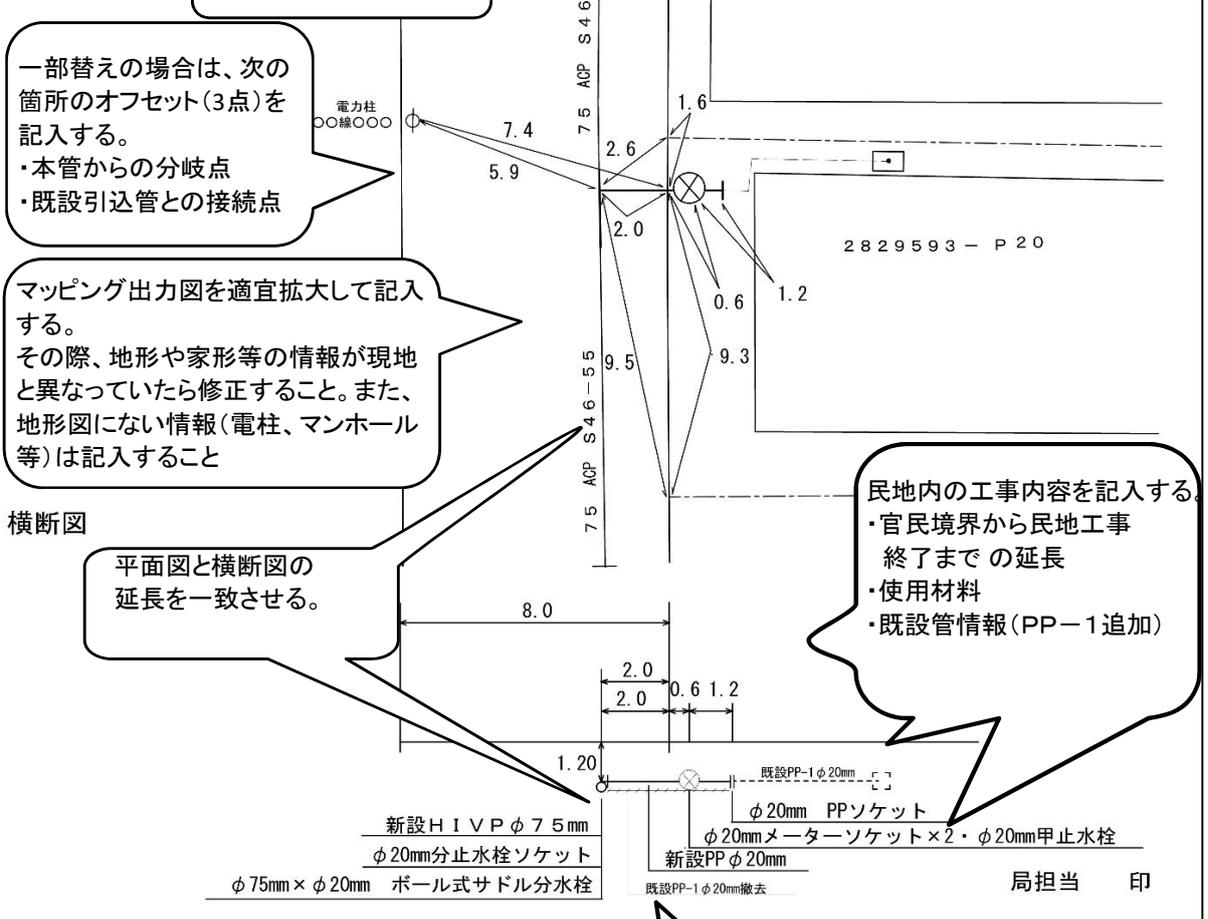


一部替えの場合は、次の箇所のオフセット(3点)を記入する。  
 ・本管からの分岐点  
 ・既設引込管との接続点

マッピング出力図を適宜拡大して記入する。その際、地形や家形等の情報が現地と異なっていたら修正すること。また、地形図にない情報(電柱、マンホール等)は記入すること

平面図と横断面図の延長を一致させる。

民地内の工事内容を記入する。  
 ・官民境界から民地工事終了までの延長  
 ・使用材料  
 ・既設管情報 (PP-1追加)



工事名	令和〇〇年度 〇〇第△△△号 〇〇〇〇〇〇工事	工事内容	本管破裂に伴う給水管の一部敷設替
備考		業者	〇〇〇〇〇

既設管の処理方法を記入  
 ・撤去、モルタル注入

記入例 10 給水管布設替工事



# 工事日誌 (引込管)

全を○で囲む。

竣工図番号 R -	
引込番号 3519299	
工種 布設替 (全) 一部) ・接続・元止・その他	施設番号 3519299
本管 材質 VP 口径 50 mm	施設場所 ○○町 △丁目 ○○番 △△号 番地
新引込管 材質 PP 口径 20 mm	所有者 (印)
旧引込管 材質 PP-1 口径 20 mm	令和○○年 △月 ○日

**案内図**

新引込管は、本管から官民境界で施工時に使用した材料を記入する。

旧引込管は、施工前の本管から官民境界で使用している引込管の情報を記入する。(一層ポリエチレン管は”P P-1”と記入してください。)

竣工検査年月日を必ず記入する。

案内図と平面図の方位を合わせること

案内図は、  
 ・住宅地図等の写しを十分な大きさと原図を貼り付けること  
 ・該当家屋を太線で囲み、内部に細い線で斜線を記入すること  
 ・本管からの取り出し方向を記入すること

**平面図 オフセット**

全部替えの場合は次の箇所のオフセット(3点)を記入する。  
 ・本管からの分岐点  
 ・官民境界の横断点  
 ・甲止(分水栓から直線配管の場合は不要)

メートルまでの延長も記入する。

**横断図**

平面図と横断図の延長を一致させる。

新設PPφ20mm  
 既設PP-1φ20mm 撤去  
 φ50mm×φ20mm SKXチーズ  
 φ20mmメーターソケット

民地内の工事内容を記入する。  
 ・官民境界から民地工事終了までの延長  
 ・使用材料  
 ・既設管情報(PP-1追加)

工事名 令和○○年度 ○○第 △号 ○○○○○○○○○工	工事内容 給水管の布設替え
備考	施工業者 ○○○○○

既設管の処理方法を記入  
 ・撤去、モルタル注入



<工事日報(引込管) > 全部替  
 お客様の都合により官民境界接合した場合

工事日 全を○で囲む。 引込管)

新引込管は、本管から官民境界で施工時に使用した材料を記入する。

工種	布設替 (全) 一部) ・接続・元止・その他			
本管	材質	VP	口径	50 mm
新引込管	材質	PP	口径	20 mm
旧引込管	材質	PP-1	口径	20 mm

竣工区	—		
引込管番号	3519299		
施設番号	3519299		
施設場所	〇〇町	△丁目	〇〇番地 △△号
所有者	印		
竣工検査日	令和〇〇年	△月	〇日

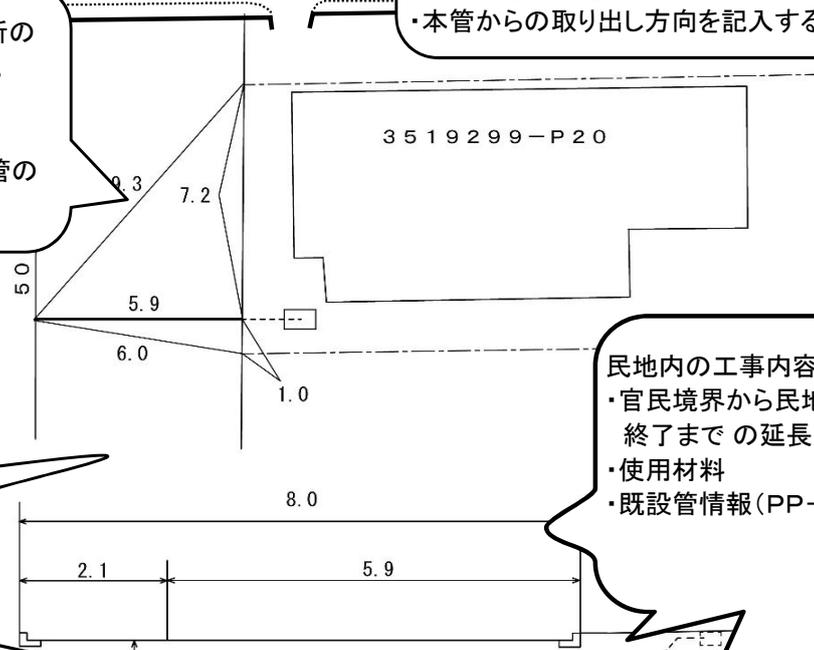
案内図  
 旧引込管は、施工前の本管から官民境界で使用している引込管の情報を記入する。(一層ポリエチレン管は"PP-1"と記入してください。)

竣工検査年月日を必ず記入する。



案内図は、  
 ・住宅地図等の写しを十分な大きさと原図を貼り付けること  
 ・該当家屋を太線で囲み、内部に細い線で斜線を記入すること  
 ・本管からの取り出し方向を記入すること

全部替えの場合は次の箇所のオフセット(3点)を記入する。  
 ・本管からの分岐点  
 ・官民境界の横断点  
 ・甲止(分水栓から直線配管の場合は不要)



民地内の工事内容を記入する。  
 ・官民境界から民地工事終了までの延長  
 ・使用材料  
 ・既設管情報(PP-1追加)

平面図と横断図の延長を一致させる。

お客様の都合により官民境界接合とします。漏水発生時は個人負担にて修理します。

所有者 〇〇〇 〇〇 印

局担当 印

工事名 令和〇〇年度 〇〇第 △号 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇工事  
 備考 民地内に石塚があり協議し官民境界接合

既設管の処理方法を記入  
 ・撤去、モルタル注入

協議結果を記入する。

お客様の都合により官民境界接合をした場合は、所有者名と押印が必要

# 工事日報

一部を○で囲む。

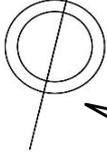
竣工図番号	R -
引込番号	3519299
施設番号	3519299
施設場所	○○町 △丁目 ○○番 △△号 番地
所有者	Ⓜ
竣工検査日	令和○○年 △月 ○日

工種	布設替 (全・ <b>一部</b> )・接続・元止・その他		
本管	材質 VP	口径 50 mm	
新引込管	材質 PP	口径 20 mm	
旧引込管	材質 PP	口径 20 mm	

案内図

旧引込管は、施工前の本管から官民境界で使用している引込管の情報を記入する。(一層ポリエチレン管は"PP-1"と記入してください。)

竣工検査年月日を必ず記入する。



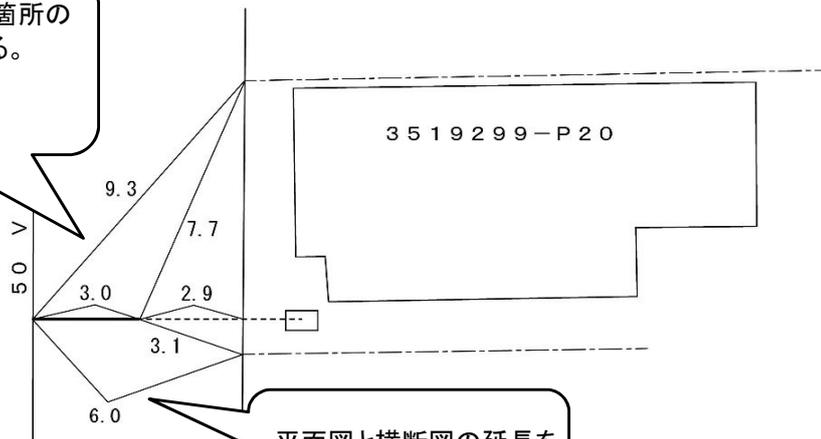
案内図と平面図の方位を合わせる

- 案内図は、
- ・住宅地図等の写しを十分な大きさに原図を貼り付けること
  - ・該当家屋を太線で囲み、内部に細い線で斜線を記入すること
  - ・本管からの取り出し方向を記入すること

平面図  
オフセット図

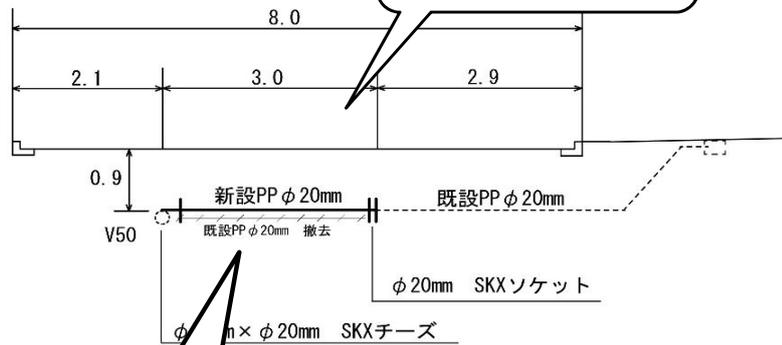
一部替えの場合は、次の箇所のオフセット(3点)を記入する。

- ・本管からの分岐点
- ・既設引込管との接続点



平面図と横断面図の延長を一致させる。

横断面図



局担当 印

工事名	令和○○年度 ○○第 ○○○○○○○○○工事	工事内容	給水管の布設替え
備考		施工業者	○○○○○

既設管の処理方法を記入  
・撤去、モルタル注入

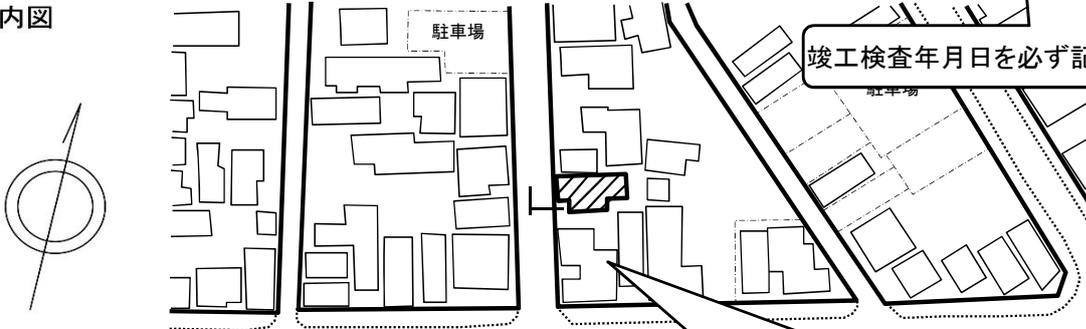


元止を○で囲む。

# 工事日報(引込管)

工種	布設替(全・一部)・接続・ <b>元止</b> ・その他	竣工図番号	R -
本管	材質 VP 口径 50 mm	引込番号	3519299
新引込管	材質 口径 mm	施設番号	3519299
旧引込管	材質 PP 口径 20 mm	施設場所	〇〇町 △丁目 〇〇番 △△号 番地
		所有者	(印)
		竣工検査日	令和〇〇年 △月 〇日

案内図



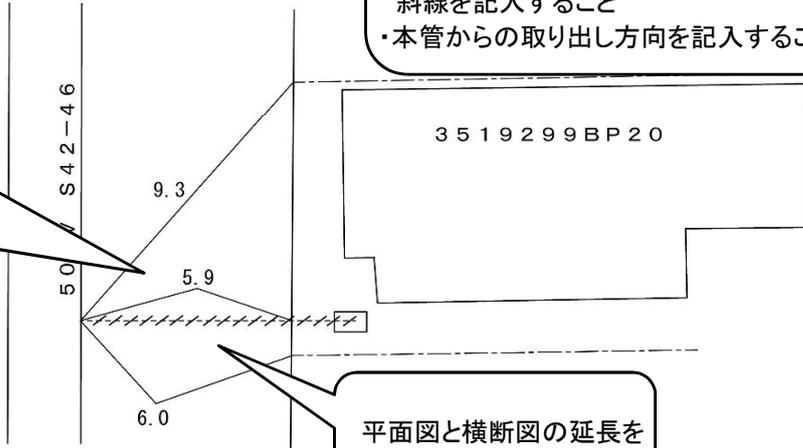
竣工検査年月日を必ず記入する。

平面図  
オフセット図

案内図と平面図の方位を合わせる

案内図は、  
 ・住宅地図等の写しを十分な大きさで原図を貼り付けること  
 ・該当家屋を太線で囲み、内部に細かい線で斜線を記入すること  
 ・本管からの取り出し方向を記入すること

元止めの場合は、次の箇所のオフセット(3点)を記入する。  
 ・元止め箇所



平面図と横断図の延長を一致させる。

横断図



局担当 印

工事名	令和〇〇年度 〇〇第 △号 〇〇〇〇〇〇	工事	工事内容 φ20mm分水栓閉栓
備考		施工業者	〇〇〇〇〇

既設管の処理方法を記入  
 ・撤去、モルタル注入

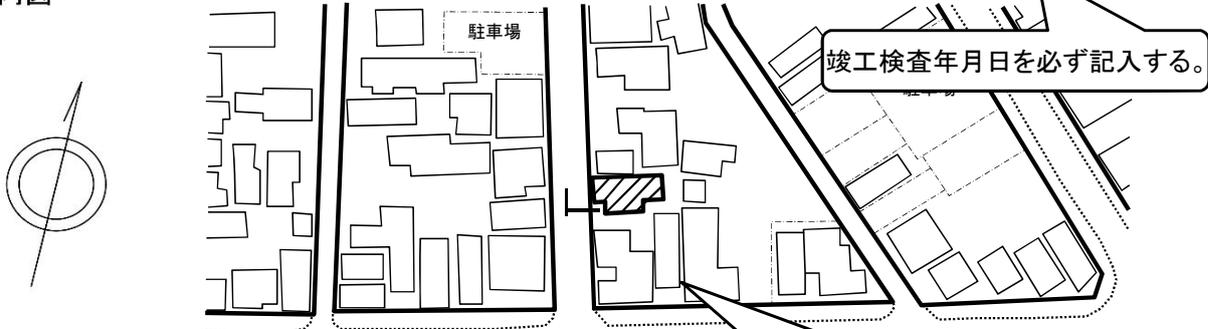
# 工事日報(引込管)

元止を○で囲む。

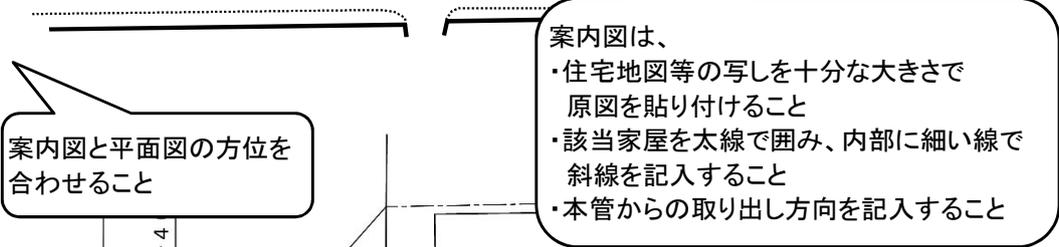
お客様の都合により、必要栓を未接続とした場合は、所有者名と押印が必要

竣工図番	-			引込番号	3519299		
施設番号	3519299			施設場所	〇〇町	△丁目	〇〇番 △△号 番地
本管	材質 VP	口径	50 mm	所有者	〇〇〇	〇〇	(印)
新引込管	材質	口径	mm	竣工検査日	令和〇〇年 △月 ○日		
旧引込管	材質 PP	口径	20 mm				

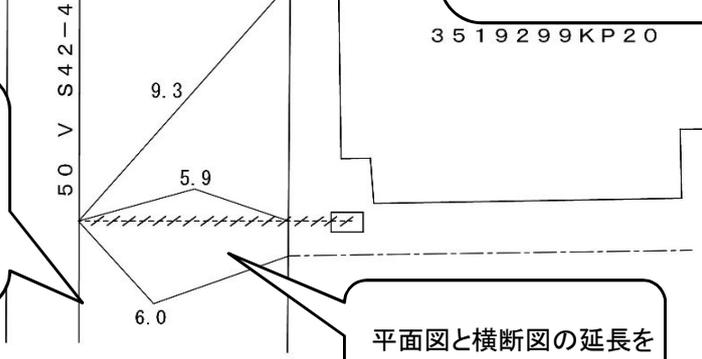
案内図



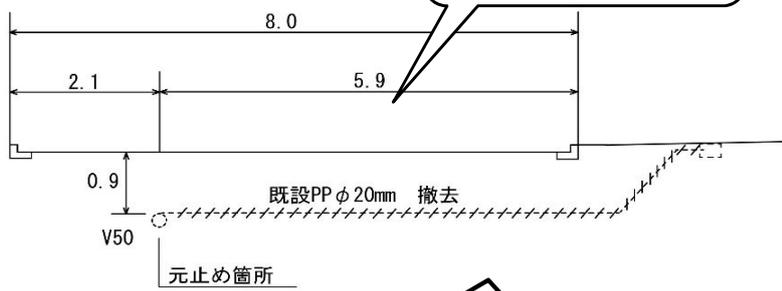
平面図  
オフセット図



元止めの場合は、次の箇所のオフセット(3点)を記入する。  
・元止め箇所



横断面図



既設管の処理方法を記入  
・撤去、モルタル注入

局担当 印

工事名	令和〇〇年度	〇〇第	△号	〇〇〇〇〇〇	閉栓
備考	必要栓であったが所有者確認の上、元止め。			施工業者	〇〇〇〇〇

※必要栓・・・所有者が必要と意志表示している給水管  
現地にメーターがなくとも、必要栓を元止めする場合は、必ず監督員と協議すること。



**記入例 1 1 水管橋・河川占用等調書**

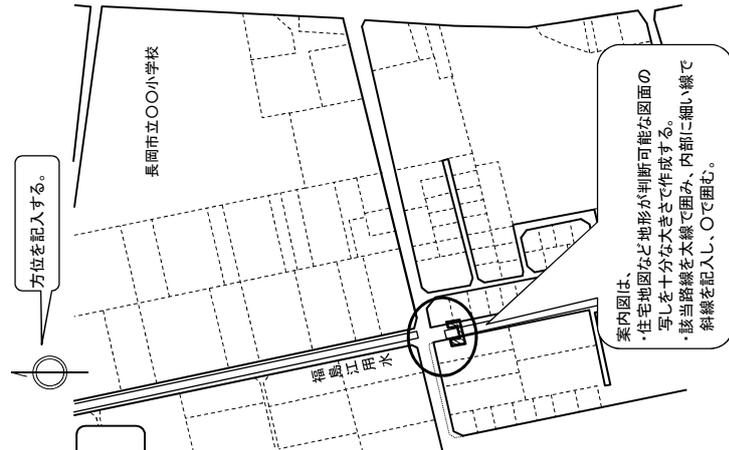


水管橋・河川占用等 調書

(R〇年〇月〇日 竣工)

図面番号: 〇〇〇-〇-〇〇-〇	河川番号: 〇〇	管理番号: 〇〇	竣工年度・番号:
内 容			
No. 1	水路名	一般 二級 準用 普通	主要用水路 ( ) 其他用水路 ( ) 法定外公共物 不明 水路以外
※主要用水路とは福島江、東大新江、山北江用水路、信濃川左岸の各幹線用水路をいう。			
2	橋梁名 (近辺)	〇〇 橋	水路以外
3	場所 (左岸)	〇〇〇町 〇 J目 〇〇 番 (番地) 〇 号	
3	場所 (右岸)	〇〇〇町 〇 J目 〇〇 番 (番地) 〇 号	
4	水路管理者	国 (県) 市 信濃川左岸 その他 ( )	不明 水路以外
5	占用許可	S・H・R 年度	第 号 無 水路以外
6	管 種	導 送 配本 (配管)	排 引込番号 ( ) その他 ( )
7	本管材質	CP DCIP GP	SUS PP その他 ( )
8	本管口径	100 mm	
9	橋 長	8.5 m (小数第1位まで。埋設箇所は最大変化箇所の2点間)	無
10	橋梁形式	添架 ( ) ハイブーム フランジ補剛 トラス補剛	ランガー補剛 斜張橋補剛 橋梁以外
11	本管防食	無 ( ) S・H・R 〇 年度	アスファルトジュート ナイロンコート ポリエチレン被覆
12	保温仕様	無 ( ) S・H・R 〇 年度	スチロール 他 ( ) 不明
13	防護仕様	無 ( ) S・H・R 〇 年度	SUS板金 サヤ管 (材質) 口径 ( ) 他 ( ) 不明
14	外面塗装仕様	下塗り ( ) 〇 年度	μm ) 中塗り ( ) μm ) 無
14	外面塗装仕様	上塗り ( ) ポリウレタン樹脂塗料 〇〇μm ) 塗装色番号 ( Δ〇-□〇 )	無 不明
15	歩行防止柵	S・H・R 〇 年度	有 無 不要
16	空気弁	有 無	空気抜バルブ 防 凍 箱 有 無 ( ) 不要
17	注意標識	有 無	不要
備 考			

案内図



令和〇年度 ΔΔ 第 〇〇 号 〇〇〇〇	工事 〇〇〇〇	施工業者 〇〇〇〇	高担当 〇〇〇〇	印
----------------------	---------	-----------	----------	---

写真

写真は橋梁等の位置関係(離れ)を記入する。  
埋設の場合は横断状況を記入する。

写真は管路の縦断方向と横断方向の2箇所を貼付する。埋設の場合は不要

左岸側から右岸側を望む

右岸側から左岸側を望む

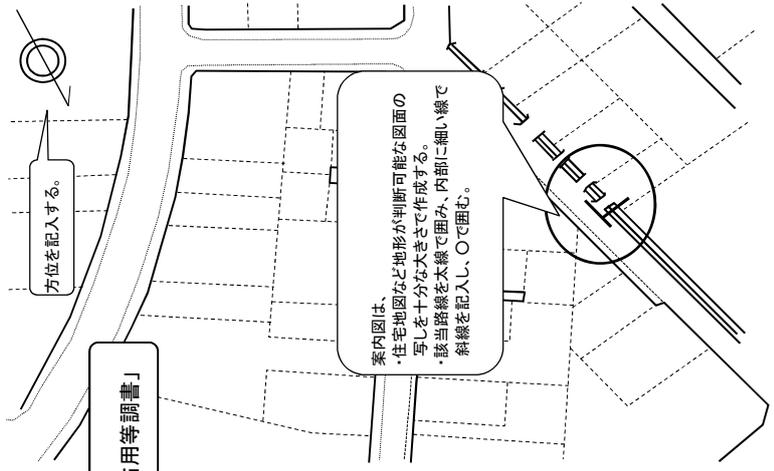
水管橋・河川占用等 調書

(R0年0月0日 竣工)

図面番号：000-0-00-0		河川番号：00	管理番号：00	竣工年度・番号：
No.	項目	内容		
1	水路名	一般 二級 普通	主要用水路	その他排水路
2	橋梁名(近辺)	00 橋	水路以外	不明
3	場所(左岸)	000町 0丁目	00番(番地)	0号
4	場所(右岸)	000町 0丁目	00番(番地)	0号
5	水路管理者	国 県 (市) 信濃川左岸	その他( )	不明
6	占用許可	S・H・R 年度	第 号	無 水路以外
7	管種	導 送	配 排	( ) ( ) ( ) ( ) ( )
8	本管材質	CIP	DCIP	GP
9	本管口径	20 mm		
10	橋梁形式	2.2 m (小数第1位まで。埋設箇所は最大変化箇所を2点間) 無		
11	本管防食	添架	パイプビーム	フランジ補剛
12	保温仕様	その他補剛( )	( ) ( ) ( ) ( ) ( )	斜張橋補剛 橋梁以外
13	防護仕様	無	FRP	SUS板金
14	外面塗装仕様	下塗り(変性エポキシ樹脂塗料 00μm)	中塗り(フッ素樹脂塗料 00μm)	上塗り(フッ素樹脂塗料 00μm)
15	歩行防止柵	有	無	有
16	空気弁	有	無	有
17	注意標識	有	無	有
備 考				

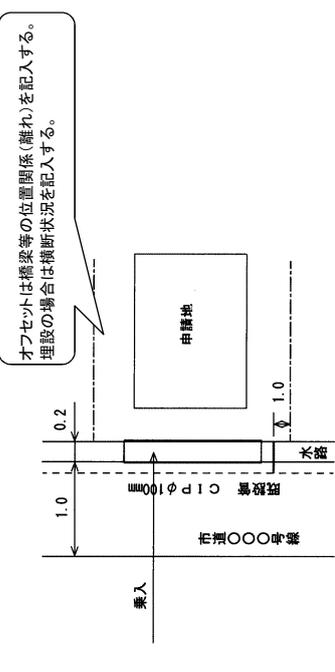
河川年度	△△	第 00	号 0000	工事	0000	施工業者	0000	局担当	印
------	----	------	--------	----	------	------	------	-----	---



写真



横断図等



## 記入例 1 2 弁栓類整備調書



記入例12 弁栓類整備調書  
 <消火栓本体取替>

マッピングシステム上の1/500平面図の  
 該当する図面番号を記入する。

# 弁栓類整備調書

図面番号(1/500) 510-0-00-0  
 整備年月日 令和〇〇年△△月〇〇日

弁番号	口径	内 容
12	φ75	室整備 ・ 分解点検 ・ <b>本体交換</b> ・ その他 ( )

案内図

整備年月日を必ず記入する。

1/500図の弁栓番号を記入すること  
 不明の場合は、記入しなくてもよい。

案内図は、  
 ・住宅地図など地形が判断可能な図面の  
 写しを十分な大きさに作成する。  
 ・該当箇所を塗りつぶし、○で囲む。

8992293-P20

マッピング出力図を適宜拡大して記入  
 する。  
 その際、地形や家形等の情報が現地  
 と異なっていたら修正すること  
 また、地形図にない情報(電柱、マン  
 ホール等)は記入すること

平面図  
 オフセット図

案内図と平面図の方位を  
 合わせることに

設置図 (本体交換の場合の記入)

5.0

100 D H 9-3

11.1

4.7

配管詳細図を作成する。

地上式消火栓

フランジ短管  
 H=300

局担当 印

工事番号	〇〇〇第〇〇号	地上式消火栓取替	施工業者	〇〇〇〇〇
整備内容	地上式消火栓取替			

様式11

マッピングシステム上の1/500平面図の該当する図面番号を記入する。

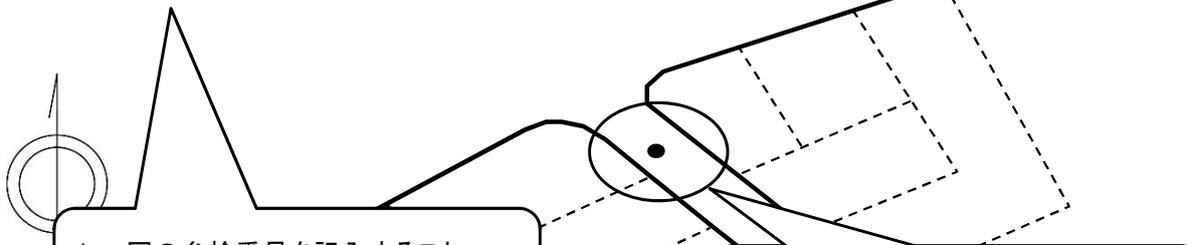
# 弁栓類整備調書

図面番号(1/500)	510-0-00-0
整備年月日	令和〇〇年△△月〇〇日

弁番号	口径	内容
47	φ200	室整備 ・ 分解点検 ・ 本体交換 ・ その他

整備年月日を必ず記入する。

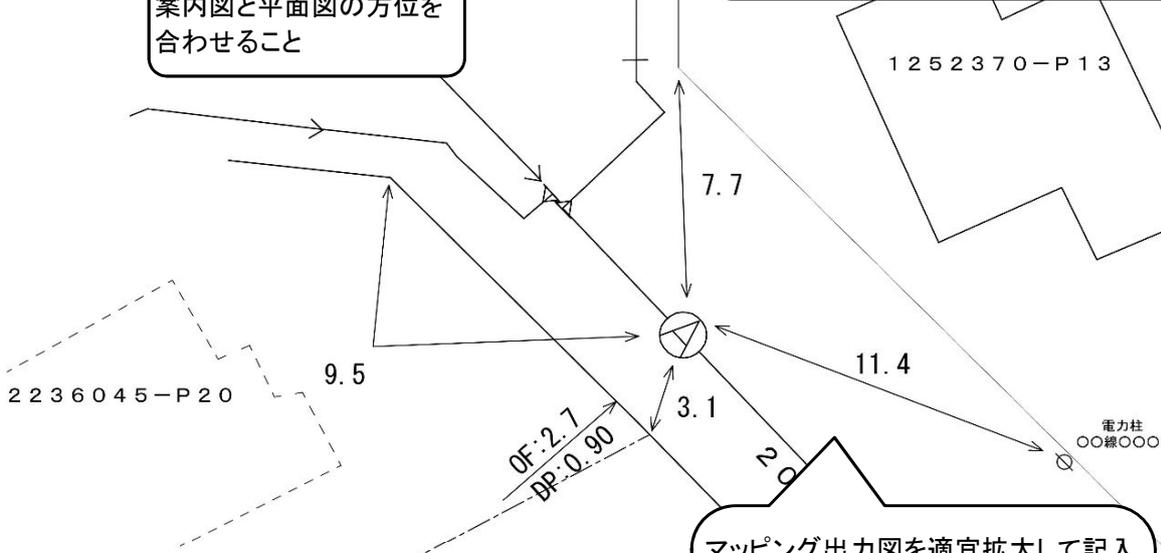
案内図



案内図は、  
 ・住宅地図など地形が判断可能な図面の写しを十分な大きさに作成する。  
 ・該当箇所を塗りつぶし、○で囲む。

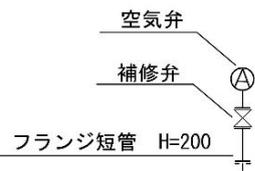
平面図  
オフセット図

案内図と平面図の方位を合わせること



マッピング出力図を適宜拡大して記入する。  
 その際、地形や家形等の情報が現地と異なっていたら修正すること  
 また、地形図にない情報(電柱、マンホール等)は記入すること

設置図 (本体交換の場合の記入)



配管詳細図を作成する。

200 D (K) S50-146

局担当 印

工事番号	〇〇〇第〇〇号	空気弁室整備	施工業者	〇〇〇〇〇
整備内容	空気弁室整備			

**記入例 1 3 推進管・河川軌道下占用等調書**



推進管・河川軌道下占用等調書

(RO年〇月〇日 竣工)

図面番号：〇〇〇-〇〇-〇	路線番号：〇〇	管理番号：〇〇	竣工年度・番号：
容 内			
No. 1	線 名	〇〇付近の△△△線口踏切	
2	場所 (始点)	〇〇 町 〇〇 番 (番地)	号
3	場所 (終点)	〇〇 町 〇〇 番 (番地)	号
4	管 理 者	国 〇 市 (〇) NEXCO東日本 土地改良区	
5	占 用 許 可	S・H・R 〇 年度 △△△ 第 〇〇 号	無 水路以外
6	管 種	導 送 配本 (配) 排	
7	管 引込番号	( ) その他 ( )	
8	本 管 材 質	CIP DCIP GP (SUS) PP その他 ( )	
9	本 管 口 径	〇〇〇 mm	
10	横 断 長	〇〇.〇 m (小数第1位まで。埋設箇所は最大変化箇所の2点間)	無
11	さ や 管 材 質	CIP DCIP (GP※SS材含む) SUS PP HP その他 ( )	
12	さ や 管 口 径	〇〇〇 mm	
13	理 設 深 度	〇.〇 m (小数第1位まで。最大深度を記入)	
14	防 食 設 備	S・H・R 〇 年度	
15	空 隙 処 理	無 流電陽極方式 (マグネシウム 〇 本 / 耐用年数 〇〇 年) 外部電源方式 その他 ( )	
16	備 考	無 (全部 / 一部 (エアモルタル充填) ) 不明	

案内図

方位を記入する。

案内図は、

- 住宅地図など地形が判断可能な図面の写しを十分な大きさに作成する。
- 該当路線を太線で囲み、内部に細い線で斜線を記入し、○で囲む。

横断面図等

推進部横断面図 S=1:100  
△△△線口踏切

横断状況を記入する。

写 真

写真は管路の縦断方向と横断方向の2箇所を貼付する。埋設の場合は不要

発進坑

到達坑

令和〇年度 △△ 第 〇〇 号 〇〇〇 工事

施工業者 〇〇〇〇

局担当 印



## 様式5 注意要点

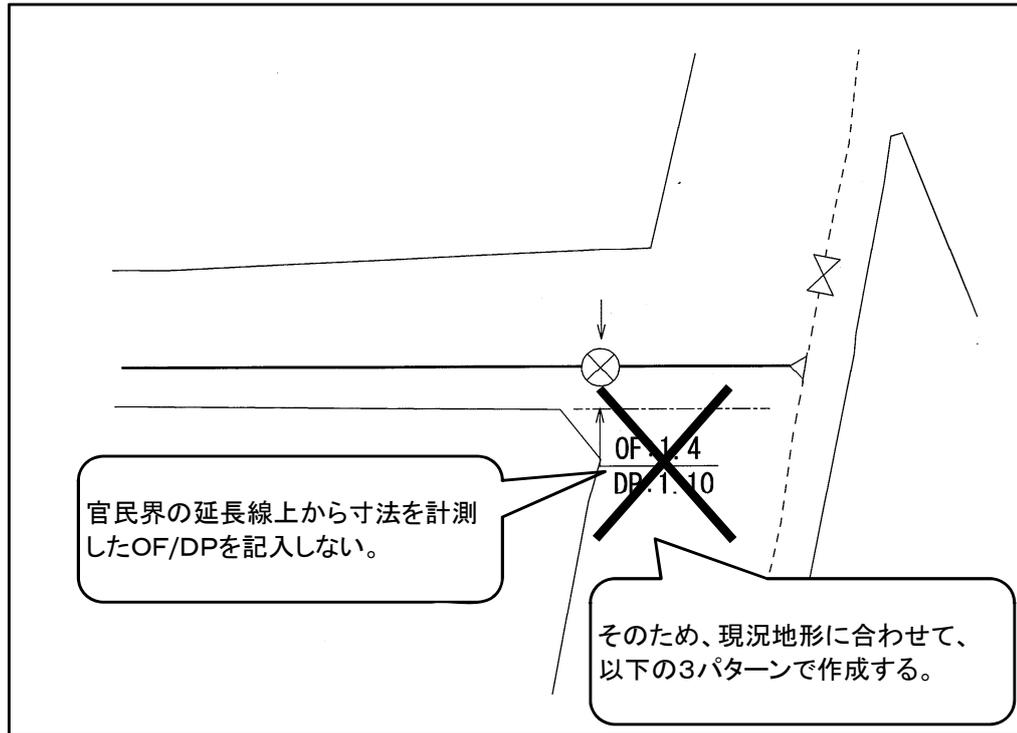


様式5 注意要点

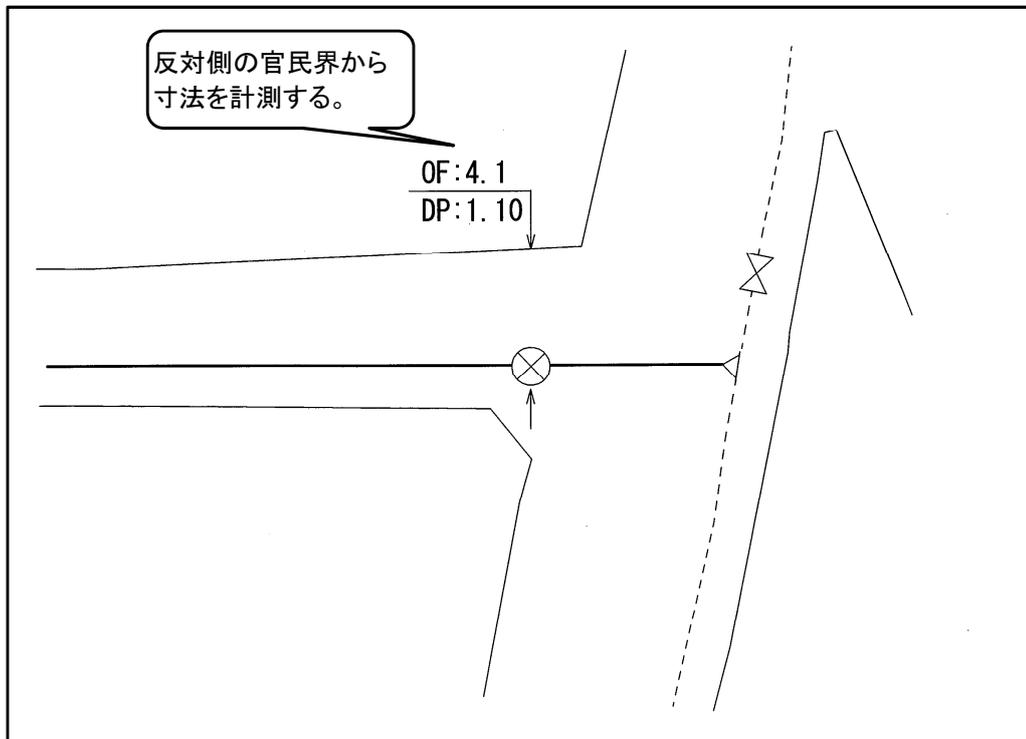
【平面図】

1 交差点内のバルブのOF/DPの記入方法

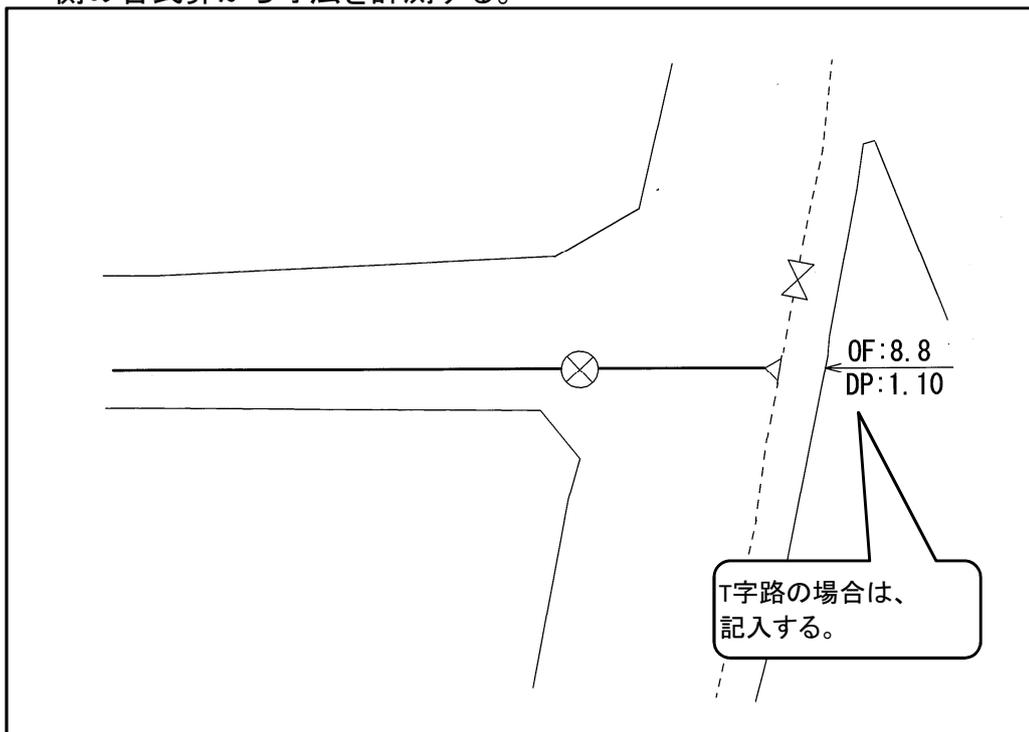
官民界の垂直線上にあるバルブのOF/DPの記入方法



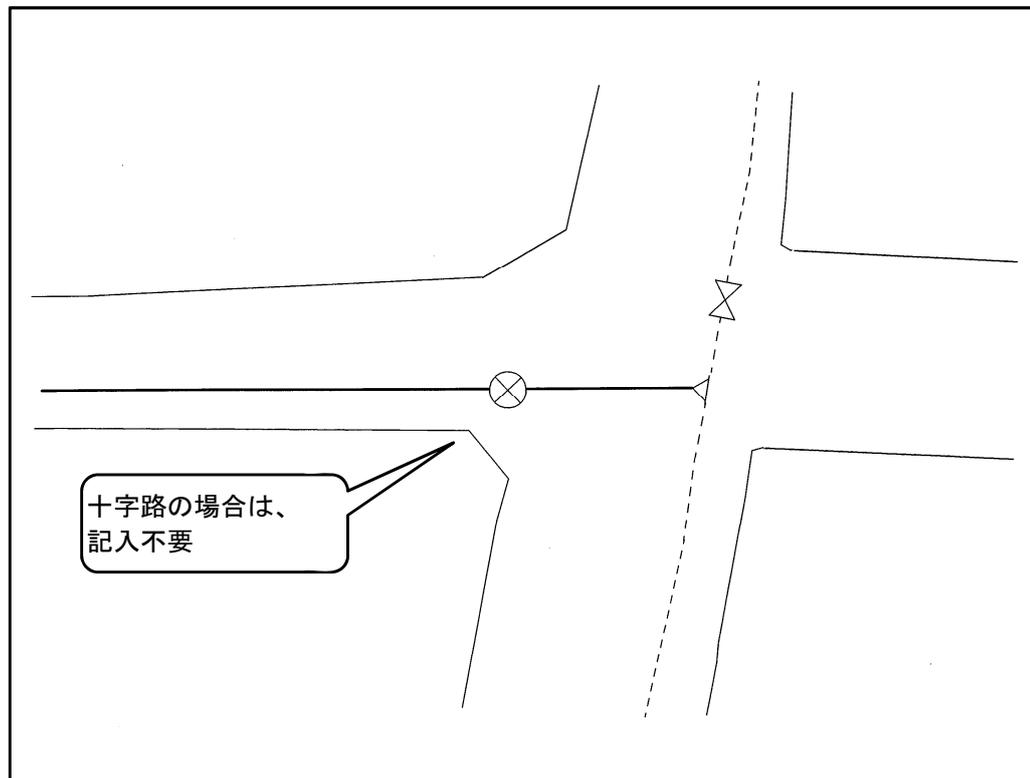
① 反対側の官民界がある場合は、反対側の官民界から寸法を計測する。



②両側の官民界から垂直線上のバルブを計測出来ないため、分岐側の官民界から寸法を計測する。

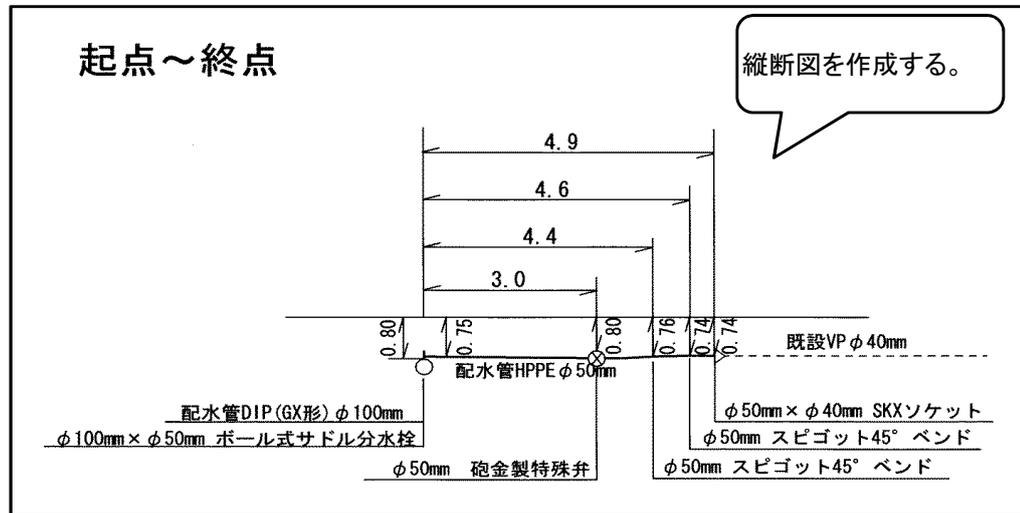
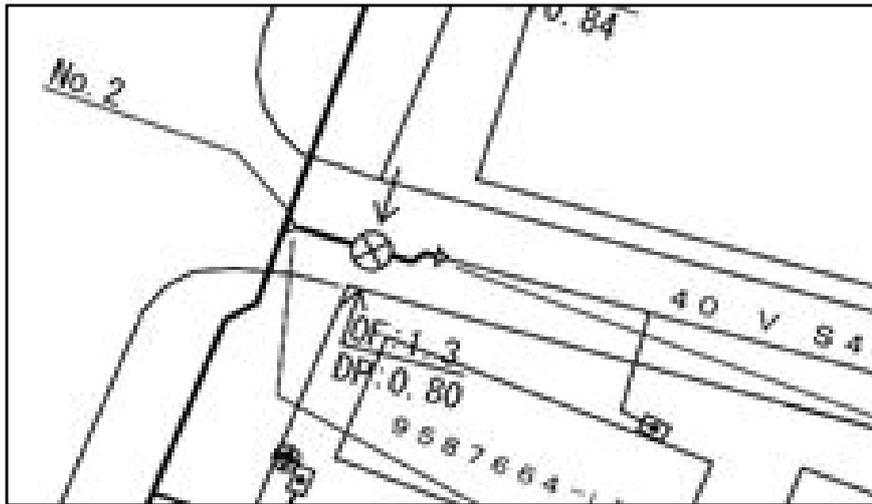


③両側の官民界及び分岐側の官民界がない場合は、官民界から垂直線上にあるバルブの計測が出来ないため記入不要とする。

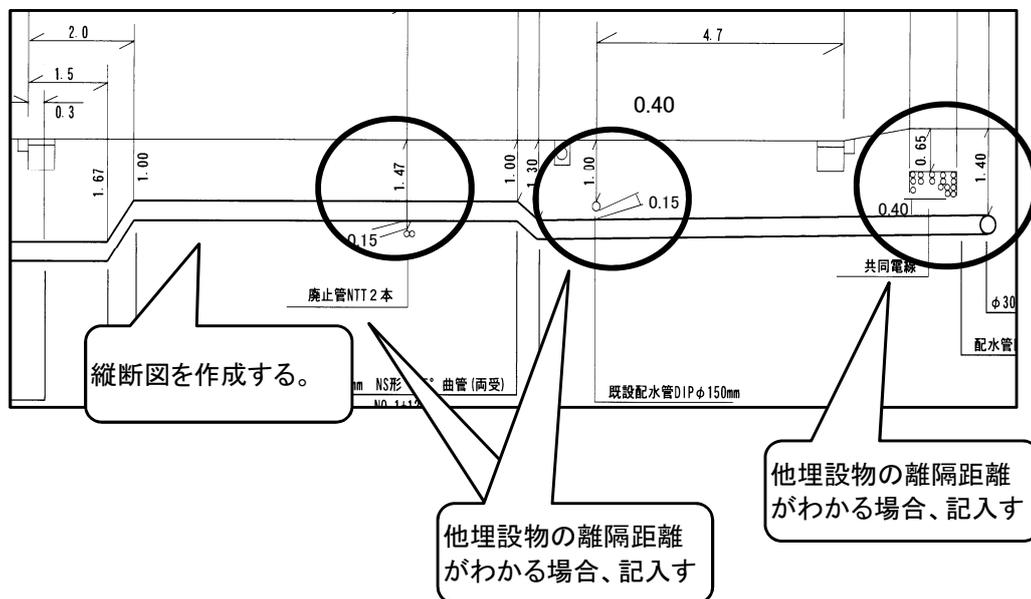


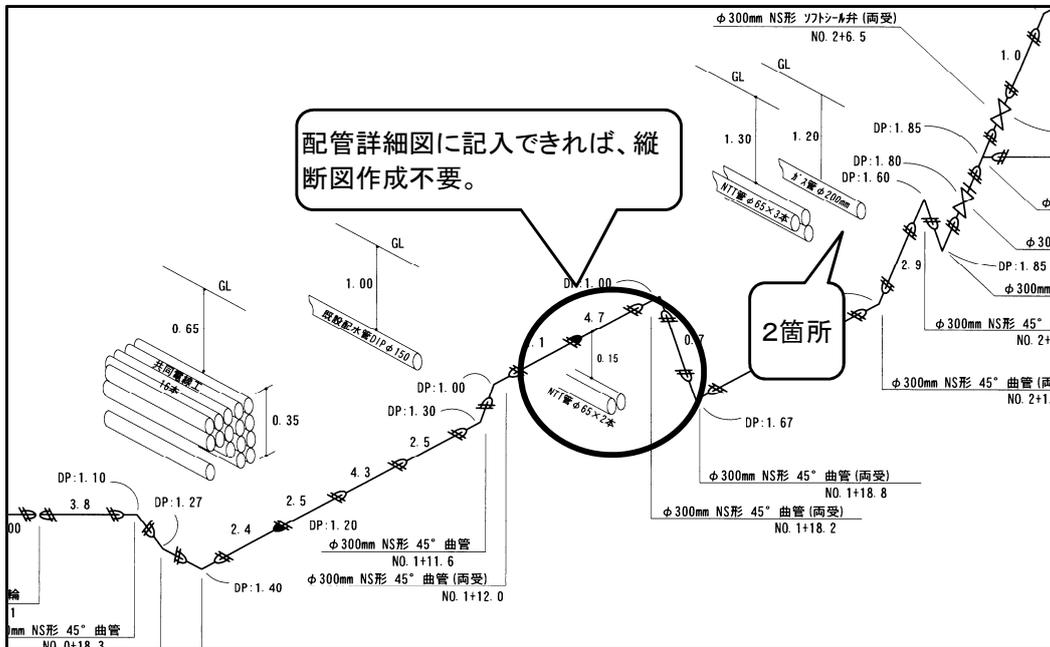
【断面図】

1 交差点で分岐する管路の断面図の記入方法



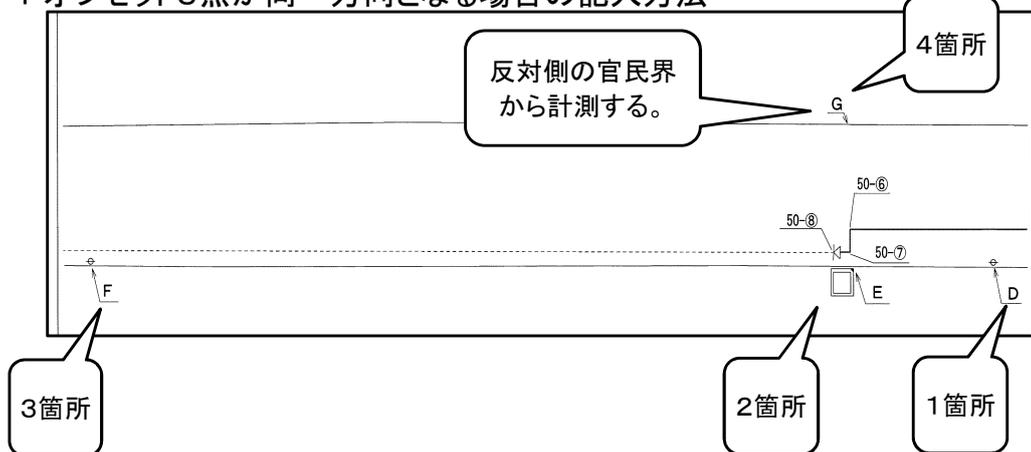
2 他埋設物を伏せ越する場合は縦断面図記入方法





【オフセット図】

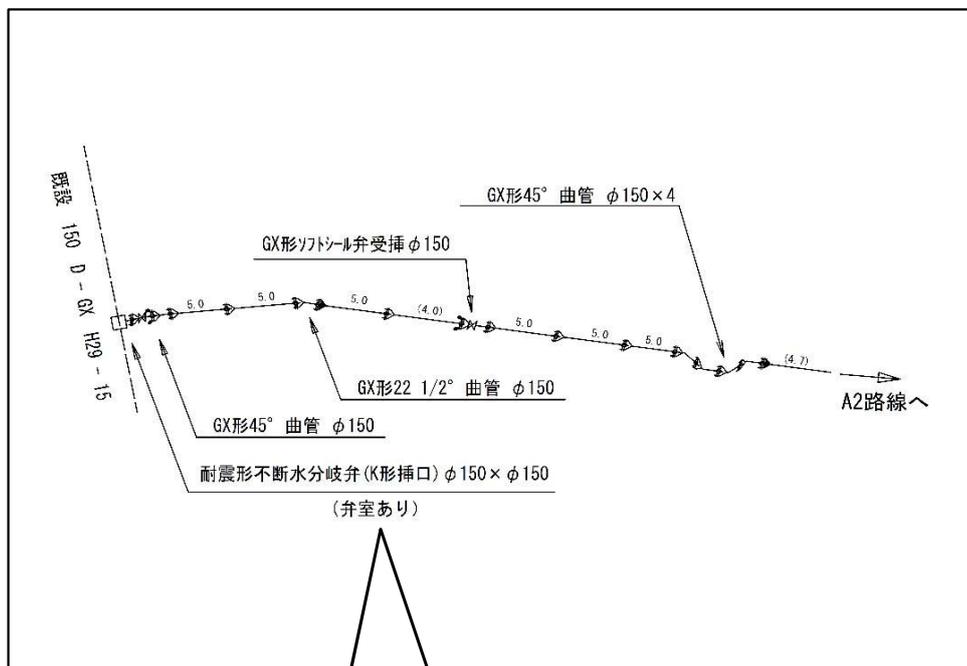
1 オフセット3点が同一方向となる場合の記入方法



資材名	測点ポイント	D 電力柱 ○○線○○	E 集水樹	F 電力柱 ○○線○○	G 官民界
50-⑥ φ50mm スチゴットジョイント		5.9	1.3	30.7	3.4
50-⑦ φ50mm スチゴットジョイント		5.7	0.5	30.7	4.2
50-⑧ P30×V30SKXワケット		6.5	0.9	30.1	4.2

【配管詳細図】

1 不断水施工箇所の弁室の記入について



不断水施工箇所について、弁室の有無を記入する。